筥崎土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財調査報告Ⅶ

箱　崎　27

―箱崎遺跡第30(2)・40(1)・46次調査報告―

福岡市埋蔵文化財調査報告書第948集

2007

福岡市教育委員会

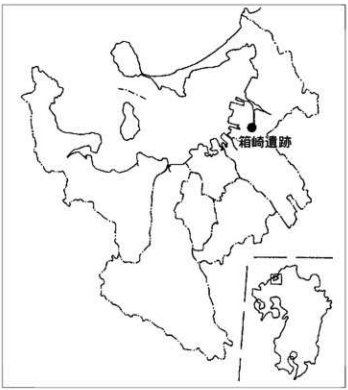
筥崎土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財調査報告Ⅶ

HAKO ZAKI

箱 崎 27

—箱崎遺跡第30(2)・40(1)・46次調査報告—

福岡市埋蔵文化財調査報告書第948集



遺跡略号　HKZ－ 30・40・46
調査番号　0210・0318・0434

2007

福岡市教育委員会

（1）30次13区S K106出土黄釉鉄絵盤

（2）40次18区S E01出土青花碗

（1）46次20区SX25出土陶磁器

（2）46次20区SX25出土青磁碗

（1）46次20区SX25出土青磁小碗

（2）46次20区SK303出土青磁香炉

序

古くから対外交渉の拠点の一つとして、あるいは筥崎宮の門前町として栄えた箱崎遺跡の発掘調査は近年の都市周辺部の再開発に伴い、現在までに50次を越え、調査の進展とともに新たな知見が得られています。

本書は筥崎地区土地区画整理事業に伴って実施された第30次調査の11～14･17区、第40次調査の18区、第46次調査の20区を報告するものです。式内社筥崎宮の周辺は対外交渉の拠点の一つとして、あるいは蒙古襲来など度重なる戦乱の場として、歴史上非常に重要な地域です。

調査では筥崎宮創建期の遺構や遺物が検出され、往時の繁栄を偲ばせる輸入陶磁器が出土し、中世に入っては畿内の権門社寺との交渉を示す土器や瓦が出土するなど多くの成果を収めることができました。

本書が文化財に対する認識と理解を深めていく上で広く活用されますとともに、学術研究の分野で役立つことができれば幸いです。

発掘調査から資料整理にいたるまでご理解とご協力をいただいた福岡市土木局筥崎連続立体開発事務所の方々を始めとする関係各位に対し、心から感謝の意を表する次第です。

平成19年３月30日

福岡市教育委員会
教育長　植　木　とみ子

例　言

1．本書は筥崎地区土地区画整理事業に伴い福岡市教育委員会埋蔵文化財課が平成14(2002)年度から平成16(2004)年度にかけて発掘調査を実施した福岡市東区箱崎1丁目1番地他所在の箱崎遺跡第30次調査11～14･17区・第40次調査18区・第46次調査20区の報告である。

2．本書に掲載した遺構の実測は担当の福岡市教育委員会埋蔵文化財課佐藤一郎(第30次～)・赤坂亨(第30次17区～)の他、石井龍太(第40次)･森岬子･瀬戸啓治(第46次)が行った。

遺物の実測は佐藤･赤坂の他、土製品･石製品は瀬戸が行い、土師器小皿･杯は国際航業に委託した。撮影は空中写真が株式会社バスコにより、他は佐藤･赤坂が行った。

3．製図は遺構･遺物の一部を石水久美子、遺物は佐藤が行った。

4．本書の執筆は一部赤坂が行った他は、編集とともに佐藤が行った。

5．本報告の記録類、出土遺物は収蔵整理の後、福岡市埋蔵文化財センターで保管されるので、活用されたい。

調査番号	０２１０(11･12･13･14･17区)	遺跡略号	ＨＫＺ－30
調査地地籍	東区箱崎1丁目１番地他	分布地図番号	箱崎34
開発面積	4,700m²(15･16区を含む)		
調査期間	2002.4.9.～2003.5.13.		

調査番号	０３１８(18区)	遺跡略号	ＨＫＺ－40
調査地地籍	東区箱崎１丁目３･４番	分布地図番号	箱崎34
開発面積	1,360m²		
調査期間	2003.5.14.～2004.1.19.		

調査番号	０４３４(20区)	遺跡略号	ＨＫＺ－46
調査地地籍	東区箱崎1丁目４番	分布地図番号	箱崎34
開発面積	3,995m²		
調査期間	2004.7.1.～2005.3.31.		

本　文　目　次

Ⅰ．はじめに
　1．調査にいたる経過……1
　2．調査の組織……1
Ⅱ．遺跡の位置と環境……3
Ⅲ．第30次調査の記録
　1．概　　要……5
　2．11区の調査
　　検出遺構……7
　　出土遺物……11
　3．12区の調査
　　検出遺構……17
　　出土遺物……22
　4．13区の調査
　　検出遺構……25
　　出土遺物……26
　5．14区の調査
　　検出遺構……43
　　出土遺物……45
　6．17区の調査
　　検出遺構……46
Ⅳ．第40次調査の記録
　1．概　　要……50
　2．18区の調査
　　検出遺構……50
　　出土遺物……59
Ⅴ．第46次調査の記録
　1．概　　要……62
　2．20区の調査
　　検出遺構……64
　　出土遺物……87
Ⅵ．小　　結……89

挿　図　目　次

第１図　箱崎遺跡と周辺の遺跡……2
第２図　箱崎遺跡第30･40･46次調査地域周辺図……4
第３図　箱崎遺跡第30次調査11区遺構配置図……6
第４図　井戸実測図(1)……8
第５図　井戸実測図(2)……9
第６図　井戸実測図(3)……10
第７図　井戸実測図(4)……11
第８図　土器実測図(1)……12
第９図　土器実測図(2)……13
第10図　陶磁器実測図……14
第11図　陶磁器他実測図……15
第12図　石製品実測図……16
第13図　瓦拓影・実測図……16
第14図　箱崎遺跡第30次調査12区遺構配置図……17
第15図　掘立柱建物実測図……18
第16図　井戸実測図(1)……19

第17図　井戸実測図(2)……20
第18図　井戸実測図(3)……21
第19図　出土遺物実測図(1)……23
第20図　出土遺物実測図(2)……24
第21図　石製品実測図 ……25
第22図　箱崎遺跡第30次調査13区遺構配置図……27
第23図　井戸実測図(1)……29
第24図　井戸実測図(2)……30
第25図　井戸実測図(3)……31
第26図　方形竪穴実測図 ……32
第27図　土器実測図(1)……33
第28図　土器実測図(2)……34
第29図　土器実測図(3)……35
第30図　土器実測図(4)……36
第31図　土器実測図(5)……37
第32図　土器実測図(6)……39
第33図　出土遺物実測図(1)……40
第34図　出土遺物実測図(2)……41
第35図　瓦拓影・実測図 ……42
第36図　出土土器実測図 ……42
第37図　箱崎遺跡第30次調査14区遺構配置図……43
第38図　井戸実測図(1)……44
第39図　井戸実測図(2)……45
第40図　瓦拓影・実測図……45
第41図　箱崎遺跡第30次調査17区南遺構配置図……46
第42図　箱崎遺跡第30次調査17区北遺構配置図……47
第43図　井戸実測図(1)……48
第44図　井戸実測図(2)……49
第45図　箱崎遺跡第40次調査18-a～d区遺構配置図 ……51
第46図　井戸実測図(1)……51
第47図　井戸実測図(2)……52
第48図　井戸実測図(3)……53
第49図　井戸実測図(4)……54
第50図　箱崎遺跡第40次調査18-e区遺構配置図……55
第51図　井戸実測図(1)……56
第52図　井戸実測図(2)……57
第53図　出土遺物実測図 ……60
第54図　石製品実測図 ……60
第55図　瓦拓影・実測図 ……60
第56図　土器実測図 ……61
第57図　箱崎遺跡第46次調査20-a区遺構配置図……63
第58図　井戸実測図(1)……65
第59図　井戸実測図(2)……66
第60図　井戸実測図(3)……67
第61図　井戸実測図(4)……68
第62図　井戸実測図(5)……69
第63図　井戸実測図(6)……70
第64図　土坑・遺物実測図 ……71
第65図　箱崎遺跡第46次調査20-b区遺構配置図……72
第66図　井戸実測図(1)……73
第67図　井戸実測図(2)……74
第68図　井戸実測図(3)……76
第69図　井戸実測図(4)……77
第70図　井戸実測図(5)……78
第71図　井戸実測図(6)……79
第72図　井戸実測図(7)……80
第73図　土坑実測図 ……81
第74図　箱崎遺跡第46次調査20-c区遺構配置図……82
第75図　井戸実測図(1)……83
第76図　井戸実測図(2)……84
第77図　木棺墓・土坑実測図……85
第78図　出土遺物実測図(1)……86
第79図　出土遺物実測図(2)……88
第80図　出土遺物実測図(3)……89
第81図　銅銭拓影 ……90

図　版　目　次

図版1 (1)箱崎30次11区全景(南西から)　(2)SE08・06井戸(南から)　(3)SE06・72井戸(東から)
(4)SE22井戸(東から)　(5)SE34・22井戸(北から)　(6)SE29井戸(南西から)
図版2 (1)SE34井戸(南から)　(2)SE34井戸(東から)　(3)SE44井戸(南西から)
(4)SE62井戸(東から)　(5)SK01土坑(北東から)　(6)SK01土坑(東から)
図版3 (1)SK03土坑(北から)　(2)SK07土坑(北西から)　(3)SK21土坑(南西から)

	(4)SK41土坑(南東から)	(5)SK55土坑(北東から)	(6)SK73土坑(北東から)
図版4	(1)SK74土坑(南西から)	(2)SK79土坑(南東から)	(3)12区東側全景(南から)
	(4)12区西側全景(北東から)	(5)12区西側全景(北から)	(6)SB70掘立柱建物(北東から)
図版5	(1)SD20溝(北東から)	(2)SD63溝(北東から)	(3)SE02井戸(北東から)
	((4)SE03井戸(西から)	(5)SE04井戸(北西から)	(6)SE04井戸(西から)
図版6	(1)SE05井戸(南から)	(2)SE07井戸(南東から)	(3)SE08井戸(南西から)
	(4)SE08井戸(南西から)	(5)SE24・09・29井戸(北東から)	(6)SE10井戸(東から)
図版7	(1)SE11井戸(南東から)	(2)SE17井戸(北から)	(3)SE18井戸(北から)
	(4)SE23井戸(西から)	(5)SE35井戸(北東から)	(6)SE38井戸(北から)
図版8	(1)SE49井戸(南から)	(2)SE54井戸(東から)	(3)SE54井戸(南から)
	(4)SE54井戸(南東から)	(5)SE56・70井戸(南から)	(6)SK01土坑(北西から)
図版9	(1)SK10土坑(北東から)	(2)SK47土坑(南東から)	(3)SX71(北から)
	(4)SX72(西から)	(5)Pit232(西から)	
図版10	(1)13区空中写真	(2)13区南上空から筥崎宮を望む	(3)13区北上空から油山を望む
	(4)13区空中写真	(5)13区南上空から博多湾を望む	(6)13区空中写真(北西から)
図版11	(1)SD05溝(南から)	(2)SD134溝(北東から)	(3)SD150溝(南から)
	(4)SE03井戸(南西から)	(5)SE10井戸(南西から)	(6)SE36井戸(北西から)
図版12	(1)SE36井戸(東から)	(2)SE43井戸(南から)	(3)SE45井戸(北から)
	(4)SE59井戸(西から)	(5)SE82・81井戸(南西から)	(6)SE116井戸(北西から)
図版13	(1)SE117井戸(東から)	(2)SE140・117井戸(東から)	(3)SE125井戸(東から)
	(4)SE140井戸(北から)	(5)SE140井戸(西から)	(6)SE145井戸(北から)
図版14	(1)SK01土坑(南東から)	(2)SK02土坑(東から)	(3)SK04土坑(西から)
	(4)SK16土坑(南東から)	(5)SK35土坑(南東から)	(6)SK75土坑(西から)
図版15	(1)SK106土坑(北から)	(2)SK104土坑(北から)	(3)SK114方形竪穴(南西から)
	(4)SK124土坑(北から)	(5)Pit346(西から)	(6)14区全景(南西から)
図版16	(1)SE02井戸(南西から)	(2)SE03井戸(北から)	(3)SE06井戸(北から)
	(4)SE14井戸(北から)	(5)SE14井戸(南から)	(6)SE19井戸(東から)
図版17	(1)SE20井戸(南東から)	(2)SE20井戸(北東から)	(3)SE38井戸(南から)
	(4)井戸・ｶｸﾗﾝ10(東から)	(5)SK01土坑(南東から)	(6)SE15井戸(東から)
図版18	(1)17区南側全景(北から)	(2)17区北側全景(南から)	(3)柱列(南東から)
	(4)SE08井戸(南から)	(5)SE11井戸(南から)	(5)SE57井戸(南から)
図版19	(1)SE68井戸(北から)	(2)SE69井戸(南から)	(3)SE72井戸(南から)
	(4)SE90井戸(東から)	(5)SE127井戸(南から)	(5)SE128井戸(北から)
図版20	(1)SK13土坑(北から)	(2)SK41土坑(東から)	(3)SK51土坑(東から)
	(4)SK73土坑土層(東から)	(5)SK83土坑(南西から)	(6)SK88土坑(東から)
図版21	(1)SK88土坑(東から)	(2)SK92土坑土層(東から)	(3)SK115土坑(南西から)
	(4)SK116土坑(北東から)	(5)箱崎40次18-a区全景(西から)	(6)SE01井戸(南東から)
図版22	(1)SE01井戸(北西から)	(2)SE01井戸下部(北西から)	(3)SE01井戸下部(北西から)
	(4)SE02井戸(南西から)	(5)SE03井戸(北から)	(6)SE03井戸(南西から)
図版23	(1)SE04井戸(南から)	(2)SE02・14・04・15井戸(南から)	(3)SE04・14・15井戸(南から)
	(4)SE15井戸(西から)	(5)SK08土坑(西から)	(6)SK07土坑(東から)
図版24	(1)18-b区全景(南から)	(2)18-b区北側(東から)	(3)SD41溝(南東から)
	(4)SE17井戸(東から)	(5)SE18井戸(北西から)	(6)SE33井戸(南東から)
図版25	(1)SK16土坑(北西から)	(2)Pit86柱穴(北西から)	(3)18-c区全景(南から)
	(4)SE33井戸(北から)	(5)SE60井戸(東から)	(6)SK56土坑(南西から)
図版26	(1)SK70土坑(北西から)	(2)SK83土坑(南西から)	(3)Pit412(北から)
	(4)18-d区全景(南から)	(5)SE78井戸(北東から)	(6)SE78井戸(北東から)
図版27	(1)SE78井戸(北東から)	(2)SE89井戸(北西から)	(3)SE94井戸(西から)

(4)SE94井戸(北西から)　(5)SE97井戸(北から)　(6)SE97・102・101・98・100井戸(南から)
図版28 (1)SE97・102・101・98・100井戸(南から)　(2)SE98井戸(東から)　(3)SE98井戸(北から)
(4)SE98・100井戸(北から)　(5)SE100井戸(東から)　(6)SE101井戸(北西から)
図版29 (1)SE101井戸(南から)　(2)SK96土坑(西から)　(3)18-e区全景(北東から)
(4)SE114井戸(北西から)　(5)SE115井戸(北から)　(6)SE124・116井戸(南東から)
図版30 (1)SE114・115(北から)　(2)SE116・123・124・122井戸(南から)　(3)SE117井戸(西から)
(4)SE131井戸(東から)　(5)SE121・122・137(北から)　(6)SE118・136・119・137井戸(南東から)
図版31 (1)箱崎46次20-a区空中写真(南西から)　(2)SE01井戸(南から)　(3)SE02井戸(西から)
(4)SE07井戸(北から)　(5)SE09井戸(南西から)　(6)SE09井戸(東から)
図版32 (1)SE10井戸枠(東から)　(2)SE10井戸枠(北から)　(3)SE11井戸(東から)
(4)SE11井戸(北から)　(5)SE12井戸(北西から)　(6)SE13井戸(西から)
図版33 (1)SE14井戸(東から)　(2)SE15井戸(東から)　(3)SE16井戸(西から)
(4)SE17・18・19井戸(東から)　(5)SE20井戸(東から)　(6)SE54井戸(南東から)
図版34 (1)SE62井戸(西から)　(2)SK63土坑(北から)　(3)SE64井戸(西から)
(4)SE65井戸(南から)　(5)SE66井戸(西から)　(6)SE67井戸(西から)
図版35 (1)SE97井戸遺物出土状況(西から)　(2)SE97井戸(西から)　(3)SE98井戸(北西から)
(4)SE101井戸(西から)　(5)SE102井戸(東から)　(6)SK103土坑(西から)
図版36 (1)SE104井戸(南西から)　(2)Pit368(東から)
(3)20-b区空中写真(北西から)　(4)20-b区空中写真(南から)
図版37 (1)SD110溝(南から)　(2)SD134・111溝(東から)　(3)SD212溝(南西から)
(4)SE101井戸(東から)　(5)SE102・103井戸(南東から)　(6)SE104井戸(北東から)
図版38 (1)SE106・105井戸(南東から)　(2)SE107井戸(北東から)　(3)SE109井戸(北から)
(4)SE111井戸(南東から)　(5)SE123井戸(南西から)　(6)SE124井戸(南東から)
図版39 (1)SE127井戸(西から)　(2)SE130井戸(東から)　(3)SE130・287井戸(北東から)
(4)SE208井戸(東から)　(5)SE211井戸(南東から)　(6)SE218井戸(北から)
図版40 (1)SE219井戸(東から)　(2)SE220井戸石組(東から)　(3)SE230井戸(北西から)
(4)SE235井戸(南から)　(5)SE238井戸(北から)　(6)SE239井戸(北東から)
図版41 (1)SE252井戸(南東から)　(2)SE252井戸(東から)　(3)SE257井戸(東から)
(4)SE261井戸(南東から)　(5)SE287井戸(南東から)　(6)SE289井戸(南東から)
図版42 (1)SE301・302井戸(南から)　(2)SK303土坑(南東から)　(3)SE315井戸(北東から)
(4)SE316井戸(東から)　(5)SK140土坑(南から)　(6)SK204埋甕(東から)
図版43 (1)20-c区全景(南西から)　(2)SE08井戸(北西から)　(3)SE10井戸(北西から)
(4)SE12井戸(南から)　(5)SE19井戸(南東から)　(6)SE19・72井戸(南東から)
図版44 (1)SE48井戸(南東から)　(2)SE58井戸(西から)　(3)SE66井戸(東から)
(4)SE73井戸(北から)　(5)SK01土坑(南から)　(6)SK14土坑(南西から)
図版45 (1)SX25木棺墓(北西から)　(2)SX25(南西から)　(3)SX25遺物出土状況(南西から)
(4)SX25人骨(北西から)　(5)SX14木棺墓(南から)　(6)SK24土坑(南西から)
図版46 箱崎遺跡第30次調査11区出土遺物(1)
図版47 箱崎遺跡第30次調査11区出土遺物(2)
図版48 箱崎遺跡第30次調査11区出土遺物(3)・12区出土遺物(1)
図版49 箱崎遺跡第30次調査12区出土遺物(2)・11区出土瓦
図版50 箱崎遺跡第30次調査13区出土遺物(1)
図版51 箱崎遺跡第30次調査13区出土遺物(2)
図版52 箱崎遺跡第30次調査14区出土瓦・第40次調査18区出土遺物
図版53 箱崎遺跡第40次調査18区出土瓦・第46次調査20区出土遺物(1)
図版54 箱崎遺跡第46次調査20区出土遺物(2)
図版55 箱崎遺跡第46次調査20区SX25出土遺物
図版56 箱崎遺跡第46次調査20区SK140出土遺物

Ⅰ．はじめに

１．調査にいたる経過

福岡市土木局筥崎連続立体開発事務所換地課長より平成6（1994）年8月24日付土筥第476号により教育委員会文化財部埋蔵文化財課長宛に筥崎土地区画整理事業地内（事業面積：27.8ha）における埋蔵文化財事前調査についての依頼が行われた。これを受けて埋蔵文化財課では平成6年度から継続して試掘調査を行い、平成7年7月21日付教埋第419号、平成8年2月9日付教埋第1049号、平成10年5月15日付教埋第183号において遺跡の有無およびその範囲については回答を行った。その後両者は文化財保護に関する協議をもったが、遺跡が認められた範囲については原則として発掘調査の対象とするが、公園緑地箇所および新設もしくは拡幅道路が既存道路と重複する箇所については調査対象から除外している。但し、既存道路が事業区画内に取り込まれる場合は調査対象とした。

同事業に伴う発掘調査は平成11年度より箱崎遺跡第20次調査として始められ、調査区は街区毎に着手順に事業地内通しで1区、2区と呼称し、年度が替って新規に着手される調査区には新たに次数を付けている。平成14(2002)年度が箱崎遺跡第30次調査11区～17区、平成15(2003)年度は同40次調査18･19区、平成16(2004)年度は同46次調査20区となる。本報告はその内の11～14･17区(福岡市東区箱崎1丁目1番他)、18区(箱崎1丁目3･4番)、20区(箱崎1丁目4番)における発掘調査に関するものである。

２．調査の組織

調査委託　福岡市教育委員会
調査主体　福岡市教育委員会文化財部埋蔵文化財課（現埋蔵文化財第1課）
調査総括　埋蔵文化財課長　山崎純男(平成14･15年度)　山口譲治(平成16年度)
調査第２係長　田中寿夫(平成14･15年度)　池崎譲二(平成16年度)
事前審査係長　池崎譲二(平成14･15年度)　浜石哲也(平成16年度)
埋蔵文化財第１課長　山口譲治(平成18年度)　調査第１係長　山崎龍雄(平成18年度)
庶務担当　文化財整備課　御手洗清(平成14～16年度)　鈴木由喜(平成17･18年度)
調査担当　試掘調査　大塚紀宜(平成14年度)　井上薗子(平成16年度)
発掘調査　佐藤一郎(平成14～16年度)松浦一之介(平成14年度)赤坂亨(平成15･16年度)
発掘調査・資料整理協力者　大崎宏之･木村芳任･熊本交伸･坂田武･櫻澤勤･志堂寺堂･柴田博･西村登
福田操･藤野雅樹･三角哲平･安元孝憲･米倉國弘･脇田栄･瀬戸啓治･石川洋子･泉本タミ子
荻野須美子･川野美恵子･草場恵子･熊代薫･古長博美･酒井康恵･坂田ミネ･指原始子
杉村百合子･副田澄子･田崎アヤ子･田中智子･為房紋子･辻美佐江･鍋山治子･西田文子
西村寿美枝･濱地静子･播磨千恵子･播磨博子･北条こず江･保坂由美子
水田ミヨ子･村井藤枝･村山巳代子･桃野千代美･安田光代･安元尚子･山口慶子･萬スミヨ
石井龍太･中村理･東里奈･森岬子･石水久美子･小田敬子･木山啓子･佐々木涼子

その他、発掘調査に至るまで諸々の条件整備、調査中の調整等について福岡市土木局筥崎連続立体開発事務所の皆様には多大なご理解とご協力をいただき、調査が円滑に進行し無事終了することができました。ここに深く感謝します。

1．箱崎遺跡　2．博多遺跡群　3．福岡遺跡・鴻臚館跡　4．吉塚遺跡　5．堅粕遺跡
6．吉塚本町遺跡　7．比恵遺跡群　8．那珂遺跡群

第１図　箱崎遺跡と周辺の遺跡

Ⅱ．遺跡の位置と環境

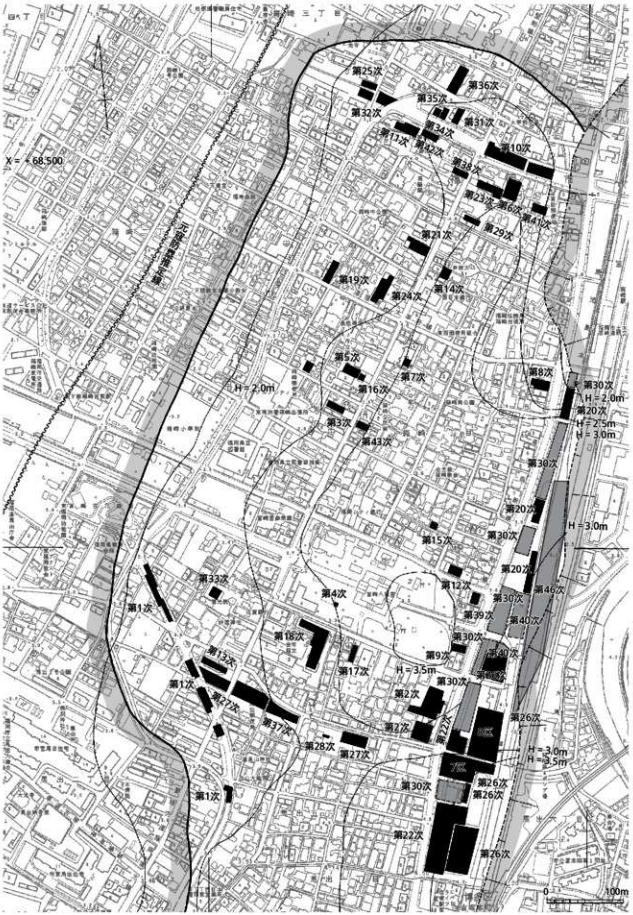
箱崎遺跡は博多湾沿いに連なる古砂丘上、宇美川下流域、多々良川河口左岸に位置する弥生時代終末から近世に至る複合遺跡である。その推定範囲は南北1.2km、東西0.5kmを測る。式内社筥崎宮の所在地としてひろく知られている。弥生時代終末から墳墓が営まれている。923(延長元)年に穆波郡大分宮(現在の飯塚市)から遷座勧請されたのが筥崎宮(宮は筥崎、地名であれば箱崎と記すのが原則とされる)の始まりである。1051(永承6)年石清水別当が筥崎宮検校に任命され、石清水八幡宮の別宮となる。権門社寺との結びつきは畿内系の土器や瓦等の考古遺物からも窺うことができる。

箱崎は中世前半からは対外交渉の拠点の一つとして、宋商人が居留するようになりその中心地「博多」を補完する役割を担った。箱崎遺跡の広い地域でこの時期の遺構が検出されている。1151(仁平元)には大宰府の官人が博多・箱崎の宋人屋敷を大追捕している。『宇治拾遺物語』や『今昔物語』には11世紀初めに筥崎宮の神官が宋人と交渉を持ち多大な利を得ていたことが記されている。近年、遺跡の南西部でこの時期の遺構群が検出されている。1274(文永11)・1281(弘安4)年の蒙古襲来では博多湾一帯が戦場となり、筥崎宮の焼失など当遺跡の範囲でも多大な被害を蒙っている。

韓国新安沈船は元の1323(至治3)年に慶元(現在の寧波)から博多へ向かっていたことがわかっているが、大量の中国陶磁器や銅銭とともに、引揚げられた荷札木簡の中に筥崎勧進僧教仙の名がみえる。社寺造営料唐船として多数の銘が入った木簡が発見されている東福寺とともに、筥崎宮とその神宮寺は新安沈船や、それと前後する時期の社寺造営料唐船にも大きく関与していたとされる。発掘調査で高い頻度で出土するその時期の龍泉窯青磁や畿内産瓦器は、それを傍証する資料となる。

参考文献

川添昭二編「よみがえる中世Ⅰ　東アジアの国際都市」1988　平凡社
川添昭二「中世九州の政治と文化」1981　文献出版
川添昭二「筥崎の大夫―府官研究の一節」『福岡地方史談話会会報』第10号　1970
広渡正利「筥崎宮史」1999　文献出版
西日本新聞社福岡県百科事典刊行本部編「福岡県百科事典」1982　西日本新聞社
「角川地名大辞典」編纂委員会編「角川日本地名大辞典 40 福岡県」1988　角川書店



第２図　箱崎遺跡第30･40･46次調査地域周辺図

Ⅲ．第30次調査の記録

１．概　　要

調査地は箱崎遺跡の南東部、筥崎宮の南250mに位置する。現況の街区毎に11～17区の調査区を設定した。

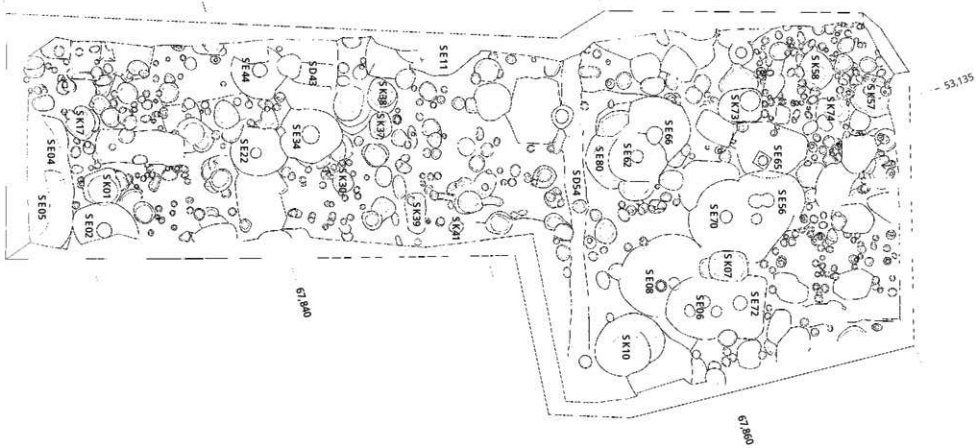
遺構面は表土（撹乱層）直下、標高3m前後の砂層上面で確認された。検出された遺構は10～15世紀の溝、井戸、土坑、掘立柱建物、柱穴･ピット状遺構である。

平成14(2002)年4月9日からは11区の表土剥ぎを始め、遺構検出を進めていった。

5月29日からは12区の表土剥ぎを始め、逐次遺構の検出を行った。12区では平安時代末の2間× 10間以上の長大な掘立柱建物を検出した。柱穴の底面には扁平な根石が据えられていた。

8月5日からは13区の表土剥ぎを開始、次いで遺構の検出にかかった。13区では鎌倉時代の幅1.5mの溝を延長65m検出したが、現在の筥崎宮を中心とした地割りと方位をほぼ同じくする。井戸は18基、土坑は25基、柱穴は400以上検出した。途中9月中旬より13区の北側で解体した建物のコンクリート杭を完全に抜き取るということで、13区の調査を一時中断することとなり、8月29日より14区表土剥ぎに着手、9月18日に13区の調査を中断、14区の遺構検出を開始した。10月11日には13区の調査を再開した。12月24日からは17区表土剥ぎに入り、翌年度まで継続、5月13日に第30次調査は終了した。

全調査区で出土した遺物はコンテナ600箱に及ぶ。中世前半からは対外交渉の拠点の一つとして、宋商人が居留し中心地「博多」を補完したとされるのが箱崎である。その時期の遺構の密度、遺物の出土量、中国陶磁器の占める割合は博多遺跡群の中心部に及ぶものではないが、畿内系の土器や瓦、高麗青磁などは博多に匹敵、もしくはそれ以上に高い頻度で出土している。権門社寺との結びつきを雄弁に物語るものである。



第３図　箱崎遺跡第30次調査11区遺構配置図

２．11区の調査

検出遺構

井戸

ＳＥ02（第4図）

調査区の南東で検出した。掘り方は上面径3.4mの円形を呈し、深さは2.2mを測る。基底部中央に直径　80cm、深さ50cmの桶側の痕跡がみられた。底面の標高0.6mを測る。

ＳＥ06（第4図　図版1）

調査区の北東で検出した。掘り方は上面径3.3mの円形を呈し、深さは2.1mを測る。

ＳＥ70（第5図）

調査区の北で検出した。SE56を切る。掘り方は上面径4.7mの円形を呈し、深さは2.3mを測る。基底部中央に直径65cm、深さ60cmの桶側の痕跡がみられた。底面の標高0.6mを測る。

ＳＥ08（第6図　図版1）

調査区の北東で検出した。掘り方は上面径4.2～4.7mの円形を呈し、深さは2.2mを測る。基底部中央に直径60cm、深さ45cmの刳り抜きの井戸枠がみられた。底面の標高0.45mを測る。

ＳＥ22（第6図　図版1）

調査区の中央南で検出した。SE34に切られる。掘り方は上面径2.8mの円形を呈し、深さは2.4mを測る。基底部中央に直径60cm、深さ40cmの桶側の痕跡がみられた。底面の標高0.6mを測る。

ＳＥ44（第6図　図版2）

調査区の南西で検出した。掘り方は上面径3.1mの円形を呈し、深さは2.1mを測る。基底部中央に直径90cm、深さ50cmの桶側の痕跡がみられた。底面の標高0.55mを測る。

ＳＥ56（第5図）

調査区の北で検出した。掘り方は上面径3.3～5.6mの円形を呈し、深さは2.2mを測る。基底部中央に直径65cm、深さ30cmと直径70cm、深さ30cmの二段に重ねられた桶側の痕跡がみられた。底面の標高0.6mを測る。

ＳＥ62（第7図　図版2）

調査区の北西で検出した。SE66を切る。掘り方は上面径3.0mの円形を呈し、深さは2.1mを測る。基底部中央に直径70cm、深さ80cmの桶側の痕跡がみられた。底面の標高0.6mを測る。

ＳＥ65（第7図）

調査区の北で検出した。掘り方は上面径3.6～3.8mの円形を呈し、深さは2.1mを測る。基底部中央に70cm四方、深さ10cmの井桁と、その下部に直径50cm、深さ20cmの井戸枠の痕跡がみられた。底面の標高0.7mを測る。

ＳＥ66（第7図）

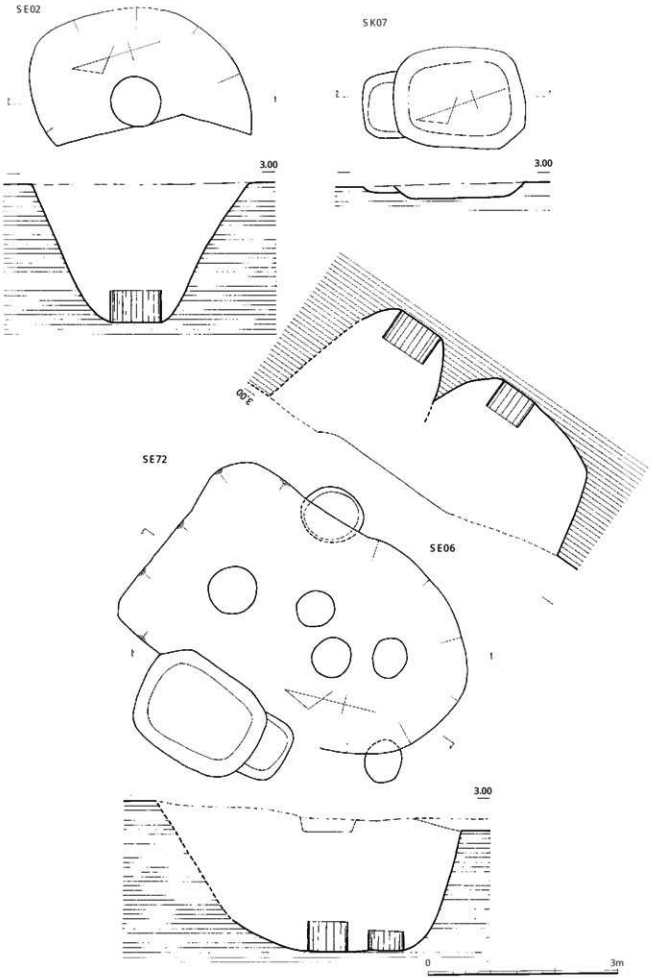
調査区の北西で検出した。掘り方は上面径3.6mの円形を呈し、深さは2.1mを測る。基底部中央に直径90cm、深さ70～90cmの桶側の痕跡がみられた。底面の標高0.55mを測る。

ＳＥ72（第4図　図版1）

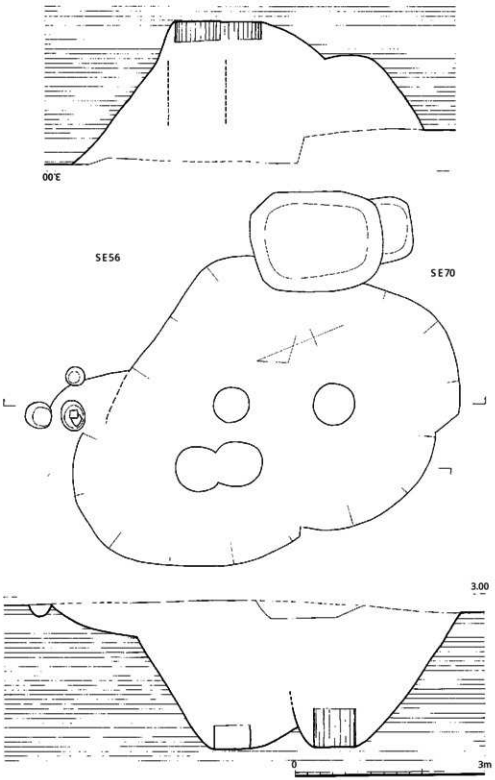
調査区の北東で検出した。掘り方は上面径3.4mの円形を呈し、深さは2.2mを測る。基底部中央に直径75cm、深さ50cmの桶側の痕跡がみられた。底面の標高0.55mを測る。

土坑ＳＫ07（第4図　図版3）

調査区の北で検出した。長径2.1m、短径1.6mの隅丸長方形を呈し、深さは0.2mを測る。



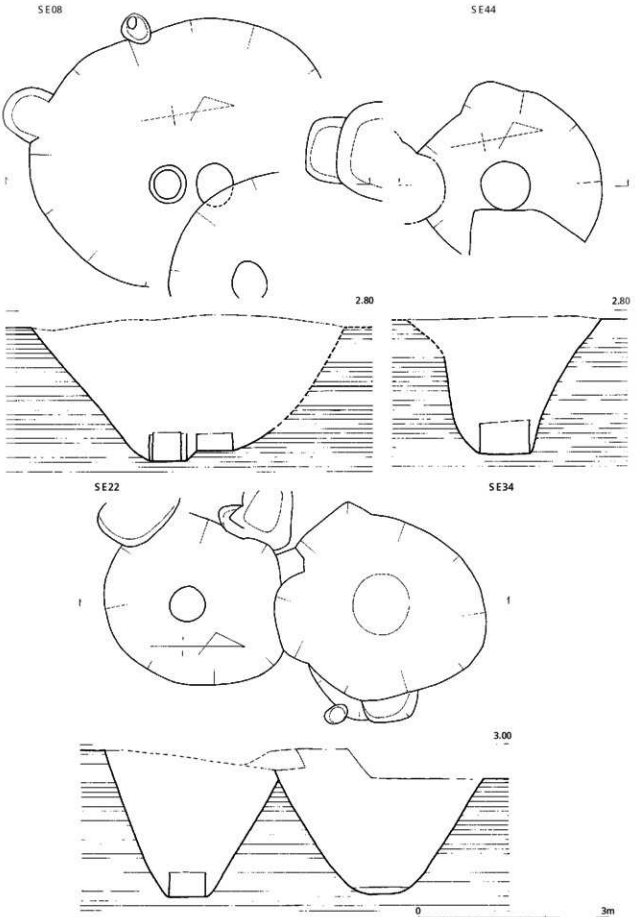
第４図　井戸実測図(1)



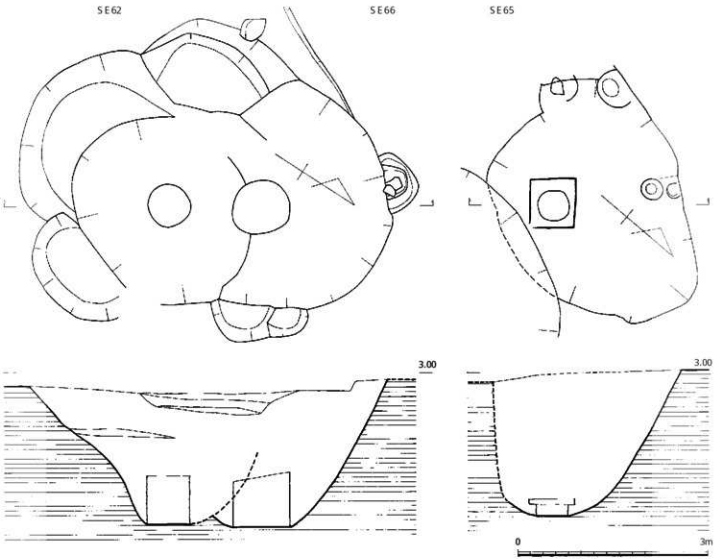
第５図　井戸実測図(2)

出土遺物

土師器小皿・杯は、土器溜り遺構や井戸などから大量に出土した。期間･経費の制約により、それらのすべてを図化することは不可能であり、在地の土器については土師器計測表により法量変化に基づく土器編年の見地から年代を推測するものとする。畿内からの搬入品については可能な限り図化した。



第６図　井戸実測図(3)



第７図　井戸実測図(4)

ＳＫ01出土遺物（第8～11図）

土師器　底部の切り離しは糸による、体部は内外面とも回転横ナデ、内底部はナデ、外底部には板状圧痕がみられる。

小皿（1～71）　口径8.2～12.7cm、　器高0.8～1.8cmを測る。

杯（72～92）　口径13.1～14.6cm、器高2.6～3.3cmを測る。

青磁

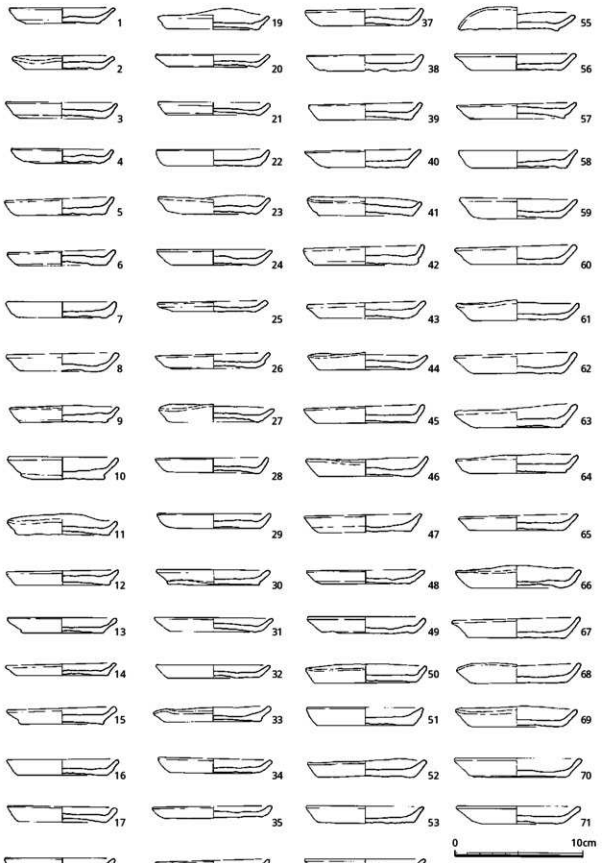
碗（1･2）2は体部が内外面とも無文、内底見込みに四弁花に「金玉満堂」を配した印花文を施している。2は体部内面を片切り彫りで縦に分割し、その空間に崩れた折枝文を配している。

皿（14）　体部中位で屈曲し、口縁部が外反してのびる。内底は平坦で、崩れた折枝文を片切り彫りで施し、空間に之字形点綴文を施す。釉は体部外面の屈曲部まで掛けられている。

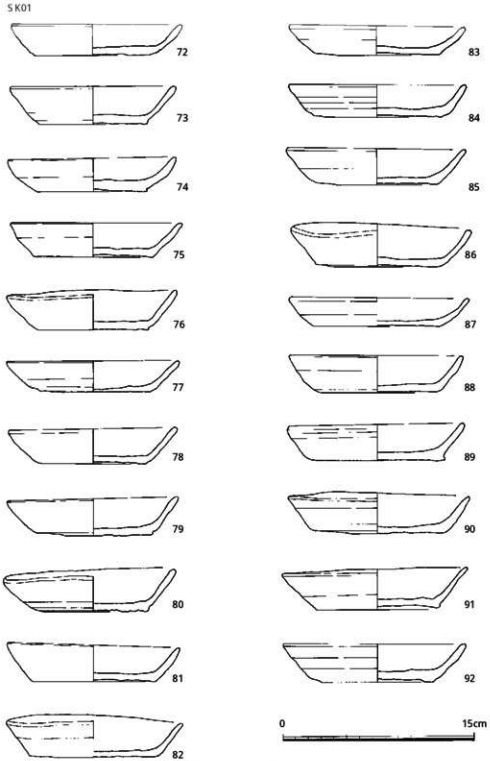
白磁　碗（3）　体部は丸みを持ち、口縁部が直線的に開く。内面の体部と底部の境に沈線をめぐらせる。全面施釉の後、口縁部の釉をかき取っている。

陶器　長瓶（4）　長い体部の上半に最大径を持ち、短い口縁部が付く。体部の内外面にはロクロ目の凹凸が付き、体部外面の下位はヘラ削りされる。

SK01



第８図　土器実測図(1)



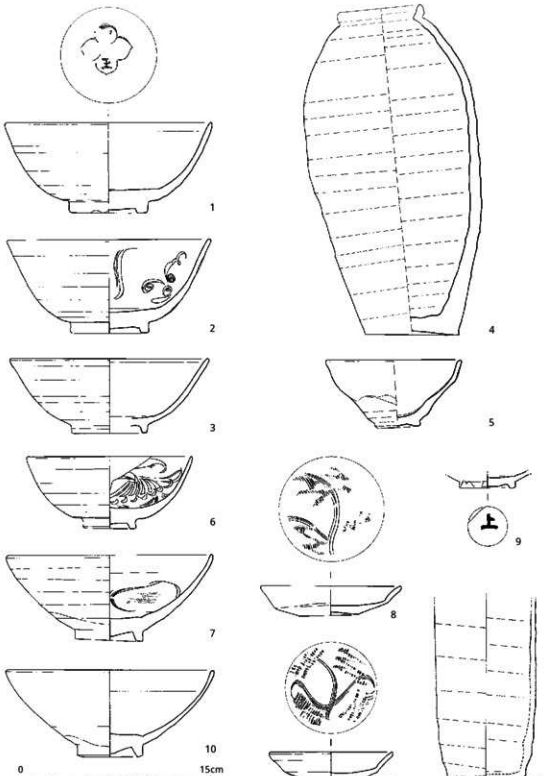
第９図　土器実測図(2)

黒釉陶器　碗（５）　体部は直線的にのび、上位で屈曲しやや外反する口縁部が付く。内底見込みを平坦にする。

ＳＫ03出土遺物（第10図）

青磁

碗（6･7）6は体部内面に片切り彫りで蓮華折枝文を施す。内面の体部と底部の境は、一般的な龍泉窯青磁の無文劃花碗とは異なり、不明瞭である。7は体部外面が無文で、内面は花弁を崩した文様を片

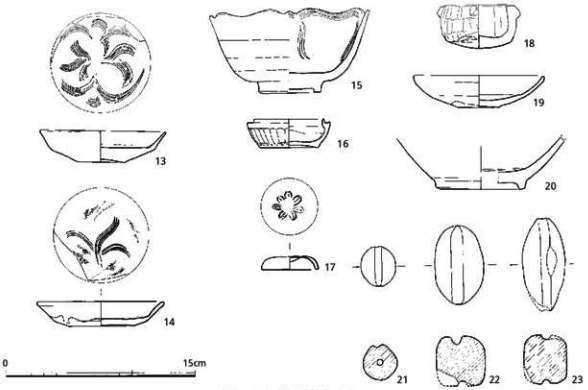


第10図　陶磁器実測図

切り彫りで施し、花弁に之字形点綴文を施す同安窯系の碗である。

皿（８）　体部中位で屈曲し、外反する口縁部が付く。平坦な内底には片切り彫り崩れた折枝文、之字形点綴文を施されている。体部外面の屈曲部まで施釉されている。

ＳＫ04出土遺物（第10図）



第11図　陶磁器他実測図

白磁　碗（9）高台の外側まで釉を施す。内面の体部と底部の境に沈線をめぐらせる。外底部に「上」の墨書が記されている。

ＳＫ05出土遺物（第10図）

青磁　碗（10）内外面とも無文の同安窯系の碗である。内面の口縁部下には沈線がめぐる。

ＳＥ06出土遺物（第10図）

青磁　皿（11）体部中位で屈曲し、外反する口縁部が付く。器高、底径に比べ口径が小さく、やや深めの皿である。内底に片切り彫りの崩れた折枝文と之字形点綴文を施す。

陶器　長瓶（12）体部の上位を欠失している。体部は直立し、底部付近でややすぼまる。ロクロ目、ヘラ削りの単位が2～3cmと幅広である。

ＳＫ20出土遺物（第11図）

青磁　皿（13）体部中位で屈曲し、口縁部が直線的にのびる。口縁端部は薄くおさめられる。底部は厚く、平坦な内底には、櫛目で崩れた花弁文を施す。全面施釉の後、外底の釉をかき取っている。

ＳＥ56出土遺物（第11図）

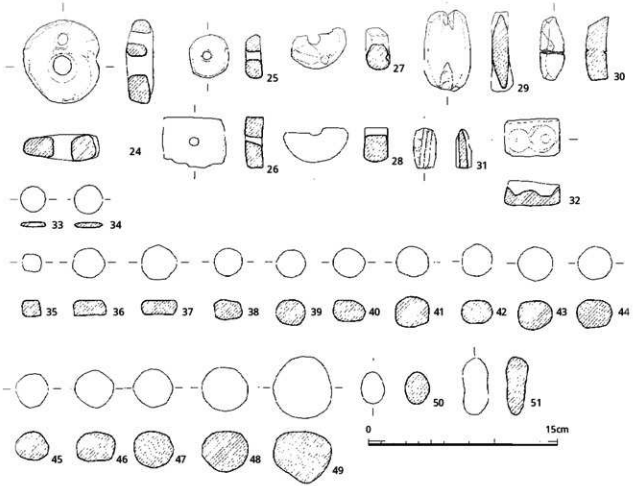
青磁　小碗（15）　口縁部を輪花にし、その下部の体部内面を片切り彫りの平行する２本の曲線で縦に分割する。輪花の間は湾曲させ、それに沿って内面に片切り彫りの曲線をめぐらせ、碗全体を花弁に表現している。

青白磁　合子（16･17）　16は身で、体部外面に型押しで蓮弁文を施す。蓋受けから体部内面上半にかけてと、体部外面底部付近から外底にかけて、露胎となっている。17は蓋で、天井部に七花弁の文様を型押ししている。

ＳＫ10出土遺物（第11図）

滑石製石鍋（18）　口縁部外面の四隅に縦耳が付く石鍋のミニチュアで、体部はやや内傾ぎみに立ち上がる。体部外面にはノミの痕が三段にわたって残っている。完形で、口径5.4cmを測る。

ＳＫ58出土遺物（第11図）



第12図　石製品実測図

白磁　皿（19）　釉下に化粧土を施すⅥ-1類広東タイプの皿である。体部から口縁部にかけて丸みを持ってのび、内面の体部と底部の境には沈線状の段が付く。

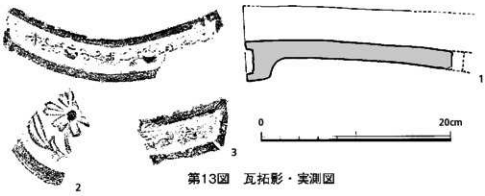
ＳＥ65出土遺物（第11図）

青磁　碗（20）　全面に施釉された越州窯青磁碗底部片で、内底見込みの体部と底部の境界付近と輪状の高台畳付に目あとが残っている。

土製品（第11図）

土錘（21～23）　21は数珠玉状を呈し、孔に沿って外面に断面U字の紐掛けの溝を１条入れる。ＳＥ34出土。22･23は扁球状を呈し、表裏２条の紐掛けの溝をいれる。断面形は隅丸方形を呈する。22はＳＥ02、23はＳＫ23出土。

石製品他（第12図）　24～31は滑石製石錘、32は滑石製の矢立の一部か、33･34は碁石、35～40は瓦玉、41～50は毬杖玉である。



第13図　瓦拓影・実測図

瓦（第13図）　1は、瓦当面の宝珠と唐草文の間に「定恵寺」の文字を配している軒平瓦で、ＳＫ10出土、2は菊花折枝文を配した中国系の軒丸瓦である。

３．12区の調査

検出遺構

井戸

ＳＥ05（第16図　図版6）

調査区の中央西で検出した。掘り方は上面径4.1mの円形を呈し、深さは2.4mを測る。基底部中央に直径65cm、深さ50cmの桶側の痕跡がみられた。底面の標高0.5mを測る。

ＳＥ07（第16図　図版6）

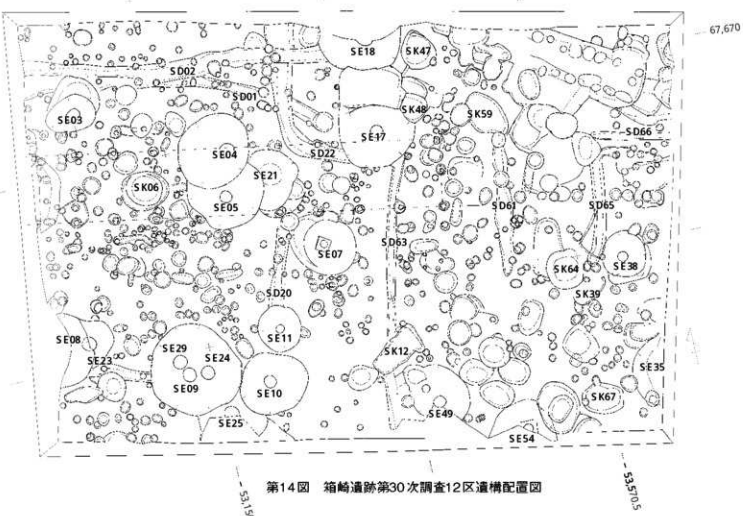
調査区の中央で検出した。掘り方は上面径3.0～3.7mの円形を呈し、深さは2.2mを測る。基底部中央に70cm四方、深さ10cmの井桁と、その下部に直径30cm、深さ20cmの井戸枠の痕跡がみられた。 底面の標高0.7mを測る。

ＳＥ09（第18図　図版6）

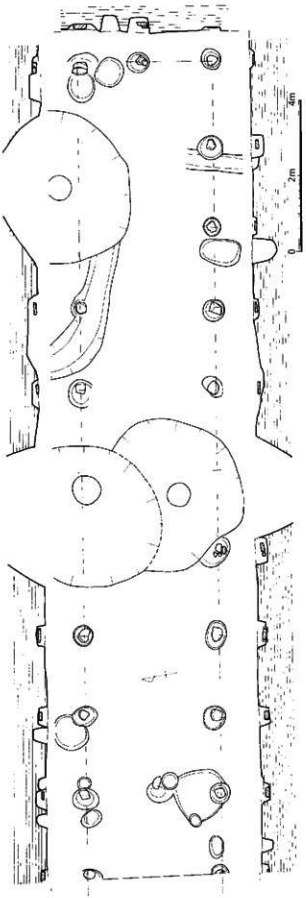
調査区の南西で検出した。掘り方は上面径4.9mの円形を呈し、深さは2.5mを測る。基底部中央に直径70cm、深さ30cmの桶側の痕跡がみられた。底面の標高0.6mを測る。

ＳＥ10（第16図　図版6）

調査区の南で検出した。掘り方は上面径3.4～3.7mの円形を呈し、深さは2.5mを測る。基底部中央に直径65cm、深さ55cmの桶側の井戸枠がみられた。底面の標高0.5mを測る。



第14図　箱崎遺跡第30次調査12区遺構配置図



第15図　掘立柱建物実測図

ＳＥ17（第16図　図版7）

調査区の中央北で検出した。掘り方は上面径4.1mの円形を呈し、深さは2.4mを測る。基底部中央に直径65cm、深さ50cmの桶側の井戸枠がみられた。底面の標高0.6mを測る。

ＳＥ24（第18図　図版6）

調査区の南西で検出した。掘り方は上面径4.9mの円形を呈し、深さは2.4mを測る。基底部中央に直径65cm、深さ50cmの桶側の痕跡がみられた。底面の標高0.6mを測る。

ＳＥ29（第18図　図版4）

調査区の南西で検出した。掘り方は上面径4.9mの円形を呈し、深さは2.5mを測る。基底部中央に直径70cm、深さ45cmの桶側の痕跡がみられた。底面の標高0.5mを測る。

ＳＥ49（第18図　図版8）

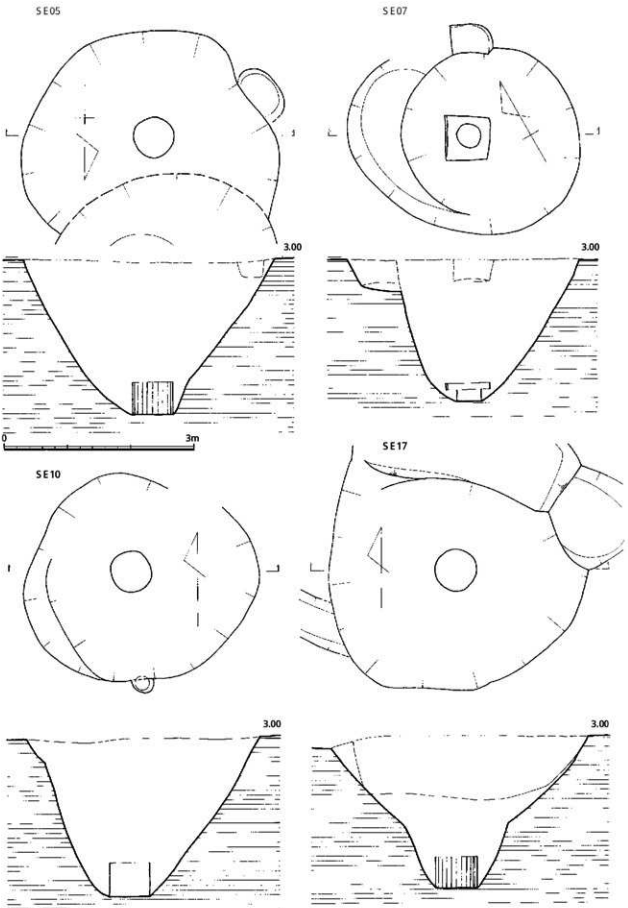
調査区の南で検出した。掘り方は上面径2.8～4.0mの円形を呈し、深さは2.2～2.3mを測る。基底部中央に直径60cm、深さ30cmと直径40cm、深さ10cmの桶側の痕跡がみられた。底面の標高0.75･0.9mを測る。

ＳＥ54（第18図　図版8）

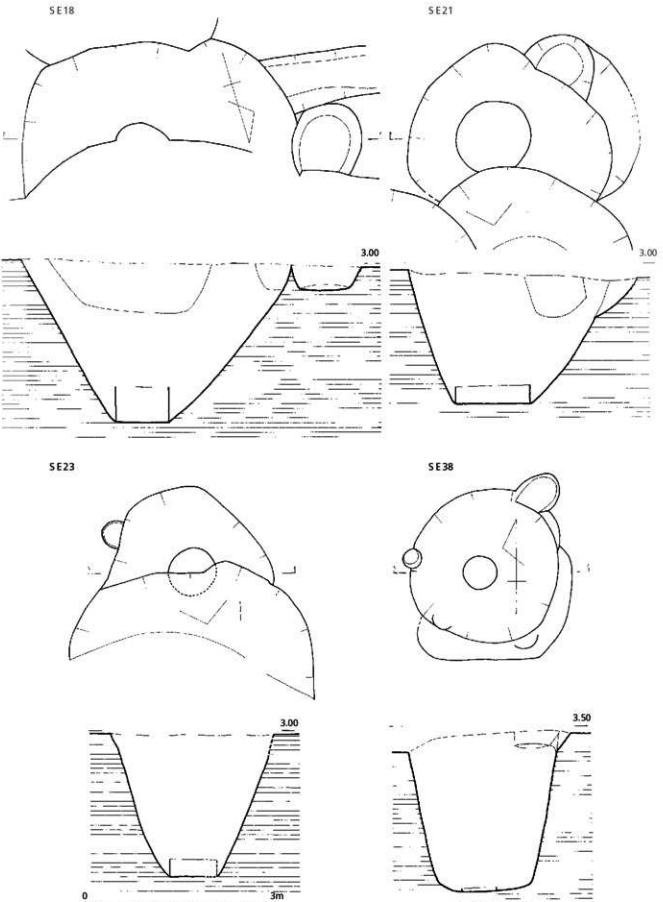
調査区の南東で検出した。掘り方は上面径3.4mの円形を呈し、深さは2.4mを測る。基底部中央に直径45cm、深さ25cmの桶側の痕跡がみられた。底面の標高0.7mを測る。

掘立柱建物ＳＢ70（第15図　図版4）

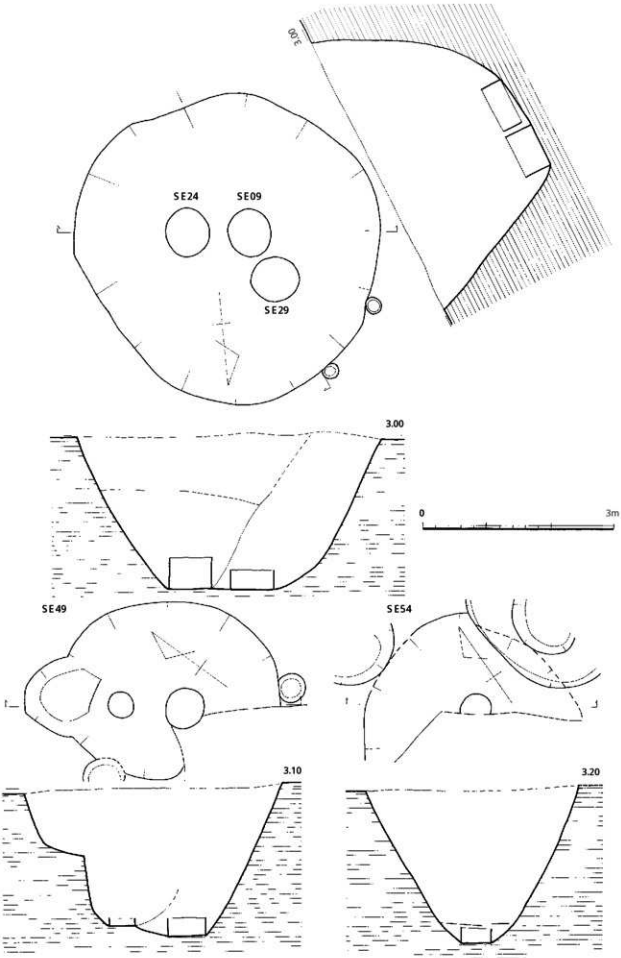
柱穴底面（一部はやや浮いた位置に）に扁平な根石を据えた柱穴からなる梁間２間× 桁行10間以上の長大な東西棟の掘立柱建物である。主軸方位は東偏10°に取る。井戸ＳＥ04・05・17に切られ、下限は14世紀に置かれる。柱間間隔は、梁間で2.1m（７尺）、桁行で1.8m（６尺）を測る。



第16図　井戸実測図(1)



第17図　井戸実測図(2)



第18図　井戸実測図(3)

出土遺物

ＳＥ08出土遺物（第19図）

須恵器　片口鉢（１）　体部は直線的にのび、口縁端部はやや肥厚し外傾している。片口部分は欠失している。底部は糸切り離しにより、体部外面から内面上半にかけて回転横ナデ、内面下半以下はナデを施す。口縁端部外面に黒変が見られる。

ＳＥ11出土遺物（第19図）

土師器　高台付小皿（２）底部ヘラ切り離しの小皿に、八の字に開く高台が貼り付けられている。体部および高台部分は内外面とも回転横ナデ、内底部はナデ、高台内に墨で蝶のような絵が描かれている。

ＳＥ17出土遺物（第19図）

瓦器　輪花椀（３）平坦な外底に菊花の暗文が描かれている楠葉型の輪花椀である。

ＳＫ31出土遺物（第19図）

青磁　碗（４）　越州窯青磁碗の底部片で、全面に施釉され、内底見込みの体部と底部の境界付近と高台畳付に目あとが残っている。断面四角形の輪状高台の端部は鋭い。器肉は薄く、残存する体部の傾きから皿の可能性も考えられる。

ＳＤ30出土遺物（第19図）

石硯（５）　長さ17.8cm、高さ2.3cmを測り、幅は欠失により不明である。陸部の後方には縁部を設けない。黒色粘板岩製。

ＳＤ20出土遺物（第19図）

陶器　甕（６）　高麗陶器甕の頸部片で、口縁部は大きく外反し、端部を丸くおさめる。頸部には波状の凹線が３条、体部との境には断面Ｖ字の突帯がめぐる。胎土は精良で、赤褐色を呈する。

青磁　碗（７）　越州窯青磁碗の底部片で、全面に施釉される。高台内に目あとが残るが、内底にはみられない。高台は外面を直に、内面は斜めに削られている。

ＳＫ32出土遺物（第19図）

土師器　椀（８）　体部は丸みを持ち上位で屈曲し、外反する口縁部がのびる。高さ1.6cm、直径7.4cmの八の字に開く高台が貼り付けられる。口径15.5cm、器高6.0cmを測る。

Pit232出土遺物（第19図）

黒色土器　椀（9･10）　体部は丸みを持ち、やや外反する口縁部がのびる。体部は内外面ともヘラ磨きされる。9には高さ0.9cm、直径6.2cmの低い高台が貼り付けられる。外面を直に、内面は斜めの形状を取り、内外面とも回転横ナデされる。10は高台欠失。

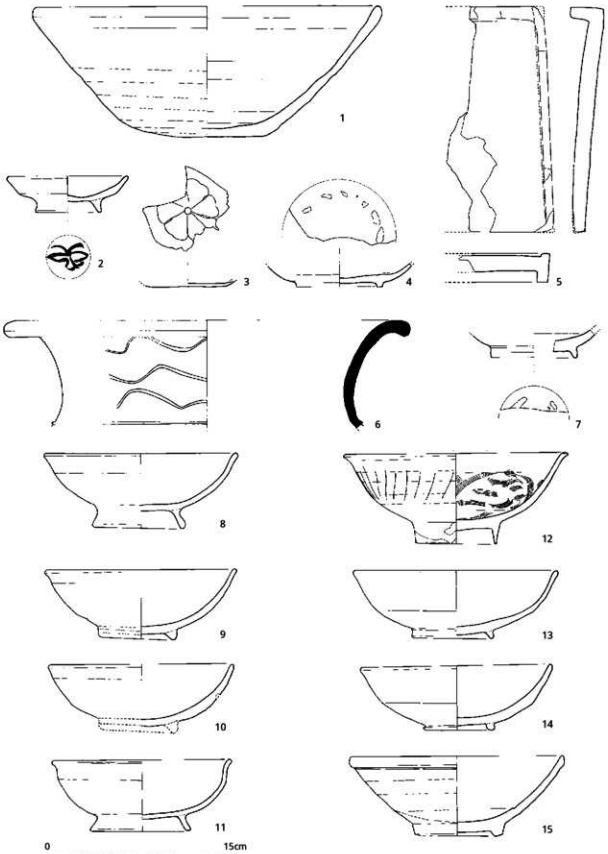
Pit495出土遺物（第19図）

土師器　椀（11）　体部は丸みを持ち上位で屈曲し、口縁部が直にのび端部をやや外反させる。高さ1.4cm、直径7.9cmの八の字に開く高台が貼り付けられる。口径14.3cm、器高5.7cmを測る。

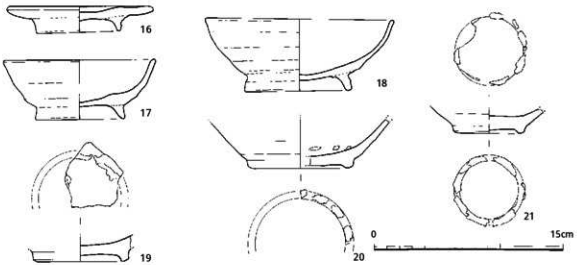
Pit167出土遺物（第19図）

白磁　碗（12）　細く高い高台を有するＶ類の碗で、内面は体部から底部まで櫛状工具を用いた施文、体部外面には細い片切り彫りの施文がある。

瓦器　椀（13･14）　丸みを持った体部中位で屈曲し、やや外反する口縁部がのびる。高さ0.7cm、直径6.5･5.7cmの外に開く低い高台が貼り付けられる。体部は内外面ともヘラ磨きされ、高台部分は内外面とも回転横ナデされる。14は器肉が厚く作られている。



第19図　出土遺物実測図(1)



第20図　出土遺物実測図(2)

白磁　碗（15）　玉縁口縁を有し、高台の削り出しが浅いⅣ-1a類の碗である。内面の体部と底部の境界付近には沈線状の段が付く。

SX72出土遺物（第20図）

土師器

托（16）　内側がややくぼむ扁平な口径9.6cmの円盤に、高さ1.2cm、直径6.8cmの直立する高台が貼り付けられ、器高2.0cmを測る。

小椀（17）　体部は直線的にのび中位で屈曲し、口縁部が直にのびる。高さ1.0cm、直径7.2cmの外に開く高台が貼り付けられる。口径12.1cm、器高4.8cmを測る。

椀（18）　体部は直線的にのび中位で屈曲し、やや外反する口縁部が付く。高さ1.4cm、直径8.5cmの外に開く高台が貼り付けられる。口径15.0cm、器高5.7cmを測る。

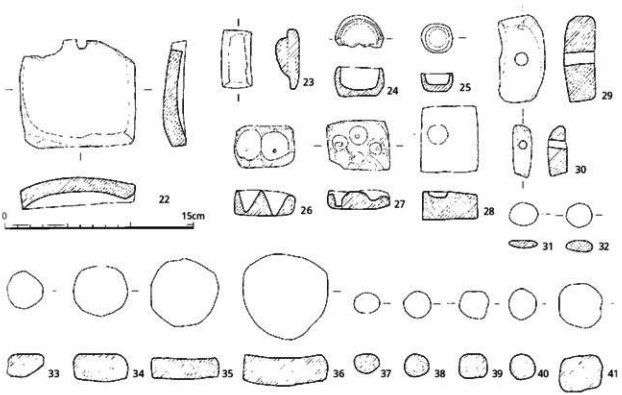
Pit329出土遺物（第20図）

青磁　碗（20）　全面に施釉された越州窯青磁碗底部片で、内底見込みの体部と底部の境付近と輪状の高台畳付に目あとが残っている。断面台形の高台の削り出しは浅く、畳付外側が面取りされている。12区表面採取の青磁底部片（19）は同型と見られる。

SK48出土遺物（第20図）

青磁　碗（21）　全面に施釉された越州窯青磁碗底部片で、内底は平坦をなし、体部との境は明瞭である。内面の境付近と輪状の高台畳付に目あとが残っている。断面台形の高台の削り出しは浅く、畳付は外に跳ねている。

石製品他（第21図）　22～30は滑石製石鍋片を転用したもので、22は硯状、23はコテ状、24・25は容器状を呈する。29・30は石錘である。31・32は碁石、33～36・39・41は瓦玉、37・38・40は毬杖玉である。



第21図　石製品実測図

4．13区の調査

検出遺構

井戸

ＳＥ03（第23図　図版11）

調査区の中央西で検出した。掘り方は上面径5.5～6.0mの円形を呈し、深さは2.3mを測る。基底部中央に直径80cm、深さ60cmの桶側の痕跡がみられた。底面の標高0.5mを測る。

ＳＥ12（第23図）

調査区の中央東で検出した。掘り方は上面径3.0～3.4mの円形を呈し、深さは2.1mを測る。基底部中央に直径70cm、深さ45cmの桶側の痕跡がみられた。底面の標高0.55mを測る。

ＳＥ36（第23図　図版11）

調査区の北西で検出した。掘り方は上面径4.1mの円形を呈し、深さは2.2mを測る。基底部中央に直径70cm、深さ50cmと直径65cm、深さ55cmを測る二段の桶側の痕跡がみられた。底面の標高0.55mを測る。

ＳＥ140（第23図　図版13）

調査区の南で検出した。掘り方は上面径3.3～4.5mの円形を呈し、深さは2.2mを測る。基底部中央に直径75cm、深さ70cmの桶側の井戸枠がみられた。底面の標高0.3mを測る。

ＳＥ43（第24図　図版12）

調査区の北で検出した。掘り方は上面径3.3mの円形を呈し、深さは2.3mを測る。基底部中央に直径70cm、深さ65cmの桶側の痕跡がみられた。底面の標高0.4mを測る。

ＳＥ72（第24図）

調査区の中央東で検出した。掘り方は上面径3.0～3.6mの円形を呈し、深さは1.8mを測る。基底部中央に65cm四方、深さ10cmの井桁と、その下部に直径50cm、深さ40cmの井戸枠の痕跡がみられた。底面の標高0.55mを測る。

ＳＥ81（第24図　図版12）

調査区の中央で検出した。掘り方は上面径2.1mの円形を呈し、深さは1.2mを測る。基底部中央に直径45cm、深さ20cmの桶側の痕跡がみられた。底面の標高0.8mを測る。

ＳＥ96（第24図）

調査区の中央で検出した。掘り方は上面径2.3mの円形を呈し、深さは1.3mを測る。基底部中央に直径55cm、深さ35cmの桶側の痕跡がみられた。底面の標高0.7mを測る。

ＳＥ114（第24図）

調査区の南西で検出した。掘り方は上面径2.8mの円形を呈し、深さは2.0mを測る。基底部中央に直径60cm、深さ20cmの桶側の痕跡がみられた。底面の標高0.7mを測る。

ＳＥ116（第25図　図版12）

調査区の南西で検出した。掘り方は上面径3.3mの円形を呈し、深さは2.2mを測る。基底部中央に直径55cm、深さ55cmの桶側の痕跡がみられた。底面の標高0.5mを測る。

ＳＥ117（第25図　図版13）

調査区の南西で検出した。掘り方は上面径4.1～4.5mの円形を呈し、深さは2.3mを測る。基底部中央に直径70cm、深さ50cmの桶側の痕跡がみられた。底面の標高0.6mを測る。

ＳＥ125（第25図　図版13）

調査区の南で検出した。掘り方は上面径4.8mの円形を呈し、深さは2.3mを測る。基底部中央に直径60cm、深さ50cmの桶側の痕跡がみられた。底面の標高0.5mを測る。

ＳＥ145（第25図　図版13）

調査区の南西で検出した。掘り方は上面径3.5mの円形を呈し、深さは2.1mを測る。基底部中央に直径70cm、深さ40cmの桶側の痕跡がみられた。底面の標高0.75mを測る。

方形竪穴ＳＫ144（第26図　図版15）

調査区の南東で検出した。長径4.7m、短径3.5mの隅丸方形を呈し、深さは0.7～0.8mを測る。底面の四隅に直径30～40cmの柱穴を配している。東側辺の方位はほぼ真北に取る。

出土遺物

ＳＫ01出土遺物（第27・34図）

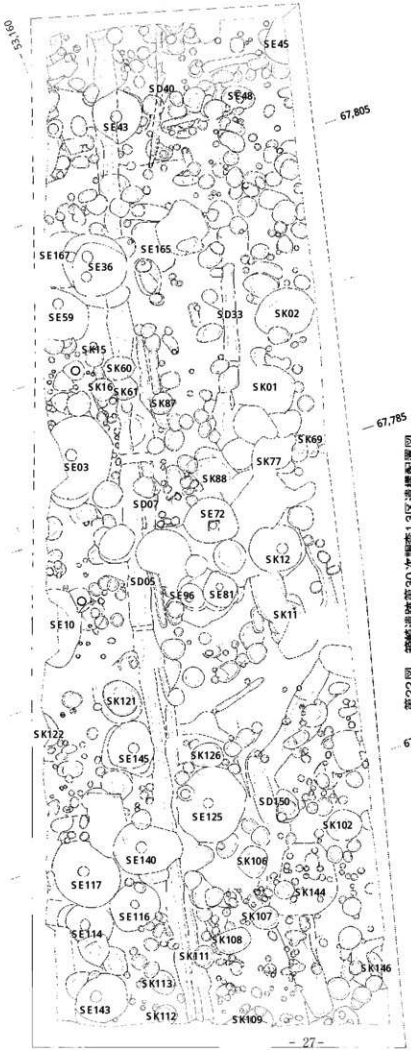
土師器　底部の切り離しは糸による、体部は内外面とも回転横ナデ、内底部はナデ、外底部には板状圧痕がみられる。

小皿（1～33）口径8.5～10.0cm、器高0.8～2.0cmを測る。

杯（34～52）　口径12.6～14.0cm、器高1.8～3.0cmを測る。

白磁　碗（16）　口縁部が小さな玉縁状をなし、体部は内湾し、高台は外面を直、内面を斜めに削り出している。

ＳＫ02出土遺物（第28・29・33図）



第22図　箱崎遺跡第30次調査13区遺構配置図

土師器　底部は糸切り離し、体部内外面とも回転横ナデ、内底部はナデ、外底部には板状圧痕がみられる。

小皿（1～48）口径7.6～9.8cm、器高0.8～1.6cmを測る。

杯（49～90）口径11.6～13.7cm、器高2.4～3.7cmを測る。

青磁

小碗（1）口径9.4cm、器高4.1cmを測る小形の碗で、高台外側まで釉が掛けられている。

皿（2）体部中位で屈曲し、口縁部が外反してのびる。内底は平坦で、崩れた折枝文を片切り彫りで施し、空間に之字形点線文を施す。全面施釉の後、外底部の釉をかき取っている。

ＳＥ03出土遺物（第33図）

白磁　皿（3）全面施釉の後、口縁部の釉をかき取る平底の皿である。

ＳＫ04出土遺物（第30図）

土師器　底部は糸切り離し、体部内外面とも回転横ナデ、内底部はナデ、外底部には板状圧痕がみられる。

小皿（1～3）口径8.7～10.0cm、器高1.5～1.8cmを測る。

杯（4～13）口径12.3

～13.5cm、器高2.6～3.5cmを測る。

ＳＫ11出土遺物（第30図）

土師器　底部は糸切り離し、体部内外面とも回転横ナデ、内底部はナデ、外底部には板状圧痕。

小皿（1～8）口径8.1～9.0cm、器高1.0～1.3cmを測る。

杯（9～22）　口径12.0～14.1cm、器高2.5～3.6cmを測る。

ＳＫ24出土遺物（第31・33図）

土師器　底部は糸切り離し、体部内外面とも回転横ナデ、内底部はナデ、外底部には板状圧痕がみられる。

小皿（1～7）口径7.7～10.2cm、器高1.0～1.5cmを測る。

杯（8～13）　口径12.2～13.3cm、器高2.8～3.5cmを測る。

托（4）　内側がややくぼむ扁平な口径12.5cmの円盤に、高さ1.2cm、直径7.7cmの外に開く高台が貼り付けられ、器高2.2cmを測る。外底部に板状圧痕が残り、内底面がナデ、他は回転横ナデ。

ＳＫ73出土遺物（第33図）

土師器　高台付小皿（5）口径9.3cm、器高2.2cmの杯に、高さ0.9cm、直径5.1cmのやや外に開く高台を貼り付け、器高3.1cmを測る。外底部に板状圧痕が残り、体部および高台部分は内外面とも回転横ナデ、内底部はナデを施す。

ＳＫ104出土遺物（第33図）

白磁　皿（6）体部が直線的に延び、体部内面下位に段を持つ皿Ⅵ-1・b類である。

ＳＥ43出土遺物（第33図）

青磁　碗（7）外面に蓮弁を削り出し、その上に櫛目を縦に入れる。口縁部は内湾し、底部はやや上底の平高台である。

ＳＫ50出土遺物（第31・33図）

土師器　底部糸切り離し、体部内外面とも回転横ナデ、内底部はナデ、外底部には板状圧痕。

小皿（1～20）口径8.5～10.1cm、器高1.0～1.5cm、杯（21）口径15.0cm、器高1.4cmを測る。

瓦器　椀（8）　体部は丸みを持ち、やや外反する口縁部がのびる。体部は内外面ともヘラ磨きされる。高さ0.9cm、直径7.3cmの低い高台が貼り付けられる。外面を直に、内面は斜めの形状を取り、内外面とも回転横ナデされる。

ＳＫ75出土遺物（第33図）

白磁　碗（9）　口縁端部を平坦にするタイプで、体部外面下半まで施釉され、内面の体部と底部の境界部分の釉は輪状にかき取られている。

Pit346出土遺物（第33図）

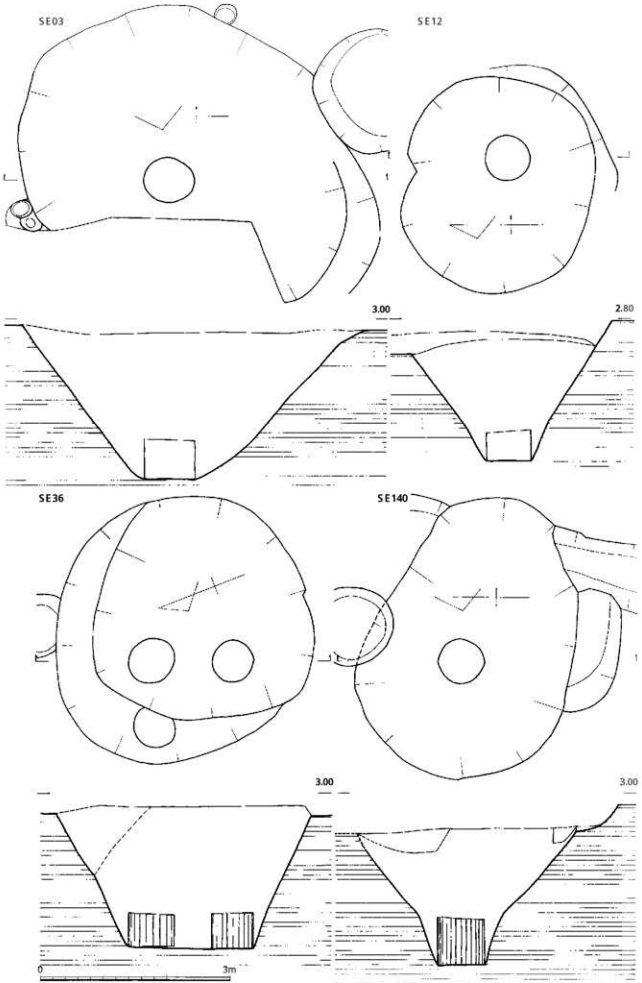
白磁　碗（10）　口縁端部を平坦にするタイプで、内面の体部と底部の境界部分に沈線状の段が付く。体部外面下半は露胎である。

ＳＥ145出土遺物（第33図）

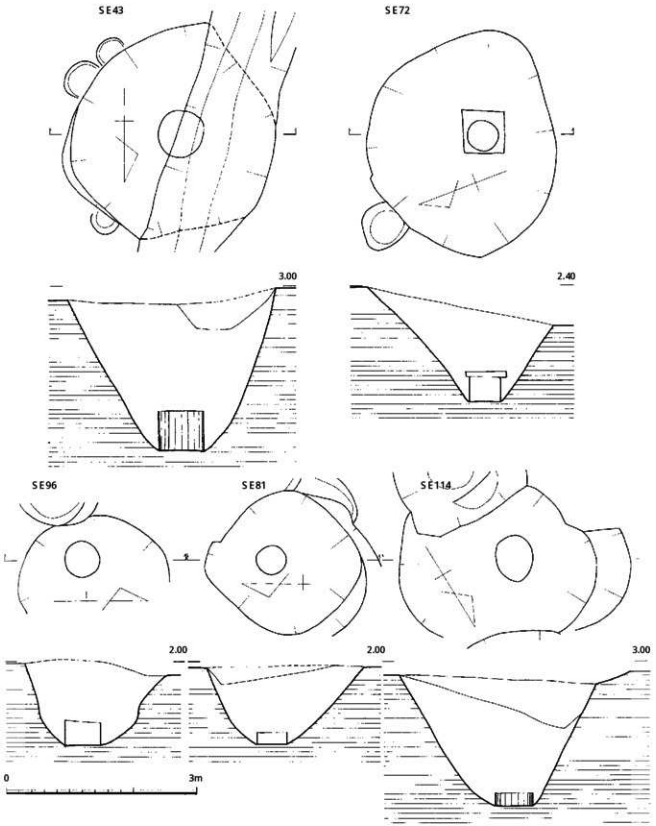
土師器　高台杯（11）　口径18.0cm、器高2.8cmの杯に、高さ1.4cm、直径9.8cmのやや外に開く高台を貼り付け、器高4.5cmを測る。外底部に板状圧痕が残り、体部および高台部分は内外面とも回転横ナデ、内底部はナデを施す。

ＳＤ05出土遺物（第33図）

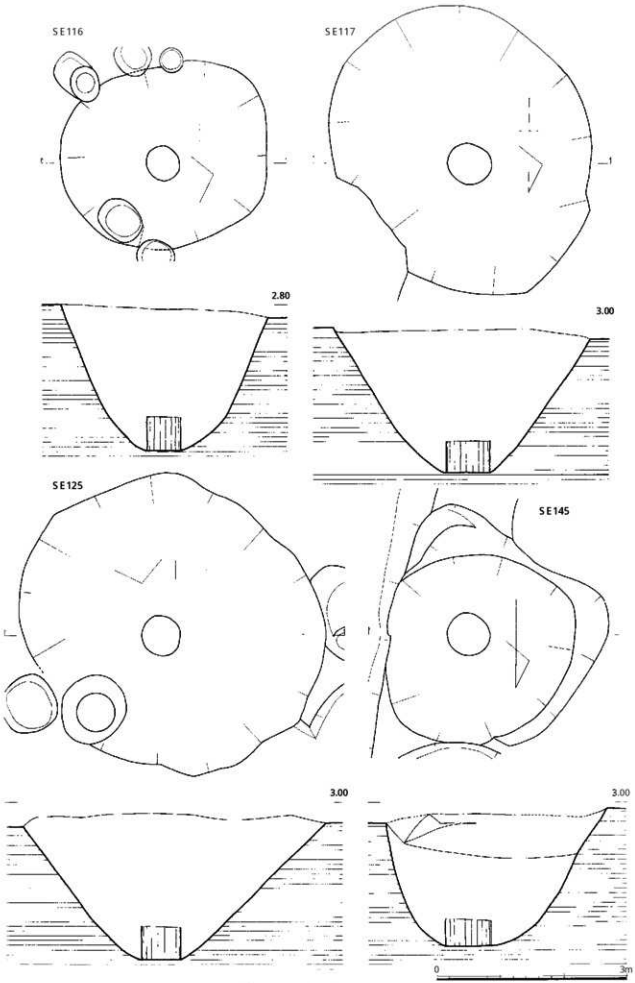
銅鈴（12）青銅製で、下端に孔を穿ち、体部中位に凹線がめぐる。



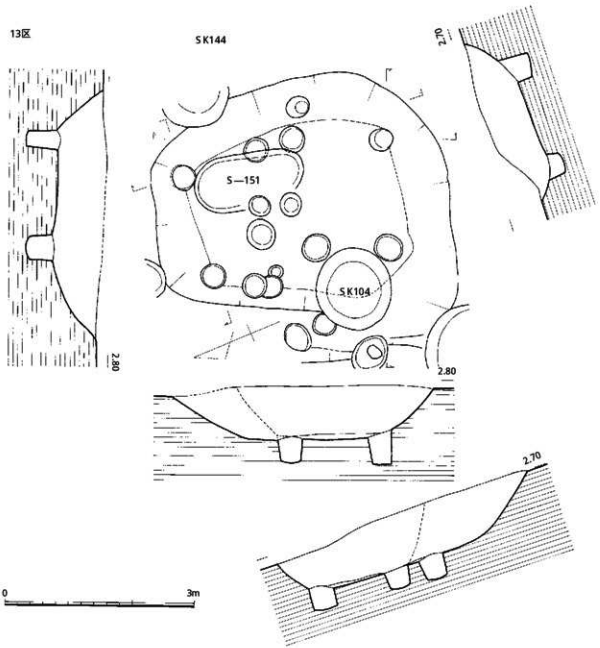
第23図　井戸実測図(1)



第24図　井戸実測図(2)



第25図　井戸実測図(3)



第26図　方形竪穴実測図

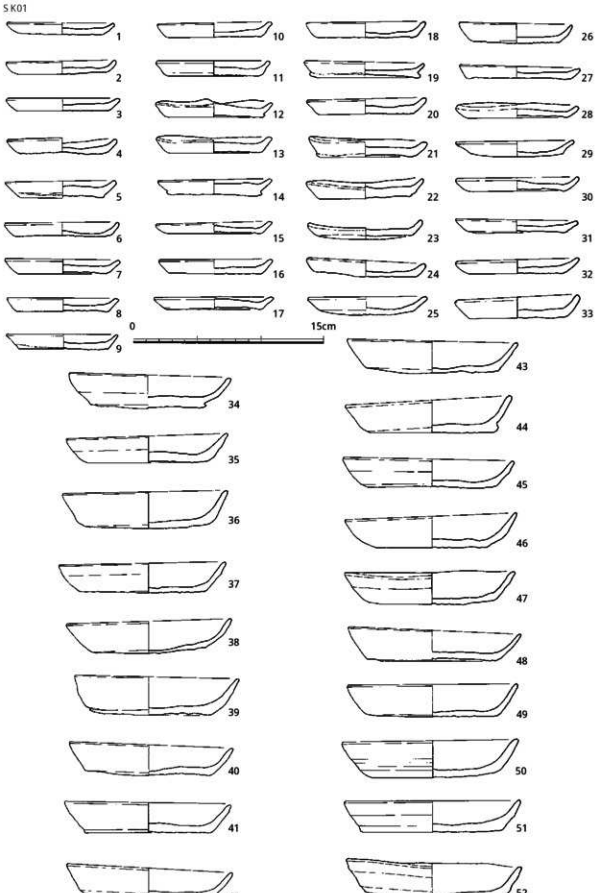
ＳＫ102出土遺物（第31図）

土師器　底部は糸切り離し、体部内外面とも回転横ナデ、内底部はナデ、外底部は板状圧痕。

小皿（1～4）口径8.8～10.4cm、器高1.0～1.8cm、杯（5～7）口径13.7～14.2cm、器高2.2～3.2cm。

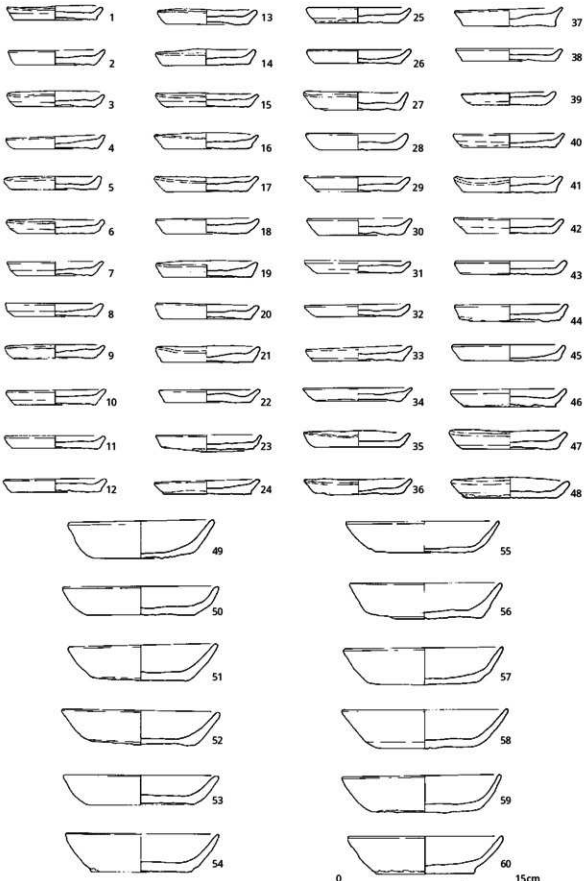
Pit450出土遺物（第33図）

瓦器　椀（13）　内湾する体部から口縁部が直線的にのびる。外に開く高台を貼付する。

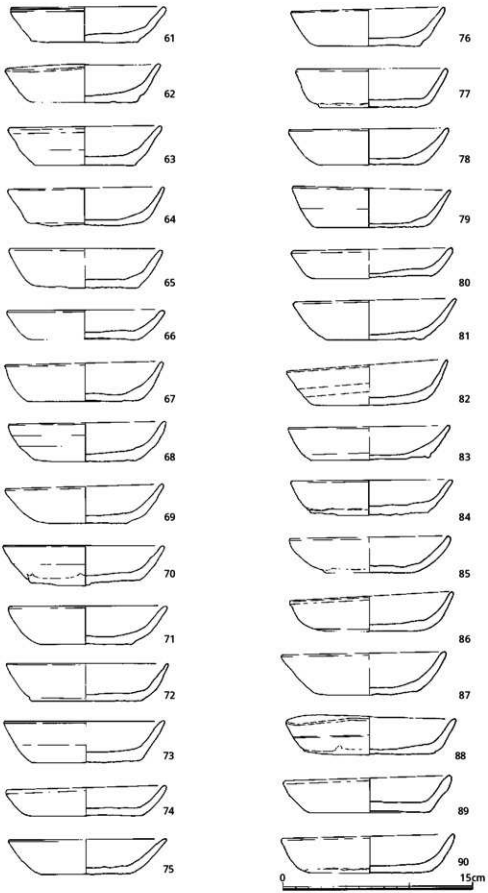

SK01
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
0
15cm
34
35
36
37
38
39
40
41
42
43
44
45
46
47
48
49
50
51
52

第27図　土器実測図(1)

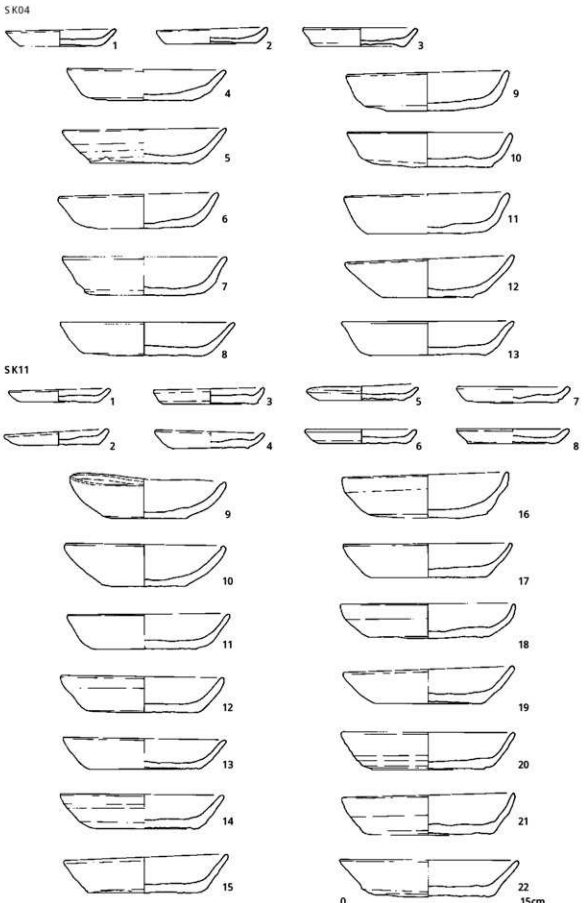
SK02



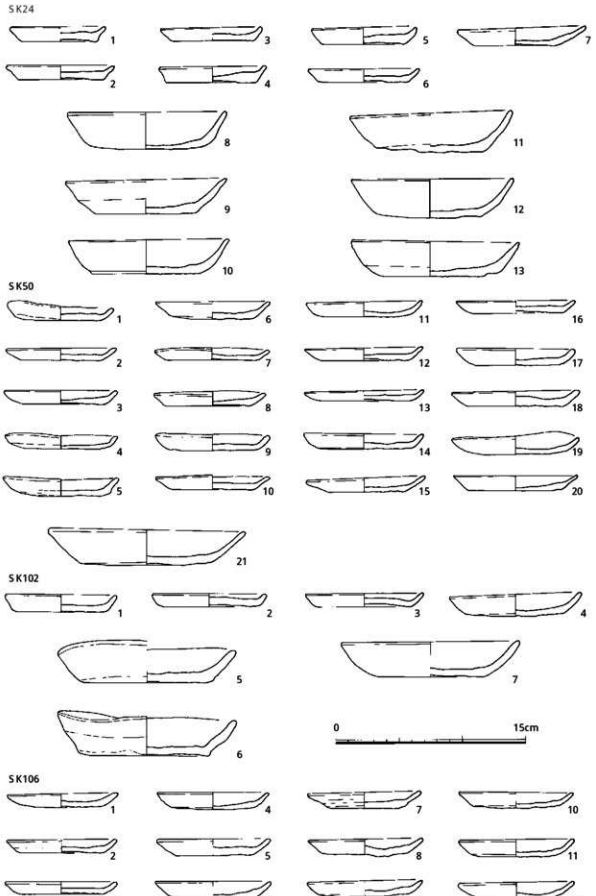
第28図　土器実測図(2)


61
62
63
64
65
66
67
68
69
70
71
72
73
74
75
76
77
78
79
80
81
82
83
84
85
86
87
88
89
90
0
15cm

第29図　土器実測図(3)


SK04
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
SK11
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
0
15cm

第30図　土器実測図(4)



第31図　土器実測図(5)

ＳＫ106出土遺物（第31～33図）

土師器　底部はヘラ切り離し、体部外面は回転横ナデ、外底部は板状圧痕。

小皿（1～39）体部内面が回転横ナデ、内底はナデ。口径8.7～10.2cm、器高0.8～1.8cmを測る。

丸底杯（40～51）　内面は平滑である。口径14.6～17.0cm、器高3.0～3.7cmを測る。

陶器　盤（14）　やや内湾し外に開く体部に、内傾する鍔状の口縁部が付く。内底見込に簡略化された牡丹折枝文を鉄絵で描く。内面が施釉され、内面から口縁部外面までは化粧土が塗布されている。口径21.2cm・器高6.2cm・底径13.1cmを測る。福建省晋江磁竈童子山窯産。

ＳＫ112出土遺物（第31,33図）

青磁　碗（15）　断面逆台形の高台を持ち、内湾気味の体部から口縁部が直線的にのびる。体部外面に櫛状の工具を用いて条線を放射状に施す。内面は花弁を崩した文様を片切り彫りで施し、空間には之字形点綴文を施す同安窯系Ⅰ-1・b類の碗である。

ＳＥ43出土遺物（第34図）

青磁　碗（17）　体部外面に櫛状の工具を用いて条線を放射状に施し、内面は崩した花弁文を片切り彫りし、間を之字形点綴文で埋める同安窯系Ⅰ-1・b類の碗である。

石製品　いずれも滑石製

石鍋（18）　口縁部外面の四隅に縦耳が付き、体部は直に立ち上がる。体部内外面にノミの痕が残っている。SK136出土。

20は温石、21は円盤状の石錘で、SE116出土、22は表裏２条に紐掛け溝が入る石錘で、SK45出土。

土製品　土錘（23～30・33～44）　23～30は数珠玉状を呈し、24～30は孔に沿って外面に断面U字の紐掛けの溝を１条入れる。33～44は紡錘状を呈する。

瓦（第35図）

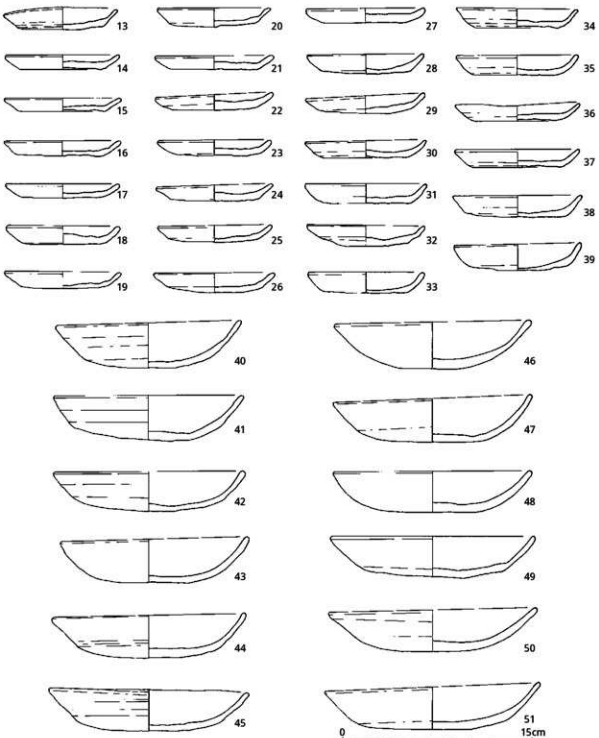
１は、長く伸びた尾を持つ三巴文に、外区に細かい珠文をめぐらせる軒丸瓦で、ＳＫ16からの出土である。２は、宝珠の中心飾りから均整唐草文が３回反転しながらのびる軒平瓦で、ＳＫ60出土。3は瓦当径15cm、瓦当厚2.8cmの単弁八葉蓮華文軒丸瓦で、内区中央は圏線で囲まれ1＋8の蓮子を配している。蓮弁は断面半円形の凸線で外形を表し、盛り上がっている。外区には珠文を配している。ＳＥ116井戸枠内出土。４・５は半截した宝相華文系の花菱を内区に、上下の外区に珠文を配している。外区の珠文の径、間隔、外区を仕切る界線などの太さは、単弁八葉蓮華文軒丸瓦と同じで、セットと考えられる。ＳＫ115出土。６は複弁八葉蓮華文軒丸瓦で、型の彫りは丁寧で浅い。ＳＫ135出土。７は偏向唐草文軒平瓦で、上の外区に珠文を配している。ＳＤ134出土。中国系の8～10はＳＥ145井戸枠内出土。８は菊折枝文を配した軒丸瓦の下部、9・10は押圧波状文重弧文軒平瓦である。

その他の出土遺物（第36図）

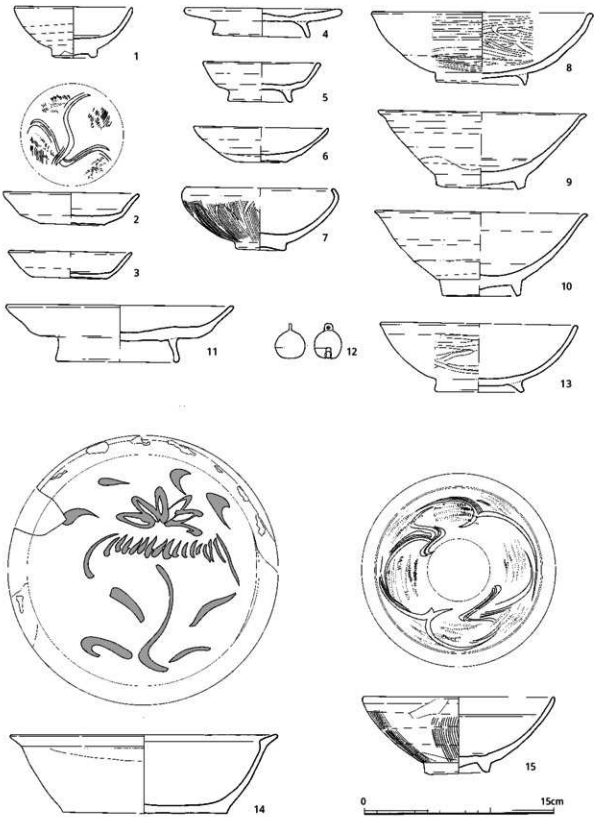
弥生土器　壺（1）屈曲部がにぶく稜をなす袋状口縁壺の口縁から頸部にかけての破片で、口縁下に断面三角形の突帯がめぐる。外面にはハケメが残る。

土師器　壺（2）体部は扁球形を呈し、直立する頸部から鋭く屈曲し大きく外反する二重口縁が付く。口縁端部は薄くおさめられている。

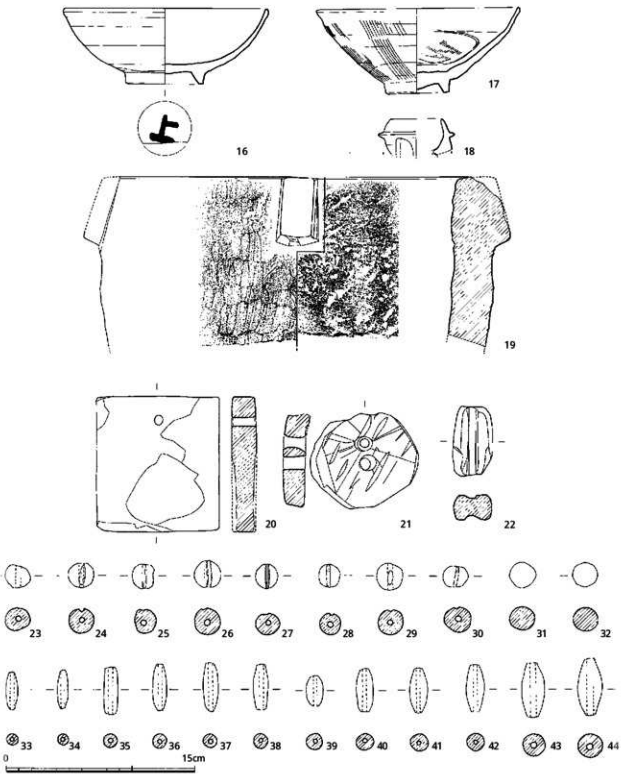
土師器　長頸壺（3）体部は球形を呈し、口縁部は長く直線的に開く。体部外面下半には丁寧な削り、上半から口縁部にかけてはハケ目の後ヘラ磨きを施す。口縁部内面にはハケ目の後暗文状にヘラ磨きを施す。底部が穿孔されている。


13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38
39
40
41
42
43
44
45
46
47
48
49
50
51
0
15cm

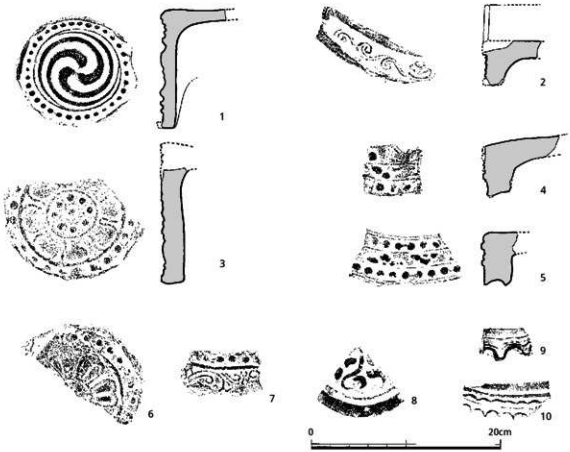
第32図　土器実測図(6)



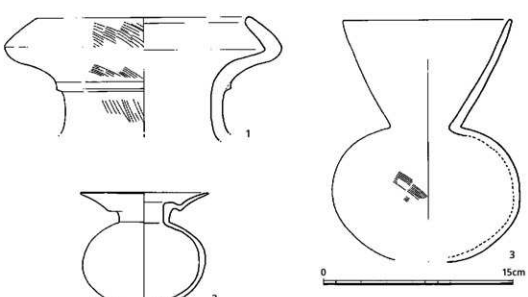
第33図　出土遺物実測図(1)



第34図　出土遺物実測図(2)



第35図　瓦拓影・実測図



第36図　出土土器実測図

５．14区の調査

検出遺構

井戸

ＳＥ02（第38図　図版16）

調査区の北で検出した。掘り方は上面径2.6～3.0mの円形を呈し、深さは2.4mを測る。基底部中央に直径50cm、深さ35cmの桶側の痕跡がみられた。底面の標高0.6mを測る。

ＳＥ03（第38図　図版16）

調査区の中央西で検出した。掘り方は上面径3.7mの円形を呈し、深さは1.9mを測る。基底部中央に直径75cm、深さ65cmの桶側の痕跡がみられた。底面の標高0.45mを測る。

ＳＥ06（第38図　図版16）

調査区の中央南で検出した。掘り方は上面径3.8～4.5mの円形を呈し、深さは1.8mを測る。基底部中央に一辺65cm、深さ35cmの正方形の井戸枠の痕跡がみられた。底面の標高0.65mを測る。

ＳＥ14（第38図　図版16）

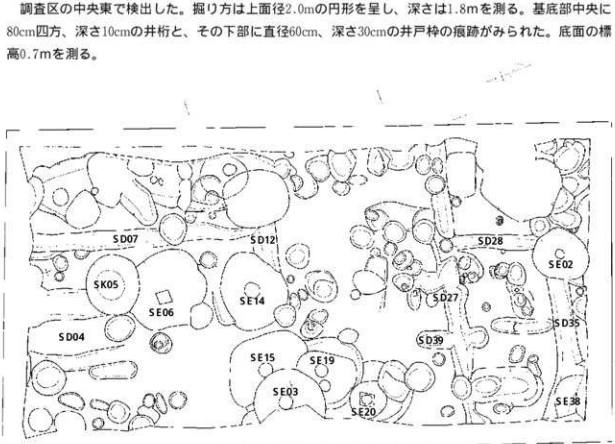
調査区の中央で検出した。掘り方は上面径3.5～4.2mの円形を呈し、深さは1.8mを測る。基底部中央に直径90cm、深さ30cmの桶側の井戸枠がみられた。底面の標高0.7mを測る。

ＳＥ15（第39図　図版17）

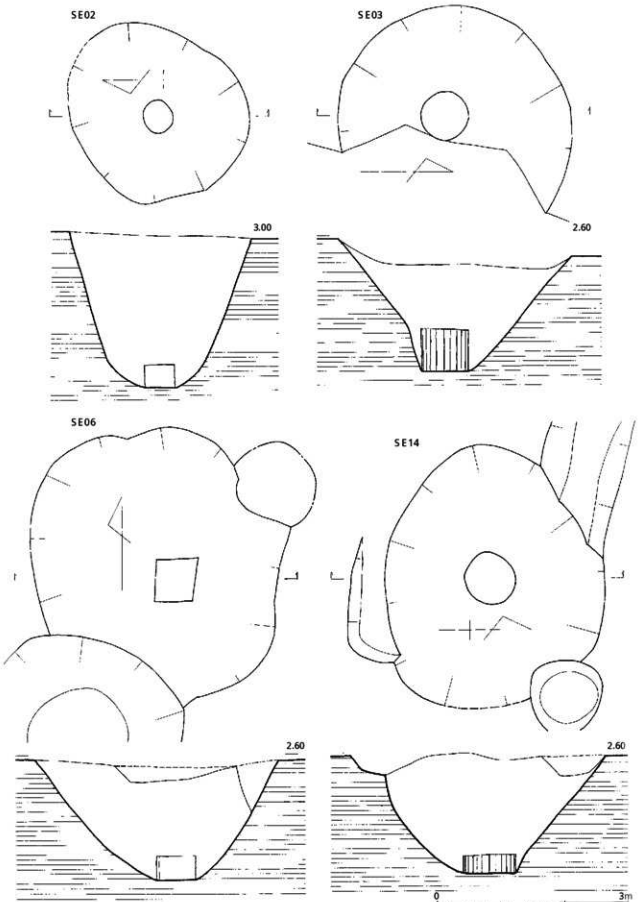
調査区の中央東で検出した。掘り方は上面径4.8mの円形を呈し、深さは2.3mを測る。基底部中央に直径75cm、深さ65cmの桶側の痕跡がみられた。底面の標高0.45mを測る。

ＳＥ20（第39図　図版17）

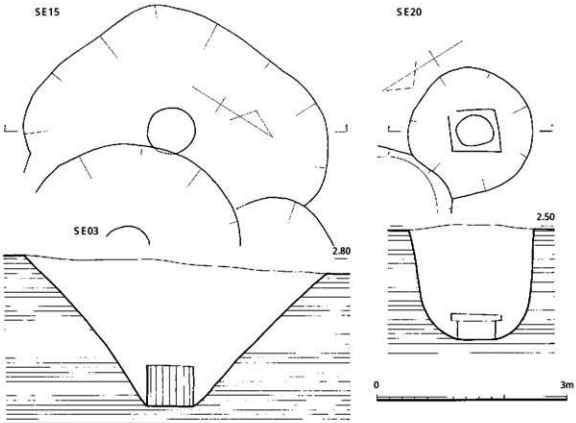
調査区の中央東で検出した。掘り方は上面径2.0mの円形を呈し、深さは1.8mを測る。基底部中央に80cm四方、深さ10cmの井桁と、その下部に直径60cm、深さ30cmの井戸枠の痕跡がみられた。底面の標高0.7mを測る。



第37図　箱崎遺跡第30次調査14区遺構配置図



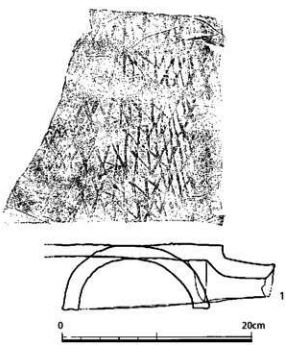
第38図　井戸実測図(1)



第39図　井戸実測図(2)

出土遺物

丸瓦　玉縁付丸瓦で凸面には斜格子の叩き目が残る。



第40図　瓦拓影・実測図

6．17区の調査

検出遺構

井戸

ＳＥ08（第43図　図版18）

調査区の北東で検出した。掘り方は上面径3.3～3.8mの円形を呈し、深さは1.7mを測る。基底部中央に1.1m四方、深さ20cmの井桁と、その下部に直径65cm、深さ25cmの井戸枠の痕跡がみられた。底面の標高1.2mを測る。

ＳＥ11（第43図　図版18）

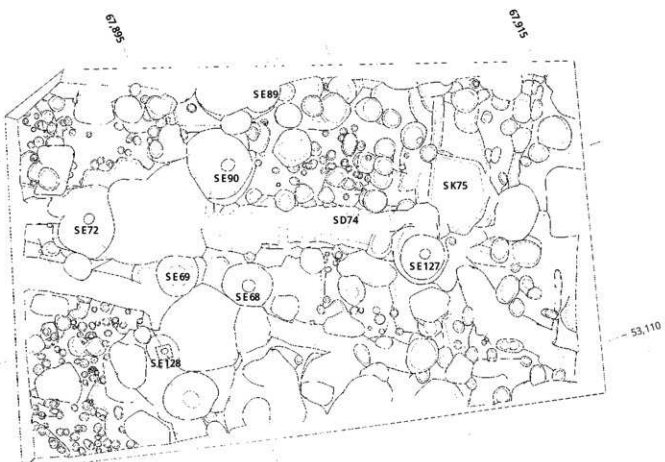
調査区の北東で検出した。掘り方は上面径3.1mの円形を呈し、深さは1.7mを測る。基底部中央に0.9m四方、深さ25cmの井桁と、その下部に直径70cm、深さ45cmの井戸枠の痕跡がみられた。底面の標高1.2mを測る。

ＳＥ57（第43図　図版18）

調査区の中央で検出した。掘り方は上面径2.6～2.9mの円形を呈し、深さは2.1mを測る。基底部中央に直径70cm、深さ70cmの桶側の痕跡がみられた。底面の標高0.85mを測る。

ＳＥ68（第43図　図版19）

調査区の南で検出した。掘り方は上面径2.2～2.6mの円形を呈し、深さは2.3mを測る。基底部中央に直径70cm、深さ25cmの桶側の井戸枠がみられた。底面の標高0.75mを測る。



第41図　箱崎遺跡第30次調査17区南遺構配置図

ＳＥ72（第44図　図版19）

調査区の南で検出した。掘り方は上面径3.4～3.9mの円形を呈し、深さは1.9mを測る。基底部中央に直径60cm、深さ40cmの桶側の痕跡がみられた。底面の標高0.65mを測る。

ＳＥ90（第44図　図版19）

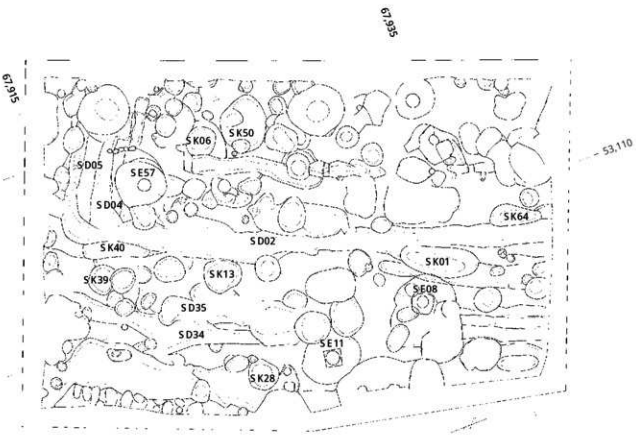
調査区の南西で検出した。掘り方は上面径3.8～4.2mの円形を呈し、深さは2.4mを測る。基底部中央に直径80cm、深さ45～60cmの桶側の井戸枠がみられた。底面の標高0.45mを測る。

ＳＥ127（第44図　図版19）

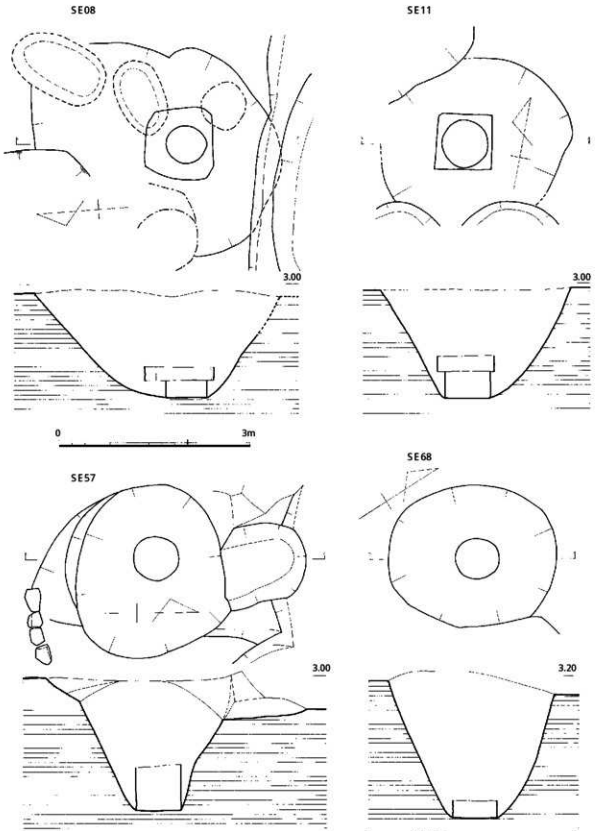
調査区の中央で検出した。掘り方は上面径2.9mの円形を呈し、深さは1.8mを測る。基底部中央に直径55cm、深さ20cmの桶側の井戸枠がみられた。底面の標高0.7mを測る。

ＳＥ128（第44図　図版19）

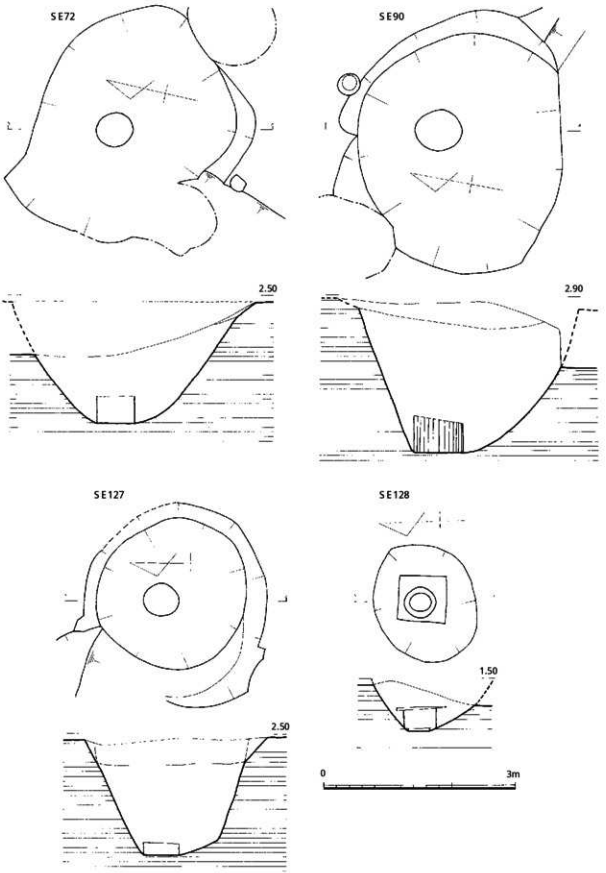
調査区の南東で検出した。掘り方は上面径1.6～1.9mの円形を呈し、深さは0.8mを測る。基底部中央に0.75m四方、深さ5cmの井桁と、その下部に直径50cm、深さ30cmと直径35cm、深さ5cmを測る二段の桶側の痕跡がみられた。底面の標高0.65mを測る。



第42図　箱崎遺跡第30次調査17区北遺構配置図



第43図　井戸実測図(1)



第44図　井戸実測図(2)

Ⅳ．第40次調査の記録

１．概　　要

調査地は箱崎遺跡の南東部、筥崎宮の南250mに位置する。平成15年度の調査対象地の内、箱崎1丁目3･4の旧ＪＲ箱崎駅跡地を中心とする一帯を18区、馬出1丁目30の西鉄バス吉塚営業所北側を19区と呼称することとした。

18区は街区毎に分断され、a～eの5区に分割して調査を行った。前年度から継続の第30次調査17区の終了後、5月14日より18-a区表土剥ぎから調査を開始した。以下調査区の開始は18-b区6月21日、18- c区9月1日、18-d区10月27日、18- e区11月26日で、翌平成16年(2004)1月19日に18-e区の調査が終了し、既に着手の19区と合流した。

遺構面は表土（撹乱層）直下、標高３ｍ前後の砂層上面で確認した。検出された遺構は10～15世紀の溝11条、井戸34基、土坑41基、掘立柱建物、柱穴･ピット状遺構830個である。

南北長100m、東西幅15mの長大な調査区であるが、井戸が集中する区域と柱穴が集中する区域が約10m毎交互に展開していることがつかめた。井戸も柱穴も疎らとなっている中央部では平行な溝が複数みられ、路面は削平されて残っていないが、道路に伴う溝の可能性が考えられる。

井戸ＳＥ01は石組の井戸枠をもつ。径20～30cmのやや扁平な石を組み上げたもので、3段残存する。石組の下部には熨斗瓦片を放射状に1枚ずつ敷き、そのさらに下部には桶枠が据えられていた。6月9日に完掘したが、井戸の底面から中国元青花磁碗の底部片が出土した。内底見込みには龍が描かれている。

18区からの出土遺物はコンテナ120箱分である。

２．18区の調査

検出遺構

井戸

ＳＥ01（第46図　図版21）

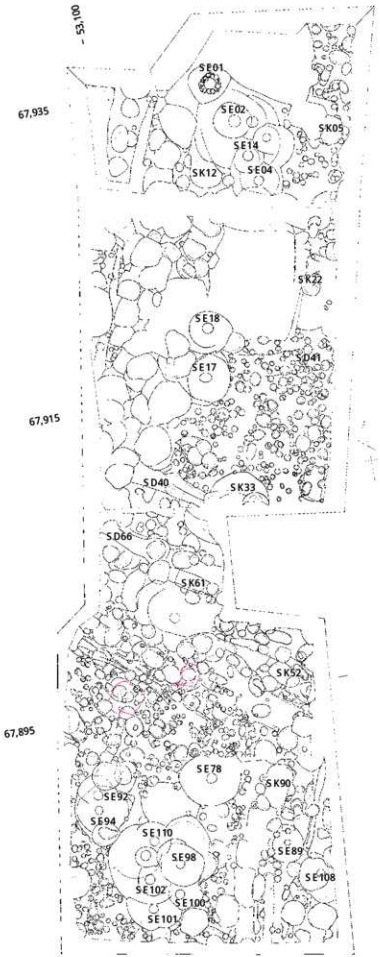
調査区の北端で検出した石組の井戸である。掘り方は上面径2.4～2.9mの円形を呈し、深さは2.4mを測る。径20～30cmのやや扁平な石を組み上げ、上面径1.55m、深さ0.5mの井戸枠とする。３段分が残存する。石組の下部には熨斗瓦片を放射状に1枚ずつ敷き、基底部中央には直径80cm、深さ50cmの桶側の痕跡が据えられている。底面の標高0.35mを測る。底面から内底見込みに龍を描いた元青花磁碗底部片が出土した。祭祀に関するものであろうか。

ＳＥ02（第47図　図版22）

調査区の北で検出した。掘り方は上面径5.０～5.5mの円形を呈し、深さは2.2･1.8mを測る。基底部中央に直径80cm、深さ60cmと直径75cm、深さ70cmの桶側の痕跡がみられた。底面の標高0.65･0.8mを測る。

ＳＥ04（第47図　図版23）

調査区の北で検出した。掘り方は上面径3.9mの円形を呈し、深さは1.2mを測る。基底部中央に直径60cm、深さ55cmの桶側の痕跡がみられた。底面の標高0.95mを測る。



第45図　箱崎遺跡第40次調査18-a～d区遺構配置図

ＳＥ14（第47図　図版23）

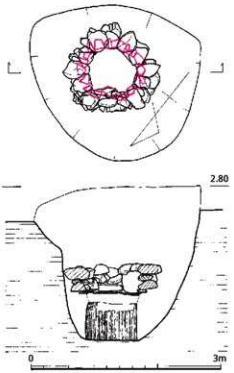
調査区の北で検出した。掘り方は上面径1.6mの円形を呈し、深さは0.9mを測る。基底部中央に直径65cm、深さ45cmの刳り抜きの井戸枠がみられた。底面の標高1.05mを測る。

ＳＥ15（第47図　図版23）

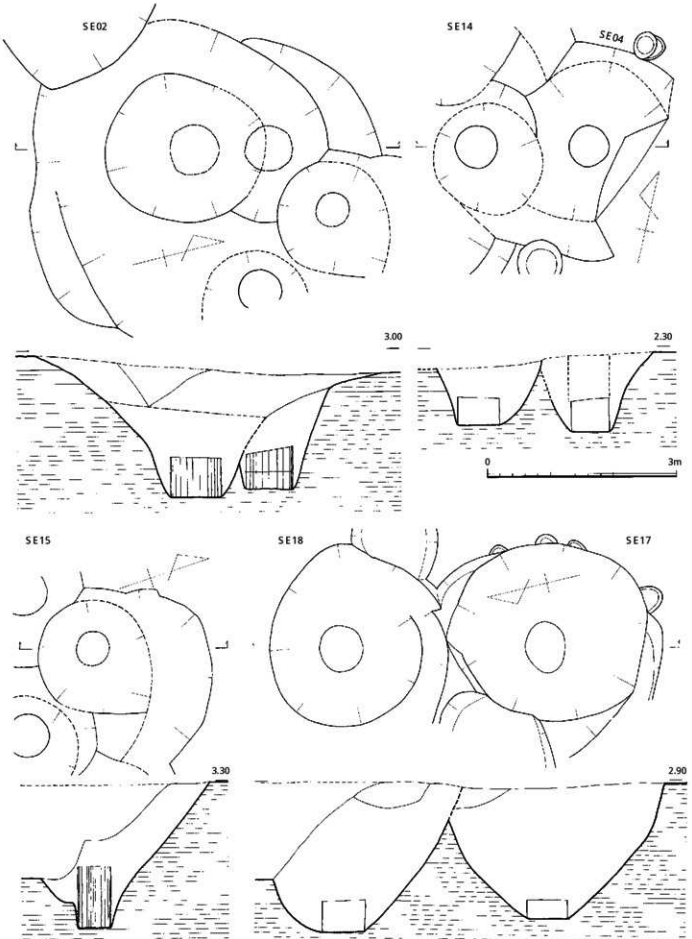
調査区の北で検出した。掘り方は上面径1.8mの円形を呈し、深さは2.2mを測る。基底部中央に直径55cm、深さ100cmの桶側の痕跡がみられた。底面の標高1.0mを測る。

ＳＥ17（第47図　図版24）

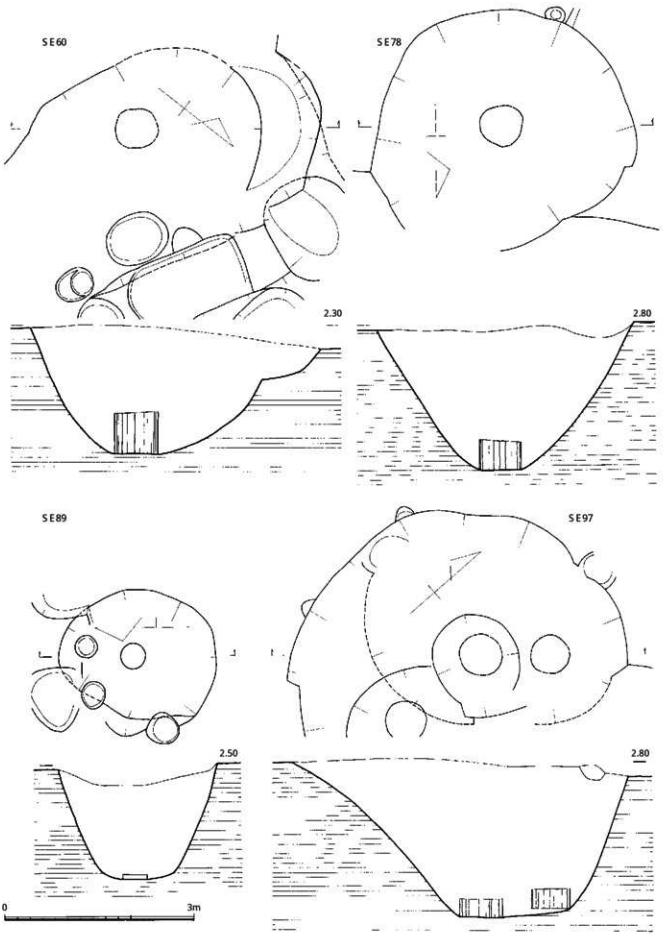
調査区の中央で検出した。掘り方は上面径3.1mの円形を呈し、深さは2.1mを測る。基底部中央に直径90cm、深さ50cmの桶側の痕跡がみられた。底



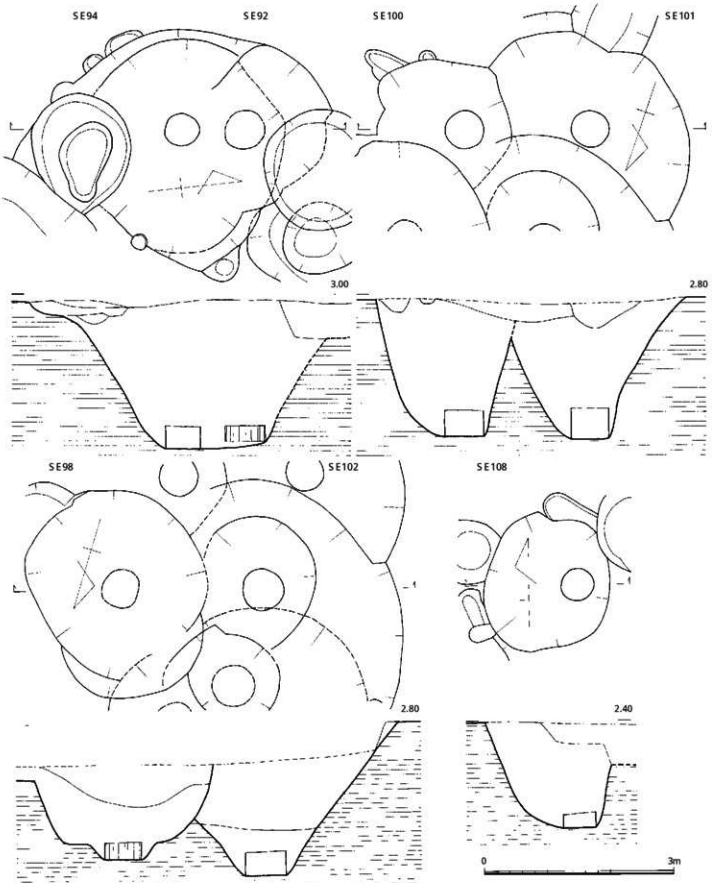
第46図　井戸実測図(1)



第47図　井戸実測図(2)



第48図　井戸実測図(3)



第49図　井戸実測図(4)

面の標高0.55mを測る。

ＳＥ18（第47図　図版24）

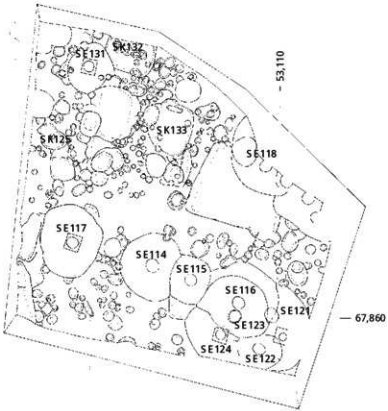
調査区の中央で検出した。掘り方は上面径2.4mの円形を呈し、深さは2.3mを測る。基底部中央に直径70cm、深さ50cmの桶側の痕跡がみられた。底面の標高0.5mを測る。

ＳＥ60（第48図　図版25）

調査区の中央で検出した。掘り方は上面径4.5mの円形を呈し、深さは2.0mを測る。基底部中央に直径70cm、深さ65cmの桶側の痕跡がみられた。底面の標高0.3mを測る。

ＳＥ78（第48図　図版26）

調査区の南で検出した。掘り方は上面径5.3mの円形を呈し、深さは2.4mを測る。基底部中央に直径70cm、深さ30cmと直径60cm、深さ30cmの二段の桶側の痕跡がみられた。底面の標高0.35mを測る。



第50図　箱崎遺跡第40次調査18-e区遺構配置図

ＳＥ89（第48図　図版27）

調査区の南東で検出した。掘り方は上面径2.5mの円形を呈し、深さは1.8mを測る。基底部中央に直径40cm、深さ10cmの桶側の痕跡がみられた。底面の標高0.7mを測る。

ＳＥ92（第49図）

調査区の南西で検出した。掘り方は上面径2.2mの円形を呈し、深さは2.3mを測る。基底部中央に直径65cm、深さ25cmの桶側の痕跡がみられた。底面の標高0.6mを測る。

ＳＥ94（第49図　図版27）

調査区の南西で検出した。掘り方は上面径3.6mの円形を呈し、深さは2.3mを測る。基底部中央に直径55cm、深さ35cmの桶側の痕跡がみられた。底面の標高0.6mを測る。

ＳＥ97（第48図　図版27）

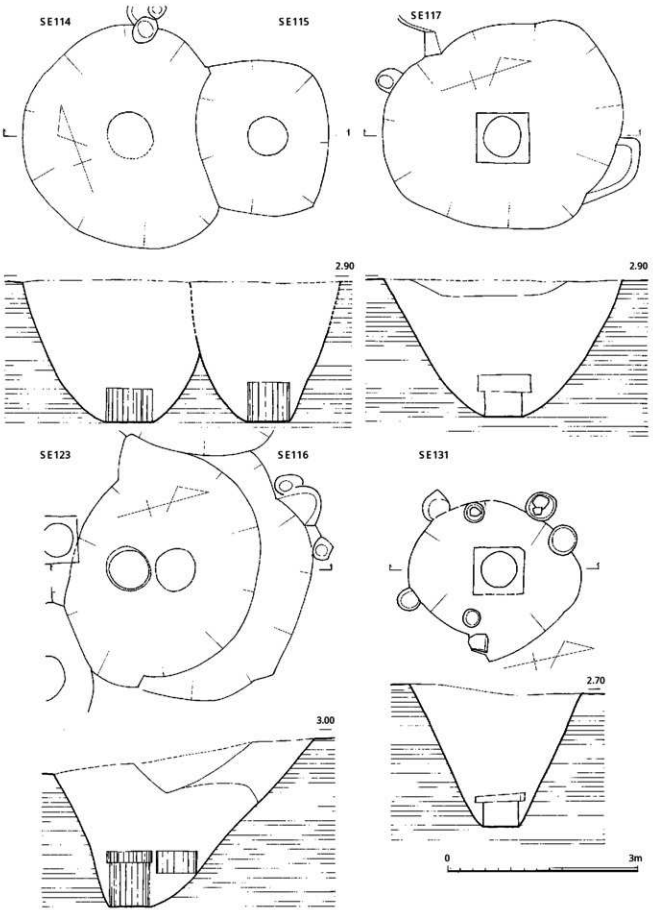
調査区の南西で検出した。掘り方は上面径5.3mの円形を呈し、深さは2.4mを測る。基底部中央に直径70cm、深さ30cmと直径60cm、深さ30cmの二段の桶側の痕跡がみられた。底面の標高0.3mを測る。

ＳＥ98（第49図　図版27・28）

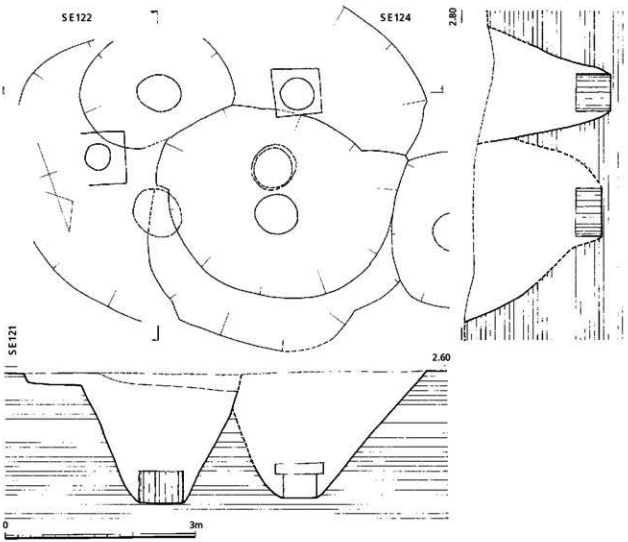
調査区の南で検出した。SE102を切る。掘り方は上面径3.0mの円形を呈し、深さは1.6mを測る。基底部中央に直径60cm、深さ25cmの桶側の痕跡がみられた。底面の標高0.7mを測る。

ＳＥ100（第49図　図版27）

調査区の南西で検出した。SE101を切る。掘り方は上面径2.1mの円形を呈し、深さは2.2mを測る。基底部中央に直径60cm、深さ40cmの桶側の痕跡がみられた。底面の標高0.5mを測る。



第51図　井戸実測図(1)



第52図　井戸実測図(2)

ＳＥ101（第49図　図版27～29）

調査区の南西で検出した。SE100に切られる。掘り方は上面径3.7mの円形を呈し、深さは2.2mを測る。基底部中央に直径60cm、深さ50cmの桶側の痕跡がみられた。底面の標高0.5mを測る。

ＳＥ102（第49図　図版27・28）

調査区の南で検出した。SE98に切られる。掘り方は上面径3m以上の円形を呈し、深さは2.5mを測る。基底部中央に直径65cm、深さ35cmの桶側の痕跡がみられた。底面の標高0.4mを測る。

ＳＥ108（第49図）

調査区の南東で検出した。掘り方は上面径2.1mの円形を呈し、深さは1.6mを測る。基底部中央に直径50cm、深さ25cmの桶側の痕跡がみられた。底面の標高0.6mを測る。

ＳＥ114（第51図　図版29）

調査区の南で検出した。SE115に切られる。掘り方は上面径3.6mの円形を呈し、深さは2.2mを測る。基底部中央に直径75cm、深さ55cmの桶側の痕跡がみられた。底面の標高0.6mを測る。

ＳＥ115（第51図　図版29）

調査区の南で検出した。SE114を切る。掘り方は上面径2.5mの円形を呈し、深さは2.2mを測る。基底部中央に直径65cm、深さ65cmの桶側の痕跡がみられた。底面の標高0.6mを測る。

ＳＥ116（第51図　図版29）

調査区の南で検出した。掘り方は上面径3.8～4.2mの円形を呈し、深さは2.0mを測る。基底部中央に直径65cm、深さ35cmの桶側の痕跡がみられた。底面の標高0.7mを測る。

ＳＥ117（第51図　図版30）

調査区の南で検出した。掘り方は上面径3.2～3.9mの円形を呈し、深さは2.1mを測る。基底部中央に75cm× 85cm、深さ25cmの井桁と、その下部に直径60cm、深さ40cmの井戸枠の痕跡がみられた。底面の標高0.7mを測る。

ＳＥ121（第52図　図版30）

調査区の南で検出した。掘り方は上面径4.8mの円形を呈し、深さは2.0mを測る。基底部中央に直径75cm、深さ40cmの桶側の痕跡がみられた。底面の標高0.6mを測る。

ＳＥ122（第52図　図版30）

調査区の南で検出した。掘り方は上面径2.4mの円形を呈し、深さは2.0mを測る。基底部中央に直径60cm、深さ55cmの桶側の痕跡がみられた。底面の標高0.5mを測る。

ＳＥ123（第51図　図版30）

調査区の南で検出した。SE124を切る。掘り方は上面径3.2～3.9mの円形を呈し、深さは2.1mを測る。基底部中央に70cm四方、深さ20cmの井桁と、その下部に直径65cm、深さ70cmの井戸枠の痕跡がみられた。底面の標高0.2mを測る。

ＳＥ124（第52図　図版30）

調査区の南で検出した。SE123に切られる。掘り方は上面径2.5m以上の円形を呈し、深さは2.0mを測る。基底部中央に75cm四方、深さ15cmの井桁と、その下部に直径50cm、深さ35cmの井戸枠の痕跡がみられた。底面の標高0.5mを測る。

ＳＥ131（第51図　図版30）

調査区の南で検出した。掘り方は上面径2.7mの円形を呈し、深さは2.1mを測る。基底部中央に75cm× 80cm、深さ10cmの井桁と、その下部に直径55cm、深さ40cmの井戸枠の痕跡がみられた。底面の標高0.5mを測る。

出土遺物

ＳＥ01出土遺物（第53図）

青花　碗（１）　内底見込みに龍が描かれている元青花碗の底部片である。高さ1.5cm、幅0.9cmを測る幅広の断面四角の高台を削り出している。畳付の外側が面取りされ、光沢のある青白色を帯びた透明釉が高台外側まで掛けられている。 胎土は灰白色を呈し、硬質である。

Pit245出土遺物（第53図）

白磁　碗（２）　玉縁口縁を有し、高台の削り出しが浅いⅣ-1a類の碗である。内面の体部と底部の境界付近には沈線状の段が付く。

ＳＫ45出土遺物（第53図）

青磁　碗（３）　体部下半以下の破片で、断面四角の高台の内側まで施釉される。内底見込みに双魚文をスタンプする。

ＳＫ56出土遺物（第53図）

須恵器　片口鉢（４）　口径24.4cm、器高8.5cm、底径9.5cmを測る小形の片口鉢で、底部は欠失している。口縁部は緩やかに外反し、端部は上下に拡張される。

ＳＫ58出土遺物（第53図）

青磁　碗（５）　体部下半以下の破片で、体部内面には片切り彫りによる施文がある。断面四角の高台畳付は外に跳ねる。釉の発色は不良で、不透明な淡灰緑色を呈する。 外底部に墨書が見られるが、不鮮明で判読できない。

ＳＥ60出土遺物（第53図）

土師器　小皿（６）　口縁部を内側に折り曲げたコースター型の小皿である。屈曲は不明瞭で、稜はなしていない。畿内で生産されたものとみられる。

瓦器　輪花椀（７）　口縁部から体部にかけてヘラで押さえ、輪花状としている楠葉型輪花椀である。体部内面は圏線状にヘラ磨きされ、平坦な内底見込みには、連結輪状の暗文を施している。口径12.0cm、器高3.8cmを測る。楠葉型輪花椀は大阪府枚方市楠葉周辺で生産されたものとみられ、13世紀後半を中心に、京都の他鎌倉で多く出土している。福岡では博多遺跡群の他、箱崎遺跡第16次調査で輪花椀が出土している。

青磁　碗（８）　体部下半以下の破片で、内底見込みの釉をかき取り、印花文を施している。高台畳付の外側は面取りし、その部位まで施釉される。畳付の接地部分は幅2mmと狭い。

ＳＫ84出土遺物（第53図）

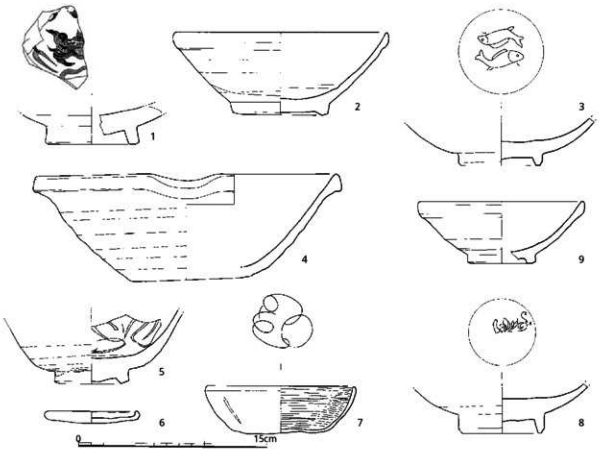
白磁　小碗（９）　玉縁口縁を有し、高台の削り出しが浅い、Ⅳ-1a類の碗の小形にしたものである。口径13.2cm、器高6.0cm、底径7.4cmを測る。内面の体部と底部の境界付近には沈線状の段はない。

石製品（第54図）

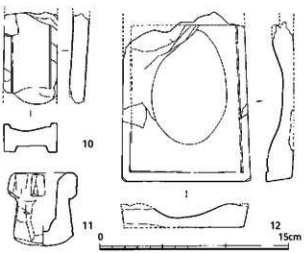
石硯（10･12）　10は海部、陸部後方を欠失している。残存長7.2cm、高さ2.2cm、幅4.2cmを測る。12は海部を欠失し、陸部後方には縁部を設ける。陸部後方に向かって高さ･幅を増し、最大高2.2cm、最大幅10.2cmを測る。

滑石製容器（11）　平面形が隅丸方形の小形容器で、口縁部外面の四隅に縦耳が付き、体部は直立する。体部外面にはノミの痕が残っている。完形で、口径4.2cm、器高5.8cm、底径4.7cmを測る。

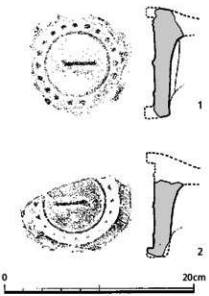
瓦（第55図）　SK52･SD57出土。



第53図　出土遺物実測図



第54図　石製品実測図

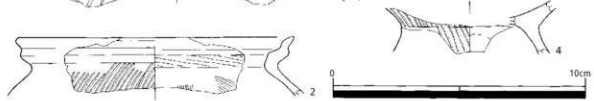


第55図　瓦拓影・実測図

18区遺構外出土遺物

18-a区東南包含層を中心に、東海地方の古墳時代初頭の土器であるＳ字甕が破片で十数点出土した。そのうち図化できた4点を以下に示した。第56図１はＳ字甕口縁部片である。18-a区東南包含層から出土した。推定口径は13.0cmであるが、破片が小さいため信頼性は劣る。色調は浅黄橙(10YR8/4)、胎土は直径約1mmの長石・石英・雲母片を多く含むやや細かい土である。胴部外面調整はタテハケ後、肩部に横方向ハケを一条施す。ハケは粗くハケ一条の幅1～2mmである。内面調整は指ナデ。S字甕赤塚分類B類新～C類古である。２はＳ字甕口縁部片である。18-a区東南包含層から出土した。推定口径は11.0cmであるが、破片が小さいため信頼性は劣る。色調は灰白(10YR8/2)、胎土は直径約1mm以下の長石・石英・黒褐色粒・赤褐色粒を多く含むやや粗い土である。胴部外面調整はタテハケ。7本/cmの細かいハケで器面への入り込みは深い。頸部内面調整は斜めハケ。10本/cmの細かいハケで器面への入り込みは浅い。胴部内面調整は斜めハケ。4本/5mmの細かいハケで器面への入り込みは浅い。S字甕赤塚分類B類古である。３はＳ字甕口縁部細片である。18-a区東南包含層から出土した。口径復元はできなかった。色調は浅黄橙(10YR8/3)、胎土は直径約1mmの長石・石英・雲母片を多く含むやや細かい土で１と類似する。胴部外面調整はタテハケ。分類上の位置不明。４はＳ字甕脚部細片である。18-a区SE02から出土した。口径復元はできなかった。内面色調は浅黄橙(10YR8/3)、外面色調はにぶい橙(5YR7/4)。外面は酸化し赤化している。胎土は直径約1mmの長石・石英・雲母片を多く含むやや細かい土で１と類似する。胴部外面調整はタテハケ。分類上の位置不明。

18-a区出土S字甕の検討のため、愛知県埋蔵文化財調査センターにて愛知県の廻間遺跡・西上免遺跡出土S字甕を実見させていただいた。その結果、内外面調整や器型は廻間遺跡・西上免遺跡出土のS字甕とほぼ同一であった。胎土も砂の混じり具合は類似した個体もあったが、色調が同じ浅黄橙系の個体を確認できなかった。したがって18-a区出土S字甕は濃尾平野で作られたものが直接搬入されてきたものではないと判断した。S字甕工人が直接箱崎遺跡まで来て制作したものか、あるいはS字甕工人が濃尾平野以外の場所で作ったものか、の二通り考えられるがいずれかの峻別は付けられない。S字甕実見にあたって便宜を図っていただいた愛知県埋蔵文化財調査センター所長都築暢也氏に記して感謝いたします。(赤坂亨)



第56図　18-a区出土Ｓ字甕実測図

Ⅴ．第46次調査の記録

１．概　　要

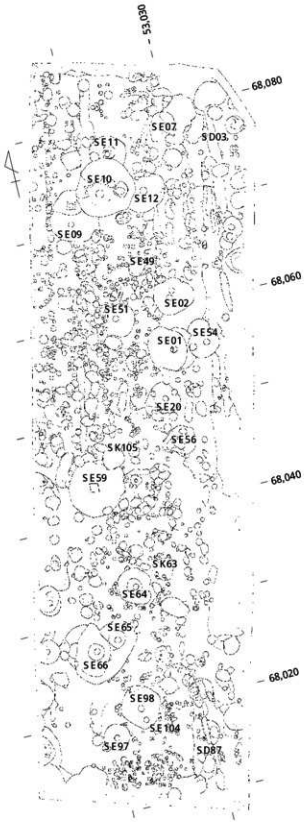
調査地は箱崎遺跡の南東部、筥崎宮の南に位置する。平成16(2004)年度の調査対象は連続立体開発事業により高架に移転したＪＲ鹿児島本線路線跡である。区画整理事業地内の建設工事の進展に伴い、残土は調査対象区域内で処理せざるをえず、長大な調査区域を南北に三区分し、北側より第46次調査20-a区、20-b区、20-c区と呼称することとした。先ず、中央の20-b区を残土置き場として北側の20-a区、南側の20-c区を同時に表土剥ぎし、遺構の検出に入ることとした。線路や枕木の他、地中に埋設された送電線等の撤去が終了した7月1日より調査を開始した。

20-c区では、8月6日よりＳＤ02溝掘下げ、8月27日には20-c区で、龍泉窯青磁鎬蓮弁碗など複数が供献された木棺墓ＳＸ25を検出した。9月14日には高所作業車により全景写真撮影を行い、その後遺構完掘を進めながら実測を行った。10月15日には20-a区と同時に、ラジコンヘリによる空撮を行った。10月20日より埋め戻しを開始し、残土置き場となっていた20-b区の調査を開始した。1月21日に空撮を行い、完掘を進めながら実測を行った。3月2日より先行して工事に入った個所があったため仮置きしたままになっていた20-c区残土を20-a区へダンプカーで運搬、20-b区北側埋め戻しを開始した。3月8日には土坑から完形に近い形で龍泉窯系青磁香炉・黒釉陶器碗が出土した。3月25日からは20-b区南半の埋め戻しも開始し、3月30日に20-b区南半埋め戻しが終了した。

検出された遺構の時期は11世紀から15世紀にかけてのものが主で、検出された遺構は井戸56基、溝10条、土坑・柱穴・ピット状遺構多数である。溝ＳＤ02は幅1.5m、深さ0.5mの矩形に区画された溝で、南北延長72m、東西延長7mを検出した。ＳＤ02に芯々距離4mの間隔を取って平行して走る南北溝ＳＤ04、東西溝ＳＤ45と一連のものである可能性が考えられる。他に東西溝5条を検出した。井戸はそのほとんどが桶側の井戸枠を有し、上部に方形の井桁を有するものは4基検出した。ＳＥ220は上部に石組、下部に桶側の井戸枠を持つ。土器溜り遺構は箱崎遺跡群のなかでは少なく、ＳＫ01の1基である。木棺墓ＳＸ25には土師器小皿1、龍泉窯青磁鎬蓮弁碗2・小碗1・内底に蓮華文をスタンプする皿4が供献されていた。5世紀代の土坑2基からは完形もしくはそれに近い土師器壺・甕が数点出土した。

出土した遺物は整理用コンテナ400箱に及ぶ。溝ＳＤ02からは多量の瓦片が出土しており、出土遺物の大半を占める。井戸の埋土からは1基あたりコンテナ1箱の土師器・陶磁器片が出土している。

調査前は遺跡の辺縁部ということから、遺構はそれほど密には分布しないものと予想されたが、遺跡の中心ほどではないが、遺構は密に検出された。試掘調査で旧ＪＲ線より東側の宇美川寄りで遺構が確認されなかったのは、宇美川の氾濫により遺構が失われた結果であろう。



第57図　箱崎遺跡第46次調査20-a区遺構配置図

2.20-a区の調査

20-a区は箱崎遺跡第46次調査20区のうち最も北側の調査区である。SC(住居址)3基、SE(井戸)34基、SD(溝)17条、SK(土坑)51基を検出した。このうち古墳時代の遺構がSK103・SC108であり、その他の遺構は全て古代末～中世である。一部の溝は近世の可能性がある。

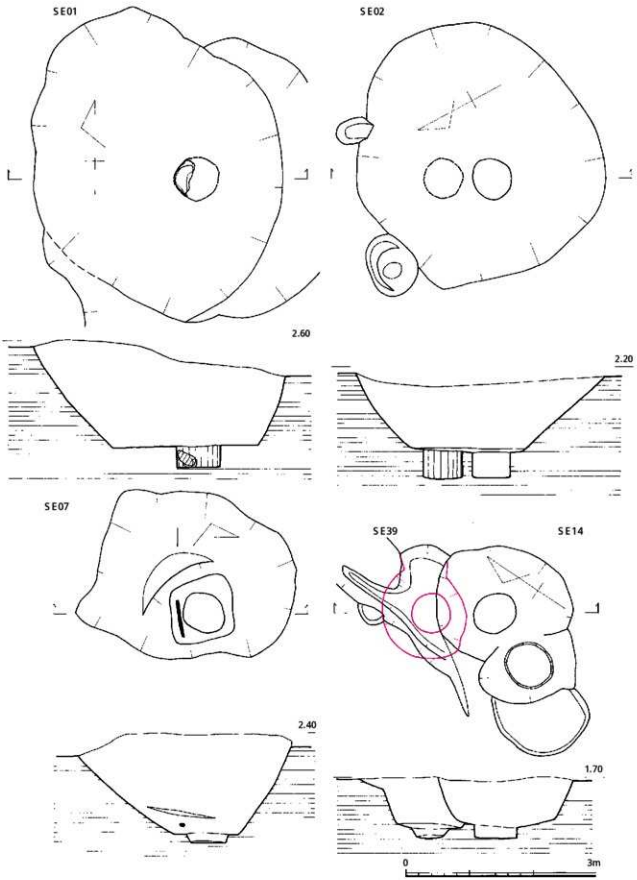
SK103は深さ1.1m、長軸3.0m短軸1.8mの平面楕円形を呈する土坑である。底面付近から山陰系二重口縁壺・畿内系長頸壺・甕が出土した。また上層から陶質土器高坏脚部が出土し、これも底面土器群と一括出土とみなせる。第64図1は裾部径12.4cm(復元)、残高9.5cm。胎土精良、色調灰色。脚柱部に透孔が4孔ありその上に水平からやや歪んだ形で半裁竹管文が一回り施されている。脚柱部と裾部の境に突帯が付される。2は口径19.9cm胴径30.4cm残高38.5cm。外面調整はヨコナデ→ヨコハケ→タテハケ後、肩部に板木口による3段の羽状文を施す。胴部内面はヘラケズリ。口縁部内面はヨコハケ→ヨコナデ。色調は外面が浅黄橙、内面が橙。藤崎遺跡32次調査1号方形周溝墓周溝上層出土土器(久住編年ⅢA期新相)に類例があるが、藤崎類品より口縁部が厚く新しい様相を示している。3は口径12.4cm胴径16.2cm器高16.6cm。胎土は直径1mm以下の石英長石粒を含む細かい土。胴部外面ハケ、口縁外面ヨコナデ。口縁内面斜めハケ、胴部内面ナデを施す。内側底面を指による押し出しで丸底を成形している。色調はにぶい橙。胴下半部にススが厚く付着し、火にかけられた痕跡がある。4は口径16.2cm胴径20.3cm器高22.0cm。胎土は直径1mm以下の石英長石粒および金雲母をわずかに含む。外面ハケ、内面ヘラケズリ。外面にススが付着している。土器群の時期は久住編年ⅢB期(重藤編年ⅢA期)である。ススが付着した土器を含むことから墓への供献土器ではなく、住居で使用した土器を一括廃棄した土坑と考える。SC108は住居址としたが地山の落ち込みに古墳時代の包含層が堆積したものの可能性がある。

井戸は34基のうち確実に井戸である遺構は28基である(第1表)。大半の井筒は結桶を用いているがSE10は井筒に結桶でなく木をくり抜いたものを用いている。また井筒の外側に板材で四角に井桁を組む構造の井戸があり、井桁はSE11・13・59で検出された。20-a区の井戸のうち井戸埋没後に近接して新しい井戸を作る例が多い。SE02が井筒埋没後すぐ脇にもう一つの井筒を作っている。またSE09・10・11・12・13・16・17・18・19は9基の井戸が相互に切り合っている。前後関係はSE11・12→SE17→SE 18→SE 19→SE16→SE13→SE09→SE10の順序である。SE01は井筒内から石が出土している。SE97からは土器・陶磁器が集中廃棄された形で出土した。井戸の底面は標高0.4-0.7mである。この標高は現在では降雨後に地下水の湧出する深さであり、当時の地下水位は現在より高かったようである。

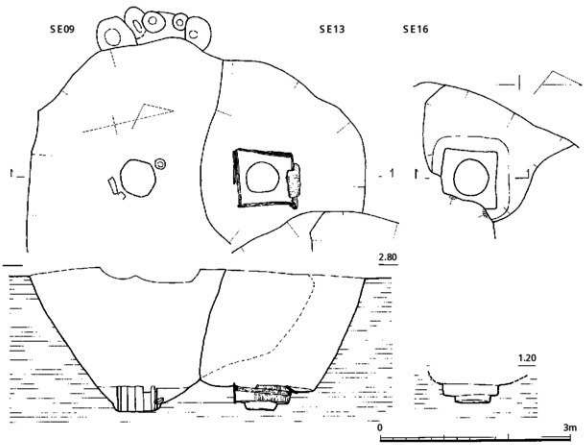
第1表　20-a区井戸一覧表

遺構名	上面径(m)	深さ(m)	井戸枠径(cm)	井戸枠深さ(cm)	底面標高(m)	その他
SE01	3.9-4.9	1.7	70	35	0.6	
SE02	3.9-4.1	1.5	60	45	0.4	
SE07	2.6-3.1	1.2	65	15	0.7	
SE09	?	2.2	60	40	0.5	
SE10	?	?	100	60	0.4	
SE11	3.9	1.9	50	15	0.7	井桁
SE12	3.7-4.8	1.1	50	90	0.8	
SE13	?	2.2	50	15	0.5	井桁
SE14	2.2	0.9	65	20	0.7	
SE16	?	?	55	15	0.4	
SE17	?	?	60	45	0.5	
SE18	?	?	65	45	0.5	
SE19	?	?	130	65	0.5	
SE20	3.2	1.8	60	25	0.5	

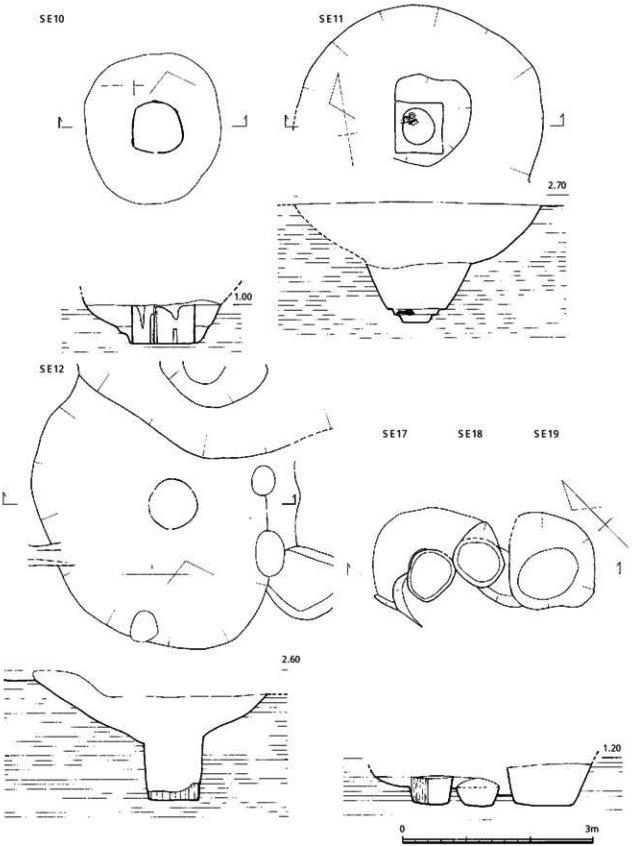
遺構名	上面径(m)	深さ(m)	井戸枠径(cm)	井戸枠深さ(cm)	底面標高(m)	その他
SE39	?	1.0	55	15	0.7	
SE51	3.4	1.8	60	10	0.8	
SE54	3.1-4.1	0.9?	65	60	0.3	
SE59	5.8	1.9	80	20	0.8	井桁
SE61	3.2	1.9	80	30	0.7	
SE64	3.4-3.9	2.0	60	25	0.6	
SE65	?	2.1	70	25	0.4	
SE66	?	2.4	65	55	0.2	
SE67	2.5	1.2	50	10	0.4	
SE97	2.8	2.0	60	30	0.5	
SE98	?	1.7	70	20	0.7	
SE101	?	?	60	35	0.6	
SE102	?	?	75	30	0.6	
SE104	?	1.7	60	45	0.7	



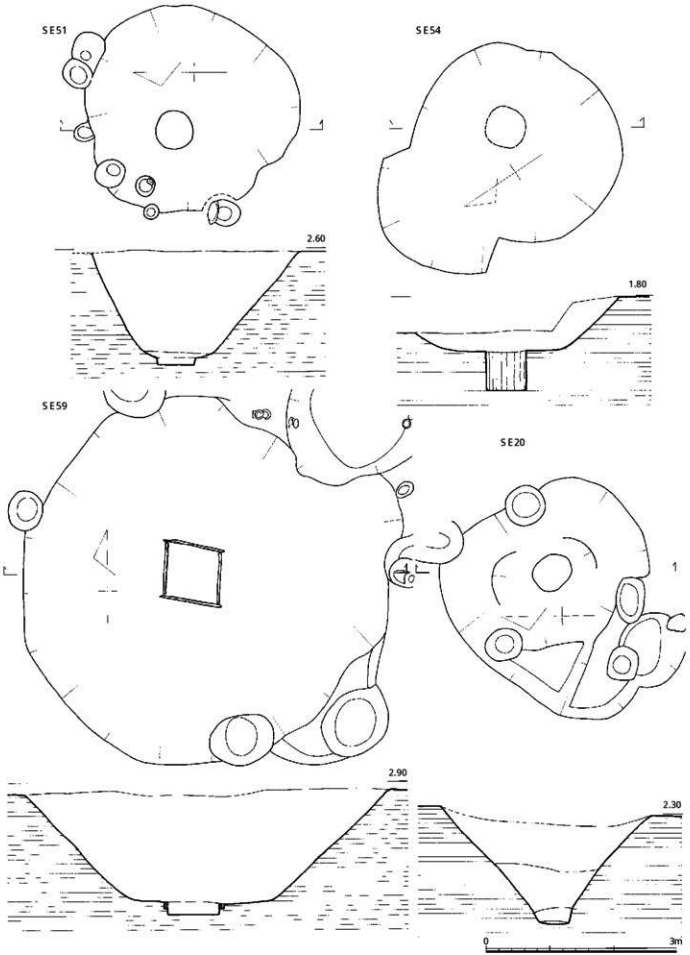
第58図　井戸実測図(1)



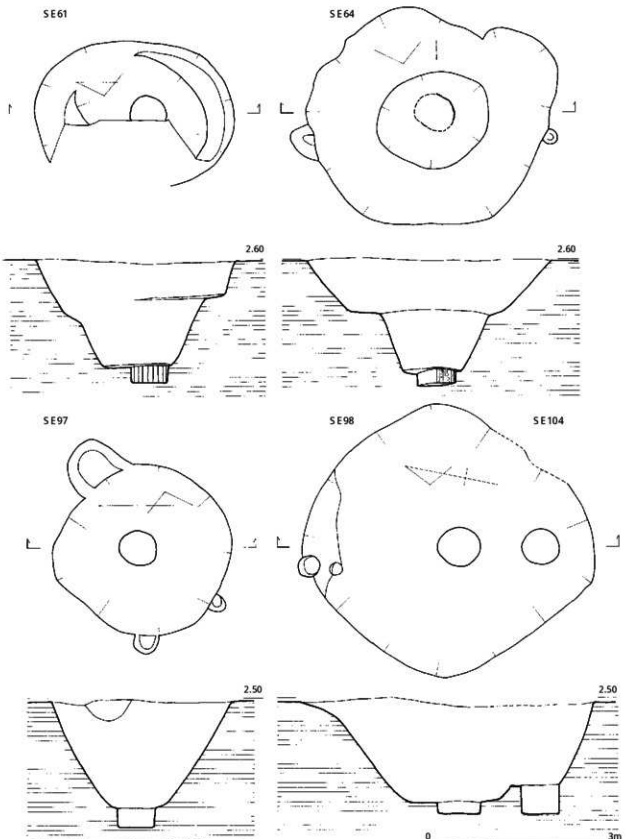
第59図　井戸実測図(2)



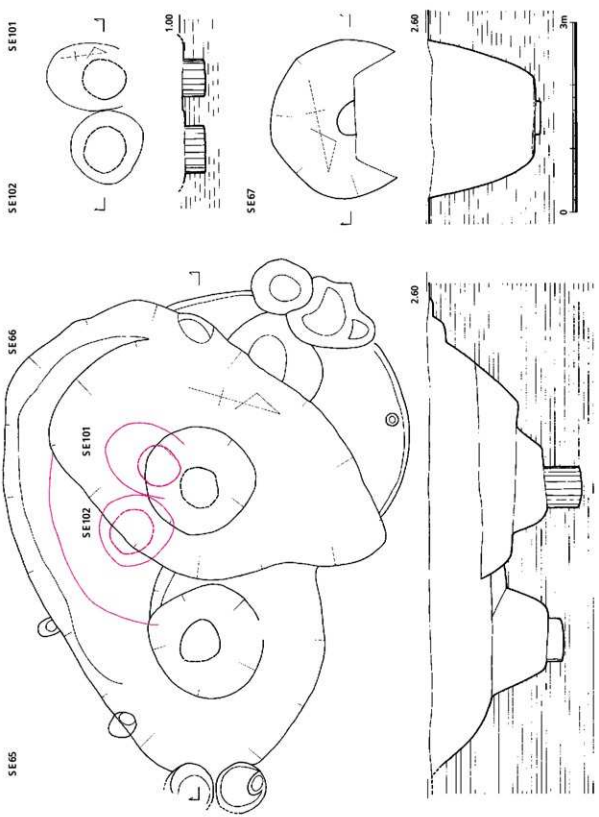
第60図　井戸実測図(3)



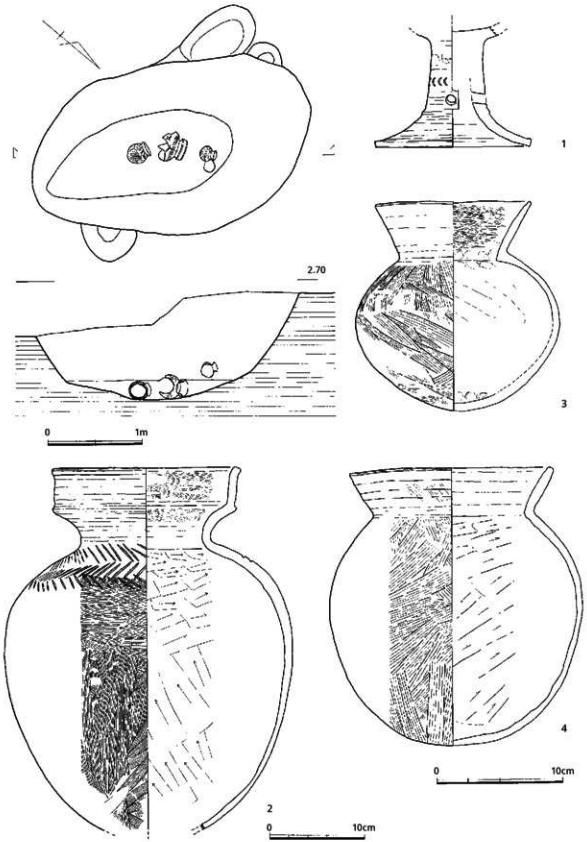
第61図　井戸実測図(4)



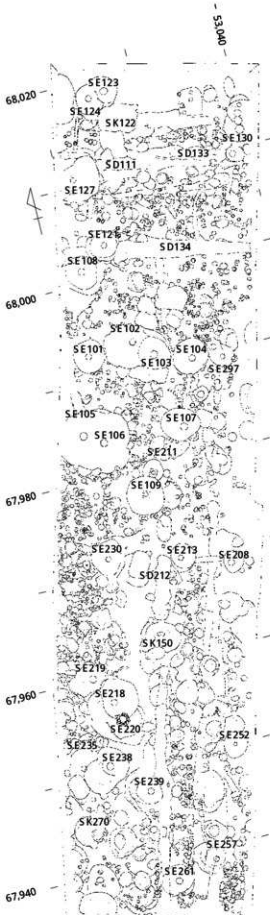
第62図　井戸実測図(5)



第63図　井戸実測図(6)



第64図　SK103土坑および出土遺物実測図



第65図
箱崎遺跡第46次調査20-b区遺構配置図

3．20-b区の調査

検出遺構

20-b区

井戸

ＳＥ101（第66図　図版37）

調査区の中央西で検出した。掘り方は上面径3.3mの円形を呈し、深さは2.2ｍを測る。基底部中央に直径60cm、深さ40cmの桶側の痕跡がみられた。底面の標高0.5mを測る。

ＳＥ102（第66図　図版37）

調査区の中央で検出した。SE103に切られる。掘り方は上面径4.6mの円形を呈し、深さは2.0mを測る。基底部中央に直径65cm、深さ70cmの桶側の痕跡がみられた。底面の標高0.3mを測る。

ＳＥ103（第66図　図版37）

調査区の中央で検出した。SE102を切る。掘り方は上面径3.2mの円形を呈し、深さは2.0mを測る。基底部中央に直径80cm、深さ65cmの桶側の痕跡がみられた。底面の標高0.4mを測る。

ＳＥ104（第66図　図版37）

調査区の中央で検出した。掘り方は上面径3.5～3.9mの円形を呈し、深さは2.0mを測る。基底部中央に直径65cm、深さ45cmの桶側の痕跡がみられた。底面の標高0.4mを測る。

ＳＥ105（第67図　図版38）

調査区の中央西で検出した。掘り方は上面径5.9mの円形を呈し、深さは2.4ｍを測る。基底部中央に直径80cm、深さ65cmの桶側の痕跡がみられた。底面の標高0.2mを測る。

ＳＥ106（第67図　図版38）

調査区の中央西で検出した。掘り方は上面径6.7mの円形を呈し、深さは2.4ｍを測る。基底部中央に直径75cm、深さ65cmの桶側の痕跡がみられた。底面の標高0.3mを測る。

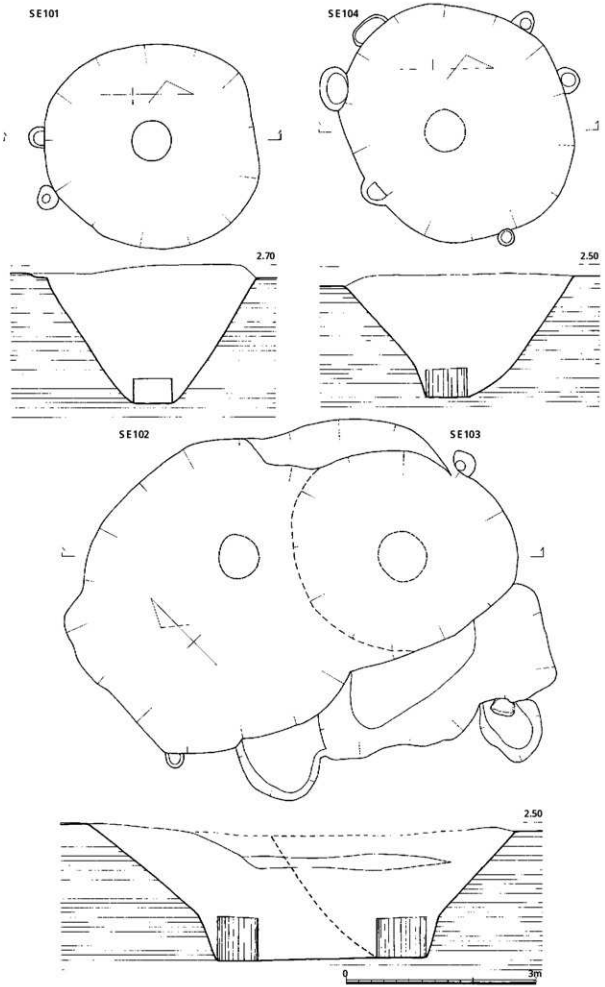
ＳＥ107（第67図　図版38）

調査区の中央で検出した。掘り方は上面径3.4～4.1mの円形を呈し、深さは2.1ｍを測る。基底部中央に直径75cm、深さ60cmの桶側の痕跡がみられた。底面の標高0.2mを測る。

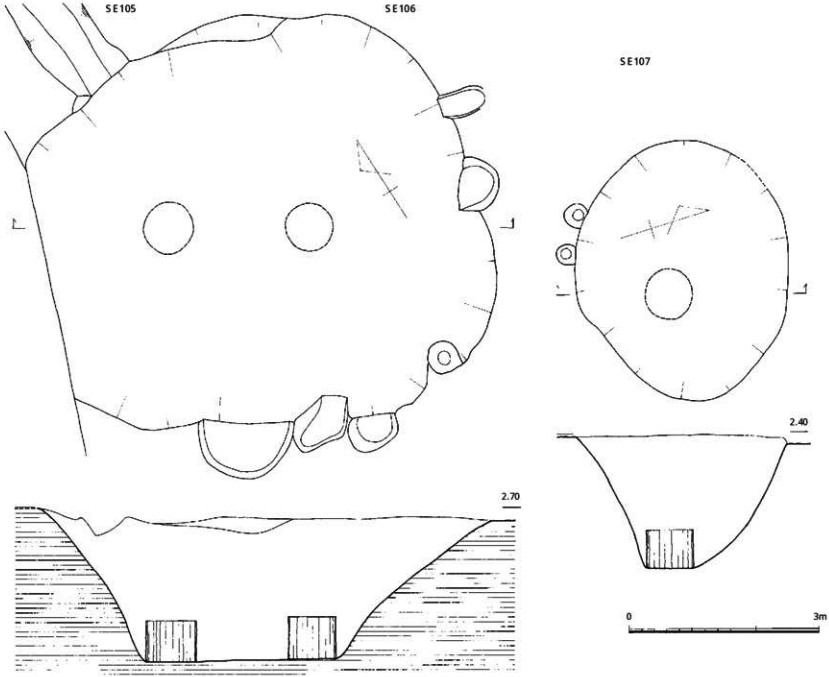
ＳＥ108（第68図）

調査区の北西で検出した。掘り方は上面径3.2mの円形を呈し、深さは2.2ｍを測る。基底部中央に直径70cm、深さ70cmの桶側の痕跡がみられた。底面の標高0.2mを測る。

ＳＥ109（第68図　図版38）



第66図　井戸実測図(1)



第67図　井戸実測図(2)

調査区の中央で検出した。掘り方は上面径4.0mの円形を呈し、深さは1.8mを測る。基底部中央に70cm四方、深さ5cmの井桁と、その下部に直径45cm、深さ30cmの井戸枠の痕跡がみられた。底面の標高0.55mを測る。

ＳＥ121（第68図）

調査区の北西で検出した。掘り方は上面径3.5mの円形を呈し、深さは2.1mを測る。基底部中央に直径60cm、深さ50cmの桶側の痕跡がみられた。底面の標高0.4mを測る。

ＳＥ123（第68図　図版38）

調査区の北で検出した。SE124に切られる。掘り方は上面径3.1mの円形を呈し、深さは2.0mを測る。基底部中央に直径80cm、深さ65cmの桶側の痕跡がみられた。底面の標高0.45mを測る。

ＳＥ124（第68図　図版38）

調査区の北で検出した。SE123を切る。掘り方は上面径3.0mの円形を呈し、深さは2.1mを測る。基底部中央に直径65cm、深さ65cmの桶側の痕跡がみられた。底面の標高0.4mを測る。

ＳＥ127（第69図　図版39）

調査区の北西で検出した。掘り方は上面径4.5mの円形を呈し、深さは2.2･2.3mを測る。基底部に直径60cm、深さ50cmと直径55cm、深さ35cmの桶側の痕跡がみられた。底面の標高0.3･0.5mを測る。

ＳＥ130（第69図　図版39）

調査区の北東で検出した。掘り方は上面径4.2mの円形を呈し、深さは1.5･1.3mを測る。基底部に直径90cm、深さ25cmと直径75cm、深さ25cmの桶側の痕跡がみられた。底面の標高0.45･0.55mを測る。

ＳＥ208（第69図　図版39）

調査区の中央東で検出した。掘り方は上面径2.1～2.3mの円形を呈し、深さは1.4mを測る。基底部中央に直径70cm、深さ45cmの桶側の痕跡がみられた。底面の標高0.45mを測る。

ＳＥ211（第69図　図版39）

調査区の中央で検出した。掘り方は上面径2.2mの円形を呈し、深さは1.7mを測る。基底部中央に75cm四方、深さ5cmの井桁と、その下部に直径45cm、深さ25cmの井戸枠の痕跡がみられた。底面の標高0.65mを測る。

ＳＥ213（第70図）

調査区の中央で検出した。掘り方は上面径2.6～3.0mの円形を呈し、深さは1.8mを測る。基底部中央に直径55cm、深さ50cmの桶側の痕跡がみられた。底面の標高0.35mを測る。

ＳＥ218（第70図　図版39）

調査区の南西で検出した。掘り方は上面径4.0～4.6mの円形を呈し、深さは2.1mを測る。基底部中央に直径65cm、深さ70cmの桶側の痕跡がみられた。底面の標高0.15mを測る。

ＳＥ219（第70図　図版40）

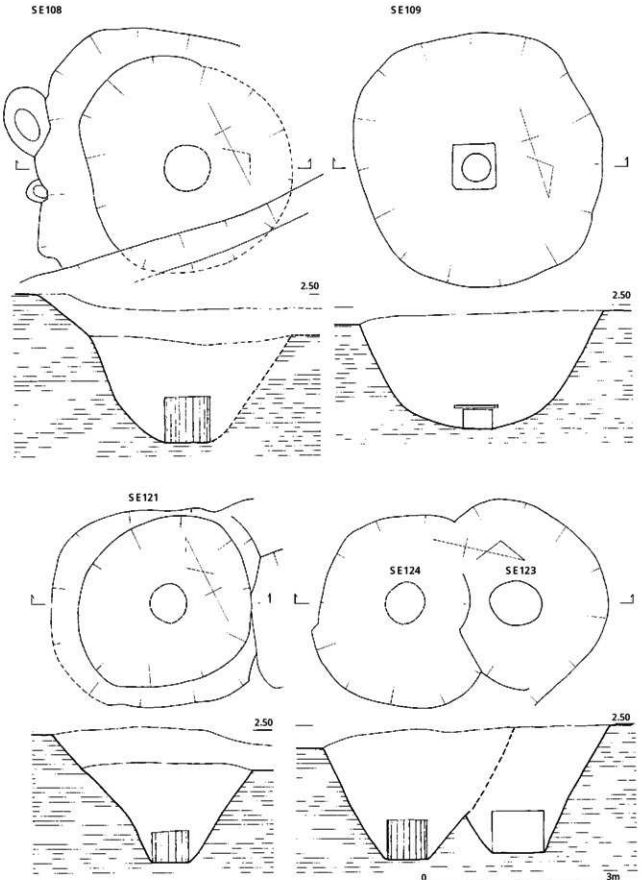
調査区の南西で検出した。掘り方は上面径2.9～4.0mの円形を呈し、深さは2.7mを測る。基底部中央に直径70cm、深さ110cmの桶側の痕跡がみられた。底面の標高0.2mを測る。

ＳＥ220（第70図　図版40）

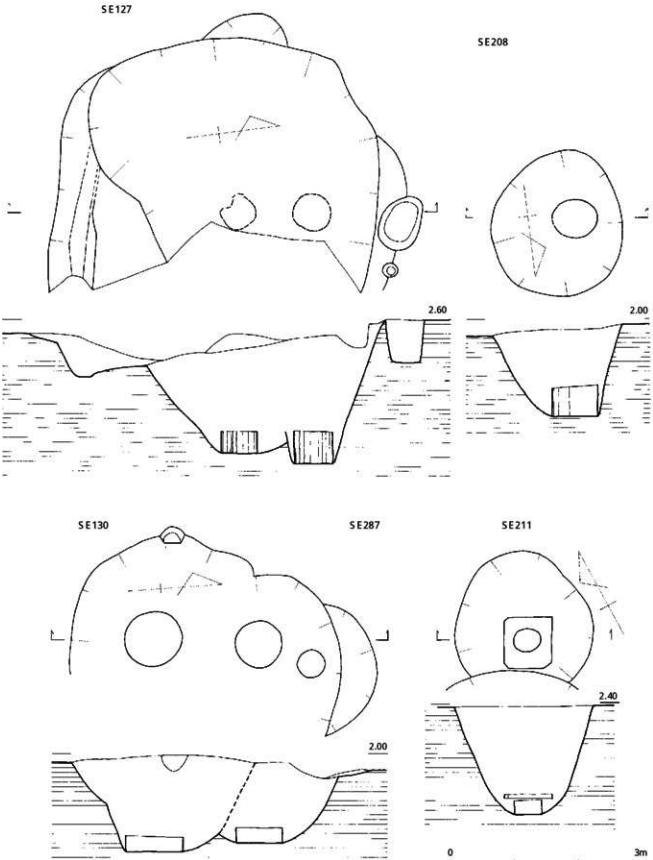
調査区の南西で検出した石組の井戸である。掘り方は上面径4.0mの円形を呈し、深さは2.3mを測る。径20～30cmのやや扁平な石を組み上げ、上面径1.4m、深さ1.6mの井戸枠とする。石組の下部、基底部中央には直径70cm、深さ55cmの桶側の痕跡が据えられている。底面の標高0.25mを測る。

ＳＥ230（第71図　図版40）

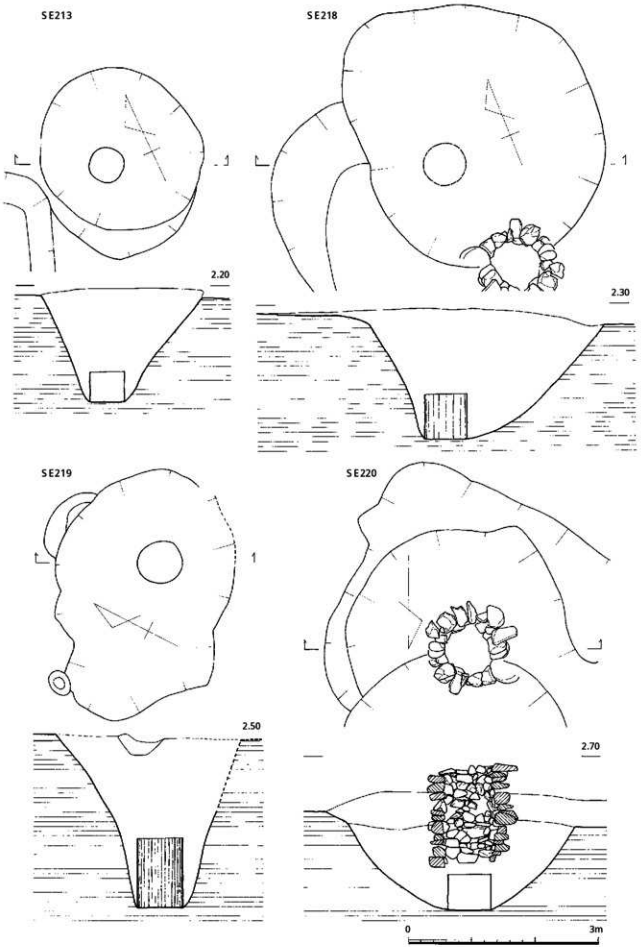
調査区の中央で検出した。掘り方は上面径3.1～3.8mの円形を呈し、深さは2.2mを測る。基底部中



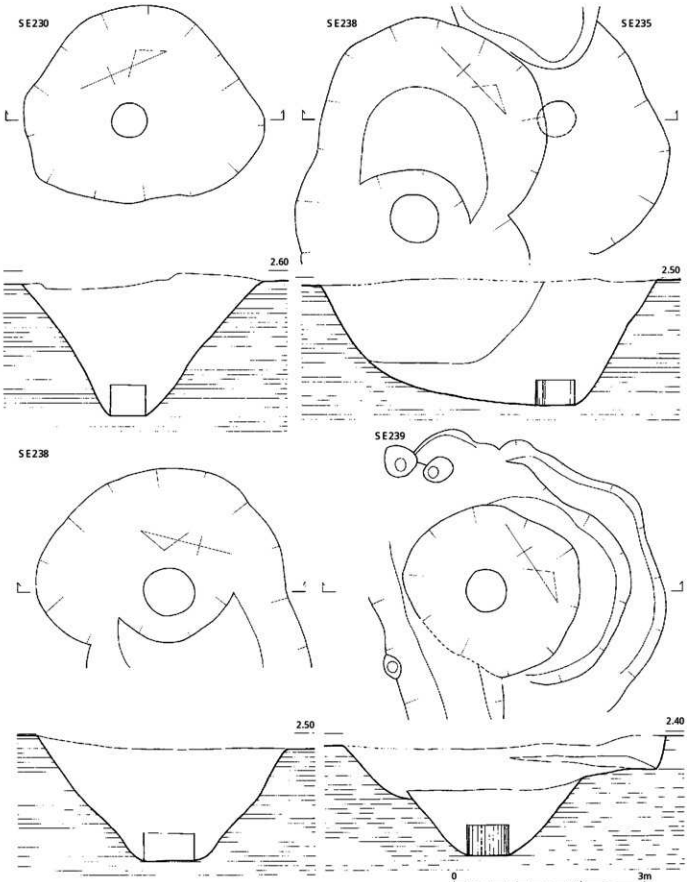
第68図　井戸実測図(3)



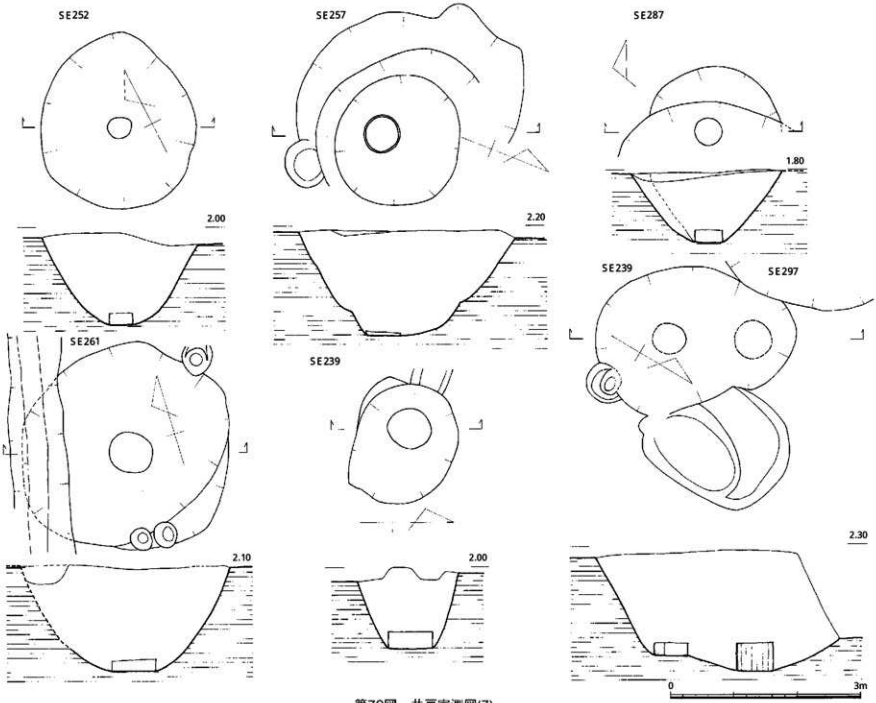
第69図　井戸実測図(4)



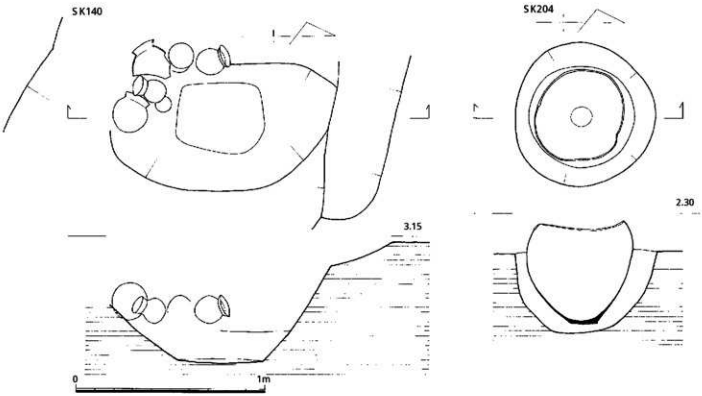
第70図　井戸実測図(5)



第71図　井戸実測図(6)


SE252
2.00
SE257
2.20
SE287
1.80
SE261
2.10
SE239
2.00
SE239
SE297
2.30
0
3m

第72図　井戸実測図(7)



第73図　土坑実測図

央に直径55cm、深さ50cmの桶側の痕跡がみられた。底面の標高0.3mを測る。

ＳＥ235（第71図　図版40）

調査区の南西で検出した。掘り方は上面径3.6m以上の円形を呈し、深さは2.0mを測る。基底部中央に直径60cm、深さ40cmの桶側の痕跡がみられた。底面の標高0.5mを測る。

ＳＥ238（第71図　図版40）

調査区の南西で検出した。掘り方は上面径4.0mの円形を呈し、深さは2.0mを測る。基底部中央に直径80cm、深さ45cmの桶側の痕跡がみられた。底面の標高0.5mを測る。

ＳＥ239（第71図　図版40）

調査区の南で検出した。掘り方は上面径2.5mの円形を呈し、深さは1.7mを測る。基底部中央に直径65cm、深さ50cmの桶側の痕跡がみられた。底面の標高0.45mを測る。

ＳＥ252（第72図　図版41）

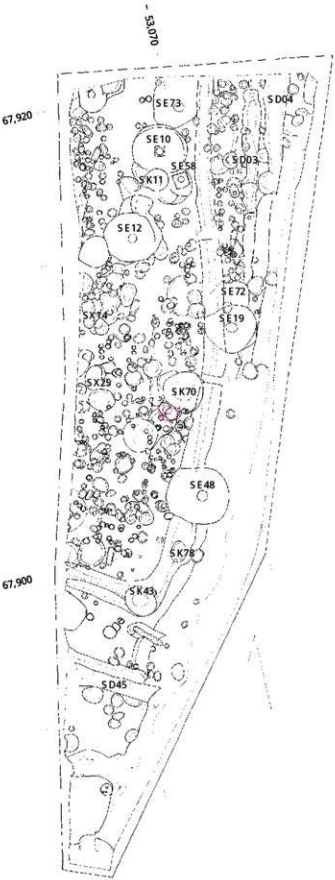
調査区の南東で検出した。掘り方は上面径2.4～2.8mの円形を呈し、深さは1.5mを測る。基底部中央に直径40cm、深さ20cmの桶側の痕跡がみられた。底面の標高0.45mを測る。

ＳＥ257（第72図　図版41）

調査区の南東で検出した。掘り方は上面径3.7mの円形を呈し、深さは1.7mを測る。基底部中央に直径55cm、深さ5cmの桶側の痕跡がみられた。底面の標高0.45mを測る。

ＳＥ261（第72図　図版41）

調査区の南で検出した。掘り方は上面径3.3mの円形を呈し、深さは1.6mを測る。基底部中央に直径70cm、深さ20cmの桶側の痕跡がみられた。底面の標高0.45mを測る。



第74図
箱崎遺跡第46次調査20-c区遺構配置図

ＳＥ287（第72図　図版41）

調査区の北東で検出した。掘り方は上面径2.4mの円形を呈し、深さは1.1mを測る。基底部中央に直径45cm、深さ20cmの桶側の痕跡がみられた。底面の標高0.65mを測る。

ＳＥ289（第72図　図版41）

調査区の北東で検出した。掘り方は上面径1.6～1.9mの円形を呈し、深さは1.3mを測る。基底部中央に直径70cm、深さ25cmの桶側の痕跡がみられた。底面の標高0.7mを測る。

ＳＥ297（第72図）

調査区の中央で検出した。掘り方は上面径1.6mの円形を呈し、深さは1.9mを測る。基底部中央に直径60cm、深さ45cmの桶側の痕跡がみられた。底面の標高0.25mを測る。

ＳＥ239（第72図　図版40）

調査区の南で検出した。掘り方は上面径2.2mの円形を呈し、深さは1.6mを測る。基底部中央に直径55cm、深さ20cmの桶側の痕跡がみられた。底面の標高0.55mを測る。

土坑

ＳＫ140（第73図　図版42）

調査区の南東で検出した。上面径0.7～1.5mの　形を呈し、深さは0.6mを測る。

ＳＫ204（第73図　図版42）

調査区の南で検出した。上面径0.75mの円形を呈し、深さは0.45mを測る。

20-c区

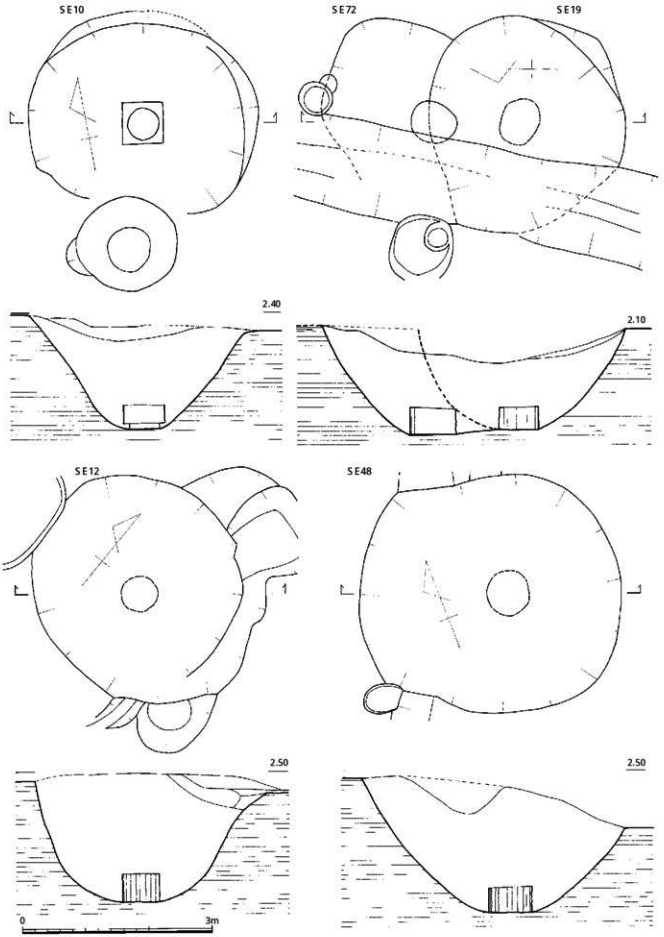
井戸

ＳＥ10（第75図　図版43）

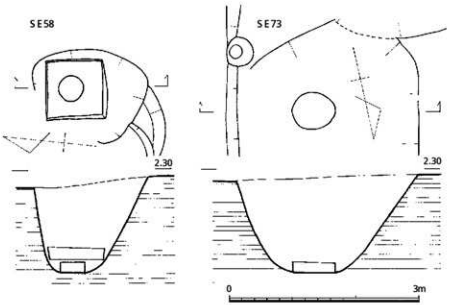
調査区の北で検出した。掘り方は上面径3.7mの円形を呈し、深さは1.7mを測る。基底部中央に65cm四方、深さ30cmの井桁と、その下部に直径50cm、深さ10cmの井戸枠の痕跡がみられた。底面の標高0.55mを測る。

ＳＥ12（第75図　図版43）

調査区の北西で検出した。掘り方は上面径3.6mの円形を呈し、深さは2.0mを測る。基底部中央に直径60cm、深さ45cmの桶側の痕跡がみられた。底面の標高0.45mを測る。



第75図　井戸実測図(1)



第76図　井戸実測図(2)

ＳＥ19（第75図　図版43）

調査区の中央で検出した。SE72を切る。掘り方は上面径3.3mの円形を呈し、深さは1.6mを測る。基底部中央に直径65cm、深さ35cmの桶側の痕跡がみられた。底面の標高0.5mを測る。

ＳＥ48（第75図　図版44）

調査区の中央で検出した。掘り方は上面径3.8～4.1mの円形を呈し、深さは2.2mを測る。基底部中央に直径70cm、深さ40cmの桶側の痕跡がみられた。底面の標高0.25mを測る。

ＳＥ72（第75図　図版43）

調査区の中央で検出した。SE19に切られる。掘り方は上面径2.3m以上の円形を呈し、深さは1.7mを測る。基底部中央に直径75cm、深さ45cmの桶側の痕跡がみられた。底面の標高0.3mを測る。

ＳＥ58（第76図　図版44）

調査区の北で検出した。掘り方は上面径1.8mの円形を呈し、深さは1.5mを測る。基底部中央に90cm四方、深さ20cmの井桁と、その下部に直径40cm、深さ20cmの井戸枠の痕跡がみられた。底面の標高0.65mを測る。

ＳＥ73（第76図　図版44）

調査区の北で検出した。掘り方は上面径2.9mの円形を呈し、深さは1.5mを測る。基底部中央に直径65cm、深さ15cmの桶側の痕跡がみられた。底面の標高0.65mを測る。

土坑

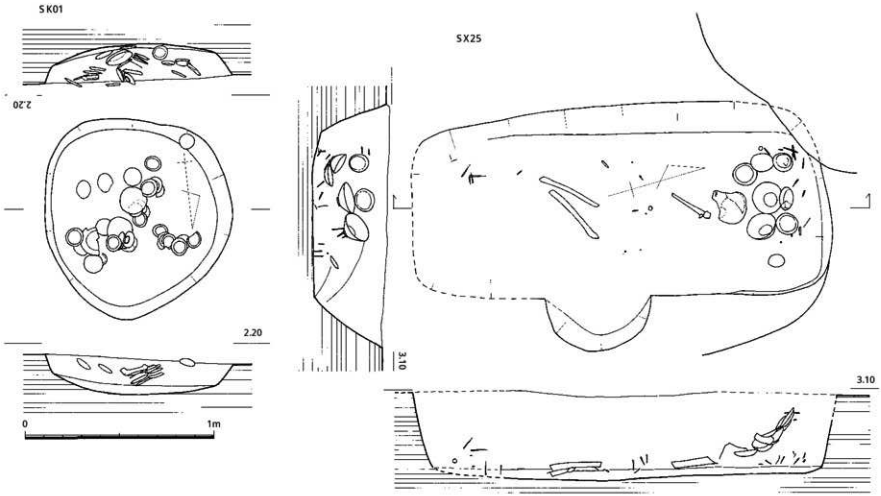
ＳＫ01（第77図　図版44）

調査区の南西で検出した。上面径1.0mの円形を呈し、深さは0.2mを測る。白磁皿と大量の土師器小皿・杯が廃棄されていた。

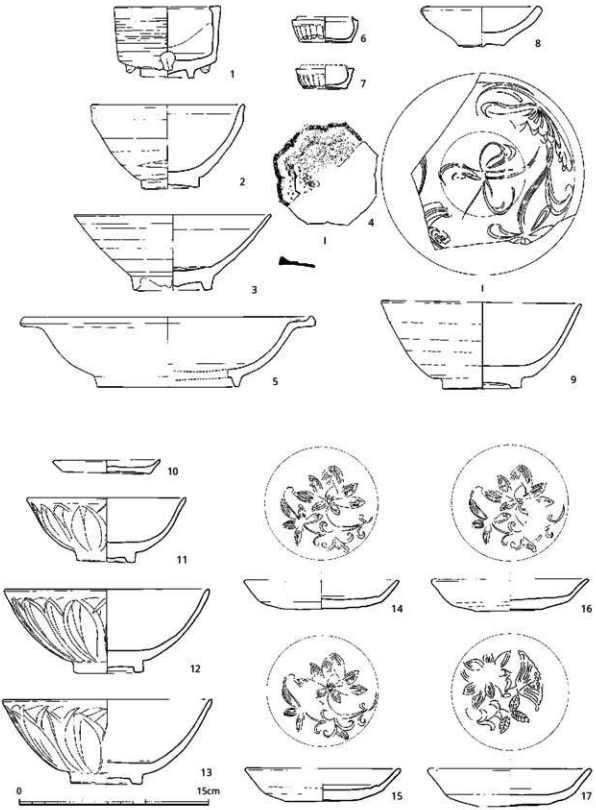
木棺墓

ＳＸ25（第77図　図版45）

調査区の南西で検出した。掘り方は全長2.2m以上、幅1.0mの隅丸方形を呈し、深さは0.45mを測る。墓壙の両端とその中間に底面から5cm上に帯状に分布する鉄釘から、全長1.8m、幅0.4mの木棺を復元することができる。主軸の方位は東偏16°に取る。人骨は完存していないが、頭を北向きに横臥し、屈葬されている。人骨頭部側に北側から流れ込むような状態で、供献された土師器小皿1、青磁碗2・小碗1、白磁皿4が出土した。これらは棺外に供献されたが、棺の腐蝕により落ち込んだものと考えられる。底面からは銅銭4が出土し、内1は「至道元寶」と判読できた。



第77図　木棺墓・土坑実測図



第78図　出土遺物実測図(1)

出土遺物

ＳＤ03出土遺物（第78図）

青磁　香炉（１）　三足の香炉で、内一足は欠失している。体部は口径8.5cm、高さ5.0cm、底径7.8cm筒状をなす。体部外面には2～3mmの凹線が７条めぐる。口縁部は内側に拡張し、上端部を水平にする。底部には外面を直に、内面は斜めにする高さ0.6cm、直径4.3cm、幅5mm高台が削り出され、三足が浮いたかたちとなっている。体部内面上半から高台上部まで厚く施釉されている。

黒釉陶器　碗（２）高台内の削り出しは浅く、上げ底状の平高台となっている。高台脇は2～4mm幅で水平に削り出され、体部が内湾気味にのび、体部の上位で屈曲し、外反気味に口縁部がやや直立して付く。

ＳＥ121出土遺物（第78図）

白磁　碗（３）　内底見込みの釉を輪状にかき取る碗Ⅷ-2類で、体部は直線的にのび、口縁部下まで幅広な単位で回転ヘラ削りされている。

八稜鏡（４）　約1/2が残存する。歪みが著しく、文様は明瞭である。径8.0cm前後に復元できる。鏡面の厚さ0.2cm、縁の厚さ0.6cmを測る。

ＳＤ04出土遺物（第78図）

青磁　盤（５）底部の高台より内側が欠失している。口縁部は折り曲げられ鍔状を呈し、端部はつまみ上げられている。全面に施釉した後、高台畳付の釉をかき取り露胎としている。

ＳＥ252出土遺物（第78図）

青磁　碗（９）　内面の体部と見込みに片切り彫りで蓮華折枝文を施す。

青白磁　合子（6･7）　合子の身で、体部外面に蓮弁を型造りする。蓋受け部は露胎となっている。

陶器　皿（８）　上げ底状の底部の削り出しは粗雑である。口縁部はやや内湾してのび、端部が外傾している。

ＳＸ25出土遺物（第78図）

土師器　小皿（10）底部は糸切り離し、体部は回転横ナデ、内底はナデ、外底には板状圧痕が残る。口径8.5cm、器高1.1cm、底径6.9cmを測る。

青磁

小碗（11）体部外面に鎬蓮弁を削り出す。口径12.8cm、器高5.2cm、高台径4.6cmを測る。

碗（12･13）口径16.4・16.8cm、器高6.6・6.7cm、高台径5.5・5.8cmを測る。

白磁　皿（14～17）　体部中位で屈曲し、平坦な内底見込みには蓮華折枝文をスタンプする。

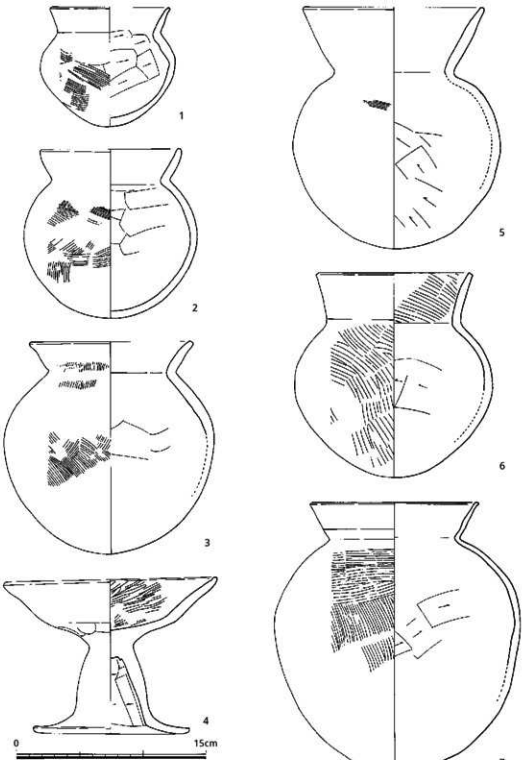
ＳＫ140出土遺物（第79図）

土師器

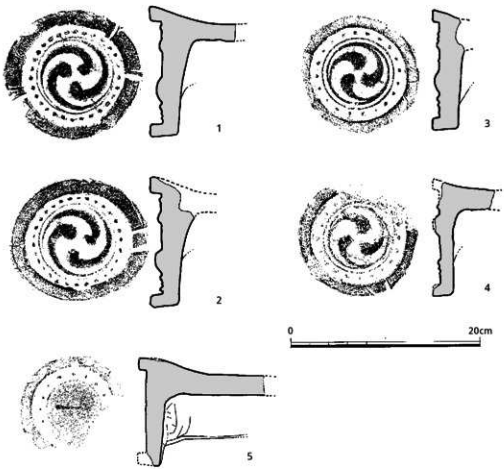
壷（1･2･5･6）　1は口縁部が短く外反し、底部がやや尖り気味の小形の壷である。体部外面にハケ目が残る。2は球形の体部に内湾する口縁部が付く。5は球形の体部にやや長く直線的にのびる口縁部が付く。6は倒卵形の体部に、直立気味に外反する口縁部が付く。

甕（3･7）3は球形の体部にやや外反する口縁部が付く。7は倒卵形の体部に、直線的にのびる口縁部が付く。体部外面にハケ目を施し、内面はヘラ削りを行う。

高杯（４）　杯上部3分の1は外反し、上半部と下半部の境は外面でわずかに段をなす。柱状部は中膨らみにのび、裾部は短い。杯部内内面はヘラ磨き、脚部外面及び裾部はナデ、柱状部内面はヘラ削りを行う。



第79図　出土遺物実測図(2)



第80図　出土遺物実測図(3)

Ⅵ．小　結

遺構の時期　土師器がまとまった数量出土しているか、時期による法量の変化が著しい土師器杯が出土している遺構について、推測できる時期を挙げる。

11区　1100年-SK01・SK12・SK20・SK38～1250年-SK10～1300年-SK39・SK68～1350年-SK41

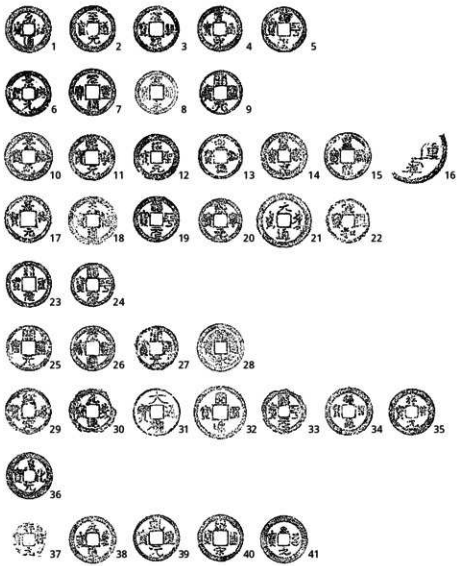
12区　1100年-SK47～1250年-SE03～1350年-SE04

13区　1050年-SK63・SE81～1100年-SK01・SK04・SK102・SK127・SK136～1150年-SK112～1200年-SK104・SK106・1250年-SK02・SK11・SK35～1300年-SK24・SK124・1350年-SE36

14区　1050年-SE20～1150年-SK31　　17区　1100年-SK73・SK115～1150年-SK13

18区　1150年-SK51・SK70～1200年-SE60～1250年-SK80・SK84～1350年-SE17

遺構の分布　今回の報告では13区より南側の7区で多く見られた11世紀前半以前の遺構は減少するが、13区より南側の12区では北宋初期の越州窯青磁や高麗中期の陶器が見られた。13世紀後半から14世紀の遺構は北側では増加し、楠葉型瓦器輪花碗・かなえなど京都や鎌倉以外では出土例が限られる



第81図　銅銭拓影

No	区	出土遺構	古銭名	初鋳年	書体	備考	No	区	出土遺構	古銭名	初鋳年	書体	備考
1	11区	SE 02	元祐通寶	1086	行書		22		K 11	宣和通寶	1119	分楷	
2		SE 11	至道元寶	995	真書		23	14区	SK 25	紹聖元寶	1094	篆書	
3		SK 24	元祐通寶	1086	篆書		24		K 09	治平元寶	1064	篆書	
4		SE 56	寛永通寶				25	17区	SK 03	開元通寶	621	真書	
5		Pit360	治平元寶	1064	篆書		26		SK 94	元豊通寶	1078	篆書	
6	12区	SE 04	景德元寶	1004	真書		27		SK 03	開元通寶	621	真書	
7		SE 09	元豊通寶	1078	篆書		28		K 20	寛永通寶			
8		SK 27	寛永通寶				29	18-c区	SK 68	紹定通寶	1228	真書	
9		SK 40	開元通寶	621	真書		30		SD 69	元豊通寶	1078	行書	
10	13区	SK 01	景德元寶	1004	真書		31		Pit358	大観通寶	1107	瘦金体	
11		SK 02	熙寧元寶	1068	真書		32		Pit358	宣和通寶	1119	篆書	
12		SD 05	紹聖元寶	1094	行書		33	18-d区	SE 94	治平元寶	1064	篆書	
13		SK 09	○○○寶		篆書		34		SE 108	祥符通寶	1008	真書	
14		SK 19	聖宋元寶	1101	篆書		35	18-e区	SK 133	祥符元寶	1008	行書	
15		SE 36	皇宋通寶	1039	篆書		36		Pit768	淳化元寶	990	真書	
16		SK 102	崇寧重寶	1103		当十	37	20-b区	SE 108	祥符元寶	1008	行書	
17		SK 112	嘉祐元寶	1056	真書		38		SD 110	元豊通寶	1078	行書	
18		SK 24	天禧通寶	1017	真書		39		SE 235	乾元重寶	758	真書	
19		SK 124	治平元寶	1064	篆書		40	20-c区	SX 25	皇宋通寶	1039	真書	
20		SE 140	熙寧元寶	1068	真書		41		SX 25	至道元寶	995	草書	
21		K 03	元豊通寶	1078	行書								

第２表　銅銭出土遺構対称表

遺物が出土している。輪花椀は九州地方では箱崎遺跡16次・博多遺跡群107次調査の他、大分県杵築市八坂中遺跡で出土している。八坂中遺跡は宇佐弥勒寺領八坂荘にあたり、筥崎宮と同様に岩清水八幡宮など中央の権門社寺との密接な関係が想定される。新安沈没船は京都東山東福寺が再建資金調達のために託された寺社造営料唐船で、1323年に寧波から博多への航行中、韓国西海岸新安沖で沈没した。積荷であった大量の陶磁器や銅銭の他、木簡も引き揚げられている。その内「東福寺」と記されたものが41点、「教仙」と記されたものが7点判読されている。教仙木簡2点の表には「拾貫文教仙　勧進聖」、裏には「筥崎奉加銭」と記されていた。勧進聖教仙が活躍した時期は、楠葉型瓦器輪花碗が出土する時期と重なる。20区木棺墓SX25もその時期に営造されたもので、供献された陶磁器は外面に鎬蓮弁を削り出した碗2・小碗1、内底見込みに蓮華折枝文をスタンプした白磁皿4と、7点ともすべて仏教と関連深い蓮華のモチーフを取り込んだものである。

長大な掘立柱建物　12区では柱穴底面（一部はやや浮いた位置に）に扁平な根石を据えた柱穴からなる梁間2間（14尺）× 桁行10間（60尺）以上の長大な東西棟の掘立柱建物SB70を検出した。井戸SE04・05・17に切られており、下限は14世紀に置くことができる。柱間間隔は、梁間で2.1m（7尺）、桁行で1.8m（6尺）を測る。建物の性格は住居とも神殿とも判断し難い。根石の径が30cm前後であることから、柱の直径はそれ以下となる。正応二(1289)年の「石清水文書」筥崎宮造営材木目録に、神殿造営に用いた材木の数量及び寸法が記されている。「母屋柱二十四本　長一丈三尺五寸　口一尺五寸(45cm)」とある。延久三(1071)年の筥崎宮神殿造営の記事には「筥崎宮九間一面」とあり、梁間2間×桁行9間の規模で、桁行3間毎に棟持柱が入ると母屋の柱は都合24本となることから、正応の神殿と同規模と見做される。径45cmの柱にどの程度の加工を加えたのかはわからない。屋根は桧皮葺きで、「棟ノ瓦者、自京都雖被買下、不下合之間、中四郎入道唯性建立寺佛花園寺上葺料瓦令借給畢」と棟瓦は京都で調達したとある。

高麗系の遺物　13区では外区に珠文を配した単弁八葉蓮華文軒丸瓦、半截した宝相華文系の花菱を内区に、上下の外区に珠文を配した軒平瓦が出土している。軒平瓦は外区の珠文の径、間隔、外区を仕切る界線などの太さが、単弁八葉蓮華文軒丸瓦と同じで、セットと考えられる。軒丸瓦は箱崎の他に、大宰府観世音寺、特に講堂で多く出土している。京都法成寺などの権門寺院でよく見られるこれらの瓦当文様の源流は高麗に辿ることができる。箱崎26次8区では高麗中期の青磁がまとまって出土していた。今回報告の第30次12区においては、高麗陶器甕が出土している。大宰府において、これら高麗から渡来した陶磁器の出土は観世音寺周辺に集中している。高麗系の瓦当文様の瓦と合わせて考えると、大宰府府官でもあり、観世音寺の平安後期における再興に寄与した筥崎宮神官秦氏の関与が考えられよう。

参考文献
橋本久和 2005「楠葉型輪花椀の分析」『喜谷美宣先生古希記念論集』
広渡正利 1999『筥崎宮史』文献出版
上原真人 1980「十一・十二世紀の瓦当文様の源流」上・下『古代文化』第32巻 第5・6号 古代学協会

遺構番号	土器器種	遺物番号	口径（cm）	器高（cm）	底径（cm）	遺構番号	土器器種	遺物番号	口径（cm）	器高（cm）	底径（cm）
SK01	小皿	44	8.2	1.0	5.8	SK01	小皿	67	9.4	1.3	7.8
		70	8.2	1.0	6.3			71	9.4	1.3	7.8
		39	8.3	1.2	6.8			13	9.5	0.9	7.9
		38	8.4	1.1	-			65	9.5	1.2	6.6
		10	8.4	1.2	7.0			66	9.5	1.3	7.3
		48	8.5	1.0	7.1			42	9.5	1.3	7.5
		76	8.5	1.1	7.4			68	9.5	1.3	7.8
		9	8.6	1.4	6.2			75	9.5	1.4	7.3
		56	8.6	1.4	7.0			31	9.5	1.4	7.5
		52	8.6	1.5	6.5			21	9.5	1.4	-
		29	8.6	1.5	7.3			17	9.5	1.5	7.0
		23	8.7	0.9	7.5			57	9.5	1.6	6.6
		3	8.7	1.4	6.6			60	9.6	1.1	7.5
		72	8.8	0.9	7.5			62	9.6	1.2	7.7
		22	8.8	1.0	6.5			58	9.6	1.2	-
		47	8.8	1.0	7.3			1	9.6	1.4	7.2
		7	8.8	1.1	6.9			11	9.6	1.8	7.7
		74	8.8	1.2	-			64	9.7	1.3	7.3
		37	8.8	1.4	7.4			26	10.0	1.3	7.5
		41	8.9	0.8	7.0			61	10.1	1.2	7.1
		73	8.9	1.1	7.5		杯	87	12.7	2.4	9.5
		2	8.9	1.3	7.4			86	13.1	3.3	8.5
		63	8.9	1.4	6.8			34	13.3	2.6	8.3
		55	8.9	1.4	-			33	13.3	2.7	9.5
		14	9.0	0.8	7.2			35	13.4	3.1	8.6
		43	9.0	0.9	6.6			90	13.5	2.6	8.7
		45	9.0	1.0	6.8			84	13.5	2.8	8.8
		19	9.0	1.0	7.1			91	13.5	3.0	9.0
		5	9.0	1.0	-			92	13.5	3.3	9.0
		6	9.0	1.2	7.1			89	13.7	2.8	10.2
		46	9.1	1.0	6.9			83	13.8	2.6	10.4
		4	9.1	1.0	7.2			79	13.9	2.2	10.0
		12	9.1	1.0	7.2			78	14.0	2.2	10.2
		49	9.1	1.0	7.3			77	14.0	2.8	9.6
		18	9.1	1.0	7.5			85	14.0	3.3	10.1
		24	9.1	1.1	7.2			81	14.1	2.4	9.9
		25	9.1	1.2	-			32	14.1	2.9	10.0
		15	9.2	0.8	-			82	14.1	2.9	11.0
		8	9.2	1.0	7.3			88	14.4	2.9	10.7
		53	9.2	1.2	6.3			36	14.5	3.2	9.5
		69	9.2	1.4	7.8			80	14.6	3.3	9.5
		50	9.2	1.5	8.0	SE02	小皿	95	8.2	1.1	6.3
		20	9.3	1.0	6.9			94	8.3	1.2	6.9
		28	9.3	1.1	7.1			93	8.8	1.0	7.5
		16	9.3	1.2	7.9			96	-	2.8	-
		30	9.3	1.3	7.0	SK03	杯	97	8.8	1.1	-
		54	9.3	1.4	7.5	SE05	杯	98	14.8	3.0	-
		51	9.4	1.1	7.2		丸底杯	99	8.2	1.1	6.2
		40	9.4	1.1	7.5	SE06	小皿	104	8.7	1.4	6.6
		59	9.4	1.1	8.0	SE08	小皿	103	8.8	1.1	7.3
		27	9.4	1.3	7.4			101	8.8	1.3	7.0

第３表　11区（１）出土土器計測表

遺構番号	土器器種	遺物番号	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)
SE08	小皿	102	8.9	1.2	-
		100	9.8	1.0	7.8
	杯	105	13.9	2.1	10.0
SK09	小皿	106	9.2	1.1	8.1
SK10	小皿	107	7.3	1.8	4.5
	杯	108	11.8	2.6	8.1
		109	12.0	2.5	7.5
SK12	小皿	111	9.2	1.2	7.2
		110	9.3	1.0	-
SE15	小皿	112	7.2	0.9	6.0
SK18	小皿	114	8.6	1.0	7.0
		113	8.8	1.0	7.0
	杯	115	13.8	2.5	10.2
SD20	小皿	123	8.6	1.0	6.6
		120	8.8	1.0	6.8
		119	8.9	1.0	7.4
		121	9.0	1.2	-
		122	9.0	1.4	7.1
		118	9.2	1.2	6.9
		117	9.3	1.0	7.4
		116	9.8	1.1	-
SK30	小皿	124	9.5	1.1	7.4
SK38	小皿	129	9.2	1.0	-
		130	9.4	1.2	-
		131	9.5	1.4	-
		127	9.7	1.1	8.1
		125	9.8	1.3	-
		126	9.9	1.3	-
	丸底杯	132	14.4	3.8	-
		128	15.0	3.8	-
SK39	小皿	134	7.6	1.1	5.6
	杯	136	11.6	2.5	7.8
		133	11.6	2.6	8.8
		137	11.6	2.7	9.2

遺構番号	土器器種	遺物番号	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)
SK39	杯	138	12.1	2.4	9.1
		135	13.1	2.6	9.0
SE41	小皿	141	7.2	1.3	6.4
		139	7.3	1.2	6.1
		140	-	1.1	6.2
	杯	142	11.2	2.8	8.4
SK47	杯	143	14.3	2.7	10.5
SE56	小皿	147	8.4	1.2	6.2
		146	8.4	1.2	6.3
		145	8.4	1.3	7.3
		144	9.0	1.4	7.7
	杯	148	13.0	2.7	8.0
SK61	小皿	149	9.2	1.2	7.4
SE62	小皿	150	7.6	1.3	-
		152	7.9	1.0	6.6
		153	8.2	1.1	6.8
	杯	151	-	2.8	-
SE66	小皿	154	7.8	1.5	5.5
SK68	小皿	155	9.4	1.4	7.2
	杯	158	14.1	2.3	10.1
		157	14.1	2.5	11.0
		159	15.1	3.3	10.3
		156	15.2	2.5	11.9
SE70	小皿	160	8.9	1.5	6.5
Pit132	小皿	161	9.8	1.5	-
	丸底杯	166	15.0	3.8	-
Pit185	小皿	162	9.6	1.5	-
		163	10.3	1.2	-
Pit212	杯	165	12.3	2.9	7.5
Pit227	杯	164	15.3	2.9	11.4
撹乱23	小皿	168	9.8	1.3	-
		167	10.3	0.9	-
		169	10.3	1.2	-
		169	10.3	1.2	-

第４表　11区（２）出土土器計測表

遺構番号	土器器種	遺物番号	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)
SE03	小皿	1	8.6	1.4	6.4
		2	9.2	1.4	7.0
	杯	4	12.6	3.0	8.7
		3	13.5	2.8	9.2
SE04	小皿	5	6.9	1.8	5.3
		6	8.0	0.7	5.1
	杯	7	12.3	2.3	8.0
		9	12.3	2.7	8.7
		8	13.3	2.7	9.0
SE05	小皿	10	10.0	0.5	-
SE07	小皿	11	9.5	1.7	-
SE08	小皿	12	8.3	1.3	6.2
		13	9.3	1.3	7.0
	杯	14	12.6	2.7	9.0

遺構番号	土器器種	遺物番号	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)
SE10	小皿	15	8.6	0.9	7.1
SE11	小皿	17	8.9	1.3	-
		18	9.1	1.7	-
		16	9.4	1.5	-
	丸底杯	19	15.1	4.1	-
SK12	小皿	22	9.1	1.0	7.2
		23	9.4	1.2	-
		20	9.9	1.3	7.3
	丸底杯	21	15.4	3.5	-
SE17	小皿	26	9.1	1.1	7.4
		24	9.1	1.1	8.4
		25	9.5	0.9	8.5
	杯	27	14.0	3.0	0.9
SE18	小皿	28	8.8	1.6	7.6

第５表　12区（１）出土土器計測表

遺構番号	土器器種	遺物番号	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	遺構番号	土器器種	遺物番号	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)
SE18	杯	29	12.2	2.6	9.4	Pit04	小皿	56	9.5	1.2	-
SE21	小皿	30	12.2	1.3	-	Pit42	小皿	58	9.7	1.8	-
SE25	小皿	31	9.0	1.1	7.0	Pit134	丸底杯	76	15.6	3.8	-
	丸底杯	32	16.0	3.5	-	Pit167	小皿	59	9.2	1.2	6.8
SK27	小皿	34	9.6	1.1	7.5	Pit175	小皿	60	9.7	1.3	8.0
		33	9.7	1.2	7.0	Pit205	小皿	61	10.6	1.4	7.7
SD30	小皿	35	9.3	1.3	7.5	Pit232	小皿	62	9.5	1.1	7.5
SK32	丸底杯	36	15.2	3.6	-			63	10.0	1.4	-
SK42	小皿	37	9.7	1.5	-	Pit255	小皿	64	9.3	1.4	7.2
SK43	小皿	38	7.7	1.1	6.5			65	9.5	1.3	7.6
SK47	小皿	40	8.8	1.2	6.5	Pit306	丸底杯	77	14.3	3.0	-
		39	9.1	1.9	6.5			78	14.4	3.2	-
	杯	44	12.2	2.7	9.1	Pit307	小皿	66	8.8	1.2	5.7
		45	12.2	2.9	8.7	Pit326	杯	71	13.7	2.9	8.5
		43	12.6	2.9	9.3	Pit350	小皿	67	9.2	1.6	6.6
		41	15.0	3.1	8.0		杯	72	15.2	3.6	10.5
		42	15.1	3.5	9.0		丸底杯	79	15.3	3.4	-
SE49	小皿	46	9.9	1.0	7.7	Pit373	小皿	68	9.7	1.4	-
	丸底杯	48	13.6	4.0	-	Pit397	小皿	69	9.0	0.9	7.0
		47	15.2	3.5	-	Pit402	小皿	70	9.7	1.2	7.9
		49	16.0	3.3	-		杯	74	15.5	2.8	11.0
SK57	小皿	52	9.2	1.2	6.8			75	15.8	2.9	11.5
		50	9.5	1.0	7.0		丸底杯	80	16.0	3.1	-
		51	9.5	1.1	6.5			81	16.4	3.8	-
	杯	53	15.1	3.0	10.3		杯	73	16.6	2.9	13.0
SK58	杯	54	11.6	2.6	7.2	Pit414	丸底杯	82	15.8	3.8	-
SD65	杯	55	11.6	2.3	7.7	撹乱10	小皿	83	8.2	1.3	7.4
Pit04	小皿	57	9.3	1.7	-			84	8.9	1.4	7.4

第６表　12区（２）出土土器計測表

遺構番号	土器器種	遺物番号	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	遺構番号	土器器種	遺物番号	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)
SK01	小皿	18	8.5	0.9	6.2	SK01	小皿	15	9.4	1.6	7.7
		29	8.7	1.0	7.0			32	9.4	1.8	7.3
		16	8.8	1.0	7.0			33	9.4	2.2	9.5
		28	8.8	1.2	7.1			24	9.5	1.5	8.0
		36	8.8	1.7	6.8			8	9.6	1.4	7.5
		13	8.9	0.9	7.6			19	9.6	2.0	6.9
		6	8.9	1.4	7.0			31	9.7	0.7	8.5
		25	8.9	1.4	7.5			26	9.7	0.8	8.5
		1	9.0	1.1	7.0			2	9.7	1.4	7.4
		11	9.0	1.5	7.5			27	9.7	1.6	7.8
		7	9.0	1.7	7.3			14	9.8	1.5	7.9
		37	9.1	1.2	7.3			3	9.8	1.5	8.0
		12	9.1	1.6	7.6			4	10.0	1.6	7.9
		17	9.1	1.8	7.3		杯	21	12.6	2.6	9.0
		35	9.2	0.8	7.6			22	12.8	1.8	10.0
		9	9.2	1.4	7.6			48	12.9	2.9	10.3
		34	9.3	1.0	7.7			20	13.1	2.1	10.1
		30	9.4	1.0	7.8			46	13.1	2.5	9.2
		5	9.4	1.6	8.4			51	13.1	2.9	10.0
		10	9.4	1.6	7.7			43	13.2	2.4	9.9

第７表　13区（１）出土土器計測表

遺構番号	土器器種	遺物番号	口径（cm）	器高（cm）	底径（cm）
SK01	杯	50	13.3	2.3	10.0
		49	13.3	2.8	10.1
		39	13.4	2.2	10.4
		38	13.5	1.4	10.4
		41	13.5	2.1	10.0
		42	13.5	2.5	9.3
		45	13.5	2.6	10.3
		23	13.6	2.4	10.4
		44	13.7	2.5	10.3
		40	13.7	2.9	10.4
		52	14.0	2.1	11.0
		47	14.0	3.0	11.0
SK02	小皿	64	7.6	1.0	6.4
		59	7.6	1.4	6.5
		61	7.7	0.8	6.5
		101	7.7	1.2	6.7
		65	7.8	0.9	6.9
		63	7.8	1.0	6.0
		60	7.8	1.0	6.3
		54	7.8	1.4	6.8
		72	7.9	1.0	6.6
		57	7.9	1.2	6.5
		56	8.0	1.0	6.8
		99	8.0	1.0	7.1
		62	8.0	1.2	6.6
		79	8.0	1.2	7.0
		103	8.1	0.9	6.6
		93	8.1	1.1	6.9
		95	8.1	1.6	6.5
		74	8.2	1.0	6.6
		55	8.2	1.0	7.0
		77	8.2	1.4	7.0
		102	8.2	1.5	7.1
		71	8.3	0.9	6.8
		90	8.3	0.9	7.3
		97	8.3	1.0	6.9
		67	8.3	1.1	6.8
		68	8.3	1.1	7.1
		58	8.3	1.3	6.5
		94	8.3	1.3	6.5
		92	8.3	1.3	6.6
		53	8.3	1.3	6.8
		96	8.4	1.0	6.5
		91	8.4	1.1	7.0
		70	8.5	1.0	7.0
		89	8.5	1.0	7.0
		105	8.5	1.1	6.8
		86	8.5	1.2	6.8
		78	8.5	1.5	7.3
		75	8.6	0.8	7.2
		100	8.6	0.9	-
SK02	小皿	88	8.7	1.1	7.5
		76	8.7	1.2	7.3
		104	8.8	1.3	6.7
		73	8.9	1.0	7.7
		87	8.9	1.5	7.4
		98	9.1	1.2	7.9
		66	9.3	1.3	7.5
		69	9.3	1.3	7.8
		85	9.8	1.6	7.8
	杯	129	11.6	3.0	8.6
		124	12.0	2.4	8.6
		138	12.0	3.0	7.8
		141	12.0	3.3	9.1
		135	12.1	2.2	8.4
		111	12.1	3.1	7.9
		114	12.2	2.5	8.0
		142	12.2	2.8	9.2
		117	12.2	2.9	9.1
		120	12.2	3.0	8.0
		121	12.2	3.1	8.8
		112	12.3	2.9	7.8
		113	12.3	2.9	8.3
		82	12.3	3.0	8.8
		139	12.3	3.2	8.1
		108	12.4	3.0	9.0
		130	12.4	3.2	8.9
		128	12.5	2.2	-
		118	12.5	2.7	9.9
		107	12.5	2.9	8.2
		134	12.6	3.0	7.6
		109	12.6	3.0	9.2
		126	12.6	3.1	7.5
		81	12.6	3.4	8.8
		123	12.6	3.5	8.8
		125	12.7	2.5	-
		133	12.7	2.7	8.0
		140	12.7	2.8	8.5
		136	12.7	2.9	-
		122	12.7	3.3	8.7
		84	12.7	3.5	9.0
		119	12.8	2.3	9.6
		110	12.8	3.2	8.1
		115	12.8	3.7	-
		83	13.0	2.6	9.8
		80	13.0	2.7	10.0
		132	13.0	2.8	7.5
		116	13.2	2.5	9.0
		137	13.3	3.5	8.6
		106	13.4	2.9	10.5
		131	13.4	3.1	9.7
		127	13.7	3.0	10.4

第８表　13区（２）出土土器計測表

遺構番号	土器器種	遺物番号	口径（cm）	器高（cm）	底径（cm）
SE03	小皿	143	8.2	1.1	6.6
		145	8.5	1.0	7.2
		144	8.7	1.4	6.5
		147	9.2	1.2	7.3
	杯	146	12.6	2.8	9.0
SK04	小皿	150	8.7	1.5	6.2
		151	9.0	1.8	7.5
		152	10.0	1.8	8.3
	杯	156	12.3	2.6	9.0
		153	12.8	2.9	8.9
		160	12.8	3.5	9.7
		149	12.9	2.9	9.4
		154	13.1	2.9	9.9
		148	13.1	2.9	10.0
		157	13.1	3.1	9.6
		158	13.2	3.3	9.5
		155	13.5	3.0	7.4
		159	13.8	2.7	10.1
SD05	小皿	164	6.7	1.2	4.9
		163	8.7	1.2	7.0
		161	8.8	1.0	6.7
		162	9.3	1.2	8.8
SK11	小皿	166	8.1	1.0	6.6
		167	8.1	1.0	6.7
		170	8.6	1.1	7.7
		179	8.8	1.3	6.0
		171	8.9	1.0	7.0
		168	8.9	1.0	7.2
		165	8.9	1.2	7.5
		169	9.0	1.1	7.2
	杯	186	12.0	3.5	6.4
		177	12.2	3.1	6.7
		183	12.8	2.5	8.2
		180	12.9	2.6	9.2
		176	12.9	2.7	9.0
		175	13.0	2.6	8.9
		185	13.0	2.8	9.4
		178	13.3	3.6	9.5
		174	13.4	2.8	9.0
		184	13.5	2.7	9.2
		173	13.5	2.9	8.7
		181	13.6	2.8	9.2
		172	13.6	3.2	9.8
		182	14.1	3.2	9.2
SK13	杯	187	12.2	2.6	8.5
		189	12.2	2.6	9.1
		191	12.2	2.8	8.8
		190	12.8	2.7	9.1
		188	13.1	2.7	9.6
SK14	杯	192	13.6	3.0	9.6
SK15	丸底杯	193	15.0	3.8	-

遺構番号	土器器種	遺物番号	口径（cm）	器高（cm）	底径（cm）
SK16	小皿	200	8.0	1.1	5.8
		198	8.1	1.3	5.9
		197	8.3	1.3	6.5
		196	8.5	1.0	6.7
		199	8.7	1.0	6.5
		194	9.0	2.1	7.5
		195	9.2	1.5	-
	杯	201	12.9	3.0	9.5
SK17	杯	202	14.8	3.1	-
SE18	丸底杯	203	15.8	4.0	-
SK24	小皿	210	7.7	1.2	6.2
		211	8.2	1.0	6.8
		213	8.3	1.0	6.5
		204	8.4	1.4	7.3
		214	8.5	1.3	6.8
		205	9.4	1.2	-
		212	10.2	1.5	6.9
	杯	208	12.2	3.3	9.0
		215	12.3	2.8	7.7
		206	12.4	3.0	9.0
		216	12.8	3.3	8.8
		207	13.0	3.5	8.2
		209	13.3	8.5	9.0
SK25	小皿	217	7.2	2.7	5.8
SK30	小皿	218	10.2	1.4	-
SK32	杯	219	13.7	3.5	9.6
SK35	小皿	226	8.1	0.9	6.6
		238	8.1	0.9	7.5
		227	8.1	1.3	7.1
		223	8.1	1.3	-
		242	8.2	0.8	6.5
		243	8.2	0.8	7.0
		245	8.2	1.0	6.1
		222	8.2	1.4	6.9
		230	8.2	1.7	-
		237	8.4	0.9	7.0
		246	8.4	0.9	-
		240	8.4	1.0	7.1
		239	8.4	1.2	7.2
		225	8.7	0.9	7.0
		228	8.7	1.4	-
		224	8.7	1.5	7.0
		244	8.7	1.5	7.1
		229	8.8	1.2	-
		221	8.9	0.9	-
		241	8.9	1.1	6.9
		220	8.9	1.4	6.6
	杯	253	12.1	2.3	9.4
		233	12.1	2.4	9.2
		249	12.7	2.8	9.0
		231	12.8	3.7	8.0

第９表　13区（３）出土土器計測表

遺構番号	土器器種	遺物番号	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)
SK35	杯	255	12.9	2.6	9.2
		254	12.9	2.7	9.0
		250	13.0	2.3	9.8
		251	13.0	3.1	8.2
		256	13.0	3.4	7.8
		232	13.1	2.0	9.1
		258	13.3	2.5	9.0
		248	13.3	3.2	8.3
		235	13.3	3.5	9.5
		234	13.4	3.5	8.1
		252	13.5	2.8	9.0
		257	13.5	3.5	9.5
		247	13.8	3.2	10.2
		236	15.3	3.3	10.3
SE36	小皿	263	7.8	1.3	6.8
		265	7.8	1.4	6.0
		264	8.0	1.1	6.8
		262	8.1	1.0	-
		260	8.1	1.3	6.5
		261	8.3	1.3	7.2
		259	10.1	0.8	-
	杯	266	11.7	2.5	9.0
		268	12.1	2.6	8.5
		267	12.1	2.6	9.2
		269	12.5	3.0	8.5
SK37	小皿	271	8.2	1.0	7.2
	杯	276	11.1	1.9	8.0
		274	11.5	2.0	8.7
		280	11.7	1.5	8.0
		273	11.8	2.5	8.9
		278	11.9	2.5	9.4
		279	12.0	2.6	-
		277	12.1	2.5	9.0
		272	12.5	2.4	9.5
		275	12.5	2.7	8.5
		270	12.8	2.6	9.3
SK38	小皿	281	8.7	1.1	7.5
	杯	282	13.7	2.9	8.7
SD40	杯	283	12.2	2.1	9.0
SK41	小皿	292	8.3	0.8	-
		289	9.2	1.1	6.9
		285	9.5	1.2	6.9
		288	9.6	1.2	6.7
	杯	294	11.8	2.1	9.0
		291	11.8	2.3	8.3
		287	11.8	2.5	8.3
		295	11.8	2.5	9.2
		290	12.0	2.3	9.0
		293	12.2	2.1	8.8
		284	12.2	2.7	8.7
		286	12.8	2.5	10.1

遺構番号	土器器種	遺物番号	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)
SK42	杯	297	11.0	2.2	8.2
		298	11.4	2.2	8.6
		296	11.8	2.2	9.5
		299	12.1	2.2	9.5
SE43	小皿	300	8.2	1.5	6.6
		302	9.3	1.1	7.0
		303	9.6	1.3	8.1
	丸底杯	301	14.8	3.9	-
SK44	小皿	306	8.7	1.0	-
		307	8.8	1.4	-
		305	9.2	0.8	7.5
		304	9.7	1.3	7.0
SK50	小皿	311	8.5	1.4	6.9
		323	8.7	1.0	6.5
		327	8.8	1.0	7.1
		316	8.8	1.0	7.5
		319	8.8	1.3	7.5
		320	8.8	1.5	6.8
		315	9.0	0.7	7.1
		313	9.0	0.9	7.0
		308	9.0	1.3	7.0
		317	9.1	1.0	6.7
		312	9.1	1.2	7.4
		324	9.2	1.1	6.8
		310	9.3	0.6	7.5
		314	9.4	1.4	8.0
		309	9.5	0.9	6.7
		321	9.5	0.9	7.5
		318	9.6	1.1	7.2
		322	9.9	1.1	8.0
		326	10.1	2.7	-
		325	-	1.3	7.5
	杯	328	15.0	3.6	10.5
SK51	小皿	330	9.4	1.8	-
		329	9.6	1.2	7.6
	杯	331	15.4	2.6	11.5
SK53	小皿	341	8.4	1.0	6.9
		343	8.5	1.3	-
		345	8.5	1.4	6.5
		342	8.6	1.1	7.0
		344	8.6	1.3	6.7
		335	8.6	1.5	5.5
		338	8.8	1.5	-
		332	8.9	1.5	6.6
		337	9.1	1.3	7.0
		339	9.3	1.2	5.8
		333	9.6	1.0	7.0
		334	9.9	1.5	7.2
		336	10.0	1.4	-
	杯	346	15.3	3.3	11.5
	丸底杯	340	15.3	3.5	-

第10表　13区（４）出土土器計測表

遺構番号	土器器種	遺物番号	口径（cm）	器高（cm）	底径（cm）
SK53	小皿	347	15.5	3.7	-
SK60	杯	348	13.2	2.2	9.0
SD63	小皿	350	9.7	1.2	7.2
		351	9.7	1.2	7.2
		349	11.2	2.5	-
SK64	丸底杯	352	14.4	3.0	-
SK67	小皿	355	8.6	1.5	7.0
		353	8.8	1.1	7.6
		354	8.9	0.7	6.7
	杯	356	12.9	3.0	10.2
SK68	杯	357	12.4	2.5	9.4
SK69	小皿	359	9.1	1.2	6.9
		358	9.7	1.1	-
SE72	小皿	360	8.9	1.3	6.6
SK73	丸底杯	362	15.2	3.0	-
	杯	361	15.7	1.2	11.2
SK77	小皿	363	9.2	1.3	7.3
SE81	小皿	364	9.2	1.3	7.0
		365	11.9	2.7	8.5
	丸底杯	366	15.4	4.0	-
SK102	小皿	370	8.8	1.3	7.5
		368	9.0	1.1	8.1
		369	9.3	1.0	7.8
		367	10.4	1.8	-
	杯	373	13.7	2.2	10.1
		371	14.1	2.7	-
		372	14.2	3.2	10.2
SK104	小皿	376	8.8	1.1	-
		377	8.9	1.2	6.3
		375	9.0	1.1	-
		374	9.1	1.1	6.4
	丸底杯	379	15.3	3.1	-
		380	15.6	3.8	-
		378	16.0	3.3	-
SK106	小皿	381	8.7	0.8	-
		401	8.7	0.9	-
		397	8.7	1.1	6.8
		405	8.8	1.3	-
		407	9.0	1.2	6.0
		384	9.0	1.2	-
		386	9.0	1.3	5.9
		418	9.1	1.0	7.0
		393	9.1	1.1	1.1
		417	9.1	1.3	7.0
		390	9.1	1.3	-
		422	9.1	1.4	-
		414	9.1	1.8	7.2
		420	9.2	1.0	6.7
		409	9.2	1.0	7.1
		413	9.2	1.1	7.2
		415	9.2	1.1	-
SK106	小皿	404	9.2	1.3	7.0
		412	9.2	1.3	7.1
		398	9.2	1.3	-
		416	9.3	1.0	7.0
		389	9.3	1.0	-
		411	9.3	1.0	-
		392	9.3	1.1	-
		395	9.3	1.2	7.1
		399	9.3	1.4	7.8
		410	9.3	1.4	-
		403	9.4	1.1	-
		406	9.4	1.8	7.2
		382	9.5	1.3	-
		385	9.5	1.4	6.9
		408	9.5	1.4	-
		419	9.5	1.5	-
		394	9.5	1.8	7.0
		383	9.7	1.3	6.7
		388	9.7	1.5	6.8
		387	9.7	1.6	6.8
		402	9.8	1.7	-
		421	10.0	1.1	-
		396	10.0	1.4	-
		400	10.2	1.7	8.2
		391	10.2	1.7	-
	丸底杯	433	14.6	3.7	-
		432	15.0	3.8	-
		430	15.1	3.0	-
		428	15.2	3.3	-
		424	15.4	3.2	-
		425	15.5	3.0	-
		429	15.5	3.4	-
		431	15.5	3.8	-
		427	15.7	3.1	-
		423	16.0	3.4	11.3
		426	16.2	3.5	-
		434	17.0	3.7	-
SK112	小皿	435	9.3	1.1	7.3
	杯	436	14.7	4.8	9.9
		437	15.8	3.5	10.4
SE114	小皿	439	8.9	1.5	-
		438	9.0	1.1	-
	丸底杯	440	15.4	3.1	-
SE116	小皿	441	8.7	1.1	6.3
SE117	小皿	443	8.0	0.9	7.1
		444	8.1	0.9	7.8
		442	8.5	1.5	7.0
SK119	小皿	445	-	1.3	4.0
SK124	小皿	449	7.8	1.0	6.5
		471	7.8	1.1	6.3
		450	7.8	1.1	6.6

第11表　13区（５）出土土器計測表

遺構番号	土器器種	遺物番号	口径（cm）	器高（cm）	底径（cm）
SK124	小皿	451	7.8	1.2	6.5
		458	7.8	1.3	6.4
		465	7.9	1.3	6.7
		466	8.0	1.2	6.6
		460	8.0	1.2	6.8
		456	8.1	1.2	6.8
		463	8.1	1.3	6.7
		468	8.2	1.3	6.4
		452	8.3	1.2	7.0
		467	8.3	1.5	6.8
		470	8.3	1.5	7.2
		472	8.4	1.1	7.0
		453	8.4	1.3	6.9
		464	8.4	1.3	7.0
		459	8.5	1.1	6.9
		448	8.5	1.2	7.0
		469	8.5	1.3	7.2
		457	8.5	1.4	7.2
		454	8.6	1.2	6.5
		447	8.7	1.2	6.6
		473	8.8	1.0	6.9
		446	8.9	1.2	6.9
		455	9.0	1.2	7.0
	杯	477	11.8	2.3	8.0
		479	11.9	2.4	8.0
		480	12.0	2.2	9.0
		462	12.0	2.7	9.1
		474	12.3	2.7	7.9
		476	12.5	3.0	9.0
		481	12.7	2.2	9.2
		482	12.8	2.9	8.5
		475	12.9	2.4	9.3
		478	13.0	2.4	9.2
		461	13.0	2.5	9.2
SE125	小皿	483	9.0	0.8	7.0
		484	9.4	1.5	6.9
SK127	小皿	486	9.1	1.1	8.0
		485	9.5	1.5	8.1
	杯	487	12.3	2.5	9.1
		488	13.3	2.8	10.1
SK135	小皿	489	10.1	1.0	-
		490	10.3	0.9	-
SE136	小皿	491	9.0	1.3	6.5
		492	9.4	1.5	7.3
		493	9.5	1.1	-
	丸底杯	494	13.2	2.9	-
		495	15.3	3.6	-
		496	15.5	3.3	-
SE143	小皿	497	8.1	1.3	6.0
SK144	丸底杯	498	14.4	3.4	-
		499	15.4	3.5	-
SK149	小皿	505	8.6	1.4	6.5
		504	8.7	1.5	7.0
		506	8.8	1.5	7.0
		509	9.1	1.0	7.1
		502	9.1	1.5	7.3
		500	9.3	1.1	7.0
		508	9.5	1.0	7.2
		503	9.5	1.5	7.5
		501	9.5	1.5	7.6
		507	9.7	1.3	8.0
	丸底杯	510	15.0	2.7	-
SK151	杯	511	12.4	3.1	9.0
SK155	小皿	512	10.8	1.3	8.7
SK156	小皿	513	8.8	1.7	6.7
SK159	小皿	514	9.6	1.3	7.8
SK160	小皿	521	7.3	1.1	6.0
		515	7.9	1.2	6.3
		516	8.0	1.4	6.8
		517	8.1	1.1	6.5
		518	9.1	1.4	7.2
		519	9.3	1.3	7.5
		520	9.4	1.2	7.0
	杯	522	13.0	2.7	9.1
SE167	杯	523	12.0	2.5	8.8
Pit73	小皿	524	10.0	1.4	7.4
Pit80	杯	540	13.6	2.9	7.2
Pit84	小皿	525	8.9	1.2	6.3
	杯	541	13.4	3.0	8.3
Pit111	小皿	526	8.5	1.3	7.2
	杯	546	11.8	2.2	8.8
		542	12.0	2.3	9.2
		543	12.5	2.5	8.8
		544	12.7	2.6	8.9
		545	12.8	2.5	9.0
Pit115	小皿	527	9.6	1.7	7.4
Pit127	小皿	528	9.3	1.2	7.0
Pit156	小皿	529	8.8	1.3	6.8
	杯	547	11.7	2.3	8.2
Pit192	小皿	530	-	1.4	-
Pit198	杯	548	15.7	3.6	-
Pit201	丸底杯	549	12.6	3.9	-
Pit531	小皿	531	8.3	1.2	-
Pit214	小皿	532	9.8	1.8	8.3
Pit231	丸底杯	552	14.8	2.7	-
Pit277	小皿	533	9.4	1.3	7.1
Pit297	小皿	535	9.9	1.8	6.6
		534	10.1	1.3	8.0
Pit310	丸底杯	551	14.5	3.4	-
Pit328	小皿	536	9.2	1.4	6.6
Pit333	小皿	537	9.2	1.0	6.7
		538	9.3	1.1	7.3

第12表　13区（６）出土土器計測表

遺構番号	土器器種	遺物番号	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	遺構番号	土器器種	遺物番号	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)
Pit333	小皿	539	9.8	1.5	7.1	撹乱01	小皿	557	9.0	1.2	7.1
Pit383	杯	550	12.8	2.6	9.0			556	9.5	1.0	7.4
	丸底杯	553	15.4	3.8	-	撹乱02	小皿	558	9.2	1.3	7.7
RP11	杯	554	12.1	2.3	8.3		杯	559	12.1	2.8	8.8
包含層	杯	555	10.9	2.8	7.2						

第13表　13区（７）出土土器計測表

遺構番号	土器器種	遺物番号	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	遺構番号	土器器種	遺物番号	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)
SK01	小皿	2	8.6	1.2	6.7	SK31	杯	14	14.8	2.3	10.3
		1	9.8	1.6	7.5	SD39	小皿	16	10.2	1.7	-
	杯	3	16.0	2.9	12.5	Pit01	小皿	17	9.1	1.0	7.0
SE06	小皿	4	9.4	0.8	7.8			18	9.8	1.7	8.8
SE15	小皿	5	7.9	1.1	6.3		杯	21	15.5	3.1	12.3
		6	8.3	1.9	5.9	Pit16	杯	22	15.8	3.0	10.1
SE20	小皿	8	9.4	1.4	6.0	Pit24	杯	23	13.3	2.8	9.8
		7	10.1	0.9	6.5	Pit26	小皿	19	7.6	1.1	5.6
		9	10.4	1.5	7.0	Pit30	小皿	20	9.5	1.3	7.6
SK21	小皿	10	9.5	1.0	-		杯	25	13.9	2.5	10.1
SK22	小皿	11	9.1	1.2	7.1			24	14.3	2.9	10.7
		13	9.6	1.5	7.5	Pit37	杯	26	15.3	3.1	9.4
	杯	12	15.2	2.6	11.2	撹乱14	小皿	27	6.9	1.2	3.8
SK31	杯	15	14.2	2.5	11.1						

第14表　14区出土土器計測表

遺構番号	土器器種	遺物番号	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	遺構番号	土器器種	遺物番号	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)
SD02	小皿	1	8.9	1.5	5.2	SK18	小皿	27	9.4	1.0	7.5
		3	8.9	1.8	6.7	SK19	小皿	28	8.8	1.2	7.0
		2	9.2	1.8	7.4		杯	29	15.7	2.2	10.3
SK03	杯	4	12.0	2.4	9.0	SK25	小皿	30	9.4	1.3	8.2
SD04	小皿	5	7.4	1.3	6.0	SK28	小皿	31	9.6	1.3	7.5
SK06	小皿	8	8.5	1.7	6.0	SK35	杯	32	12.2	2.8	8.5
		9	8.5	1.8	5.9	SK37	杯	33	16.6	3.4	11.4
		7	8.7	1.8	5.9	SK38	小皿	34	8.5	1.5	7.4
		6	9.5	1.3	8.0	SK39	小皿	35	9.0	1.2	7.8
	杯	10	13.0	2.7	8.3			36	9.2	1.1	8.1
		11	15.3	3.5	11.0		杯	38	13.1	2.6	10.3
SE08	小皿	12	8.9	1.1	7.0			37	-	2.6	10.6
		13	9.0	1.7	6.8	SK40	杯	39	11.7	2.9	8.5
	丸底杯	14	16.2	3.7	-	SK41	小皿	41	7.3	1.7	6.1
SK10	小皿	15	-	1.0	-			40	8.0	1.4	6.5
SE11	小皿	17	9.1	1.4	6.8		杯	42	11.9	2.7	8.0
		16	9.3	1.5	7.2			44	12.2	3.1	8.5
SK13	小皿	18	9.9	1.9	7.0			43	12.5	2.6	9.0
	杯	21	15.0	3.2	10.1			46	12.7	2.8	9.6
		19	15.2	2.5	11.2			45	13.0	2.9	8.0
		20	15.6	3.0	10.0			47	16.2	3.8	9.7
		24	15.8	3.3	10.1	SK43	杯	48	12.5	2.8	9.5
		22	16.1	3.2	11.0	SK51	小皿	51	8.2	1.3	6.6
		23	16.6	3.7	10.4			50	8.5	1.5	6.5
SK14	小皿	25	8.7	1.3	7.0			52	8.7	1.8	5.8
	杯	26	13.8	3.2	8.5			49	8.9	1.8	7.5

第15表　17区（１）出土土器計測表

遺構番号	土器器種	遺物番号	口径（cm）	器高（cm）	底径（cm）
SK53	小皿	53	9.1	1.4	8.0
	杯	54	12.8	2.6	10.0
SK54	小皿	55	8.8	1.4	7.7
SK56	小皿	56	9.4	1.7	6.8
SK60	小皿	57	8.5	1.4	7.3
SK62	小皿	58	9.7	1.4	7.2
SE68	小皿	61	8.9	1.0	7.0
		59	8.9	1.2	6.4
		60	9.0	1.4	6.8
		62	9.2	1.1	7.0
		64	9.2	1.3	7.2
		63	9.5	1.5	7.2
	杯	65	15.3	3.4	9.7
		66	-	2.7	-
SE69	小皿	67	8.8	1.4	6.5
		68	9.0	1.4	6.5
		69	9.2	1.1	6.5
		70	10.2	1.6	8.2
	丸底杯	71	15.5	3.9	-
SK73	小皿	74	9.1	1.2	7.1
		72	9.2	1.4	6.8
		73	9.3	1.5	7.4
		75	9.7	2.0	7.5
	丸底杯	77	15.0	4.0	-
		76	15.4	3.7	-
SK79	小皿	78	9.7	1.1	7.7
SK82	小皿	79	9.0	1.3	6.8
SK83	小皿	80	9.3	1.8	7.8
		81	9.5	1.3	7.0
		82	9.5	1.8	7.8
		83	9.6	1.3	7.5
SK85	小皿	84	9.8	1.7	7.5
	丸底杯	85	15.0	3.5	-
SK88	小皿	86	8.7	1.6	6.9
		87	8.8	1.7	6.9
		91	9.0	1.4	7.0
		88	9.5	2.0	8.0
		89	9.6	1.5	7.3
		92	9.7	1.8	7.5
	杯	90	16.1	3.2	10.0
SK97	小皿	93	8.0	1.4	6.7
		94	8.4	1.1	7.0
SK112	小皿	96	9.1	1.8	7.4
		95	9.3	1.7	6.7
SK115	小皿	98	8.6	1.4	6.9
		104	9.0	1.6	6.7
		97	9.0	1.7	7.0
		99	9.1	1.5	7.6
		103	9.3	1.2	7.5
		106	9.3	1.6	6.8
		105	9.4	1.3	6.5

遺構番号	土器器種	遺物番号	口径（cm）	器高（cm）	底径（cm）
SK115	小皿	100	9.4	1.4	7.6
		102	9.6	1.4	7.1
	丸底杯	101	14.9	3.4	-
		108	14.9	3.6	-
		107	15.5	3.4	-
		109	15.6	3.7	-
SK116	小皿	110	8.2	1.5	7.0
		113	8.3	1.0	6.6
		111	8.4	1.2	6.5
		115	8.5	1.3	6.4
		112	8.6	1.3	6.6
		122	8.7	1.0	6.8
		116	8.7	1.1	6.5
		114	8.7	1.1	6.7
		118	8.7	1.1	6.9
		127	8.7	1.8	6.7
		121	8.8	1.1	7.0
		120	8.8	1.3	7.8
		117	8.9	1.4	6.6
		119	9.1	1.1	7.9
	杯	123	12.9	2.8	9.3
		129	13.0	2.5	8.8
		128	13.2	2.5	9.5
		131	13.3	2.4	9.8
		130	13.3	2.8	9.9
		125	13.4	2.7	9.6
		126	13.5	2.6	9.5
		124	13.8	3.2	8.9
SK118	杯	132	12.8	2.5	10.5
SK123	丸底杯	133	15.8	3.8	-
SE127	小皿	134	8.8	1.2	6.5
Pit48	小皿	135	8.6	1.5	6.8
		136	8.8	1.5	7.0
		138	9.1	1.1	6.8
		139	9.1	1.4	7.0
		137	9.1	1.8	6.3
		141	9.5	1.6	6.8
		140	9.7	1.7	7.2
Pit95	小皿	142	9.0	1.2	7.2
Pit99	小皿	143	8.8	1.5	6.8
Pit102	小皿	144	8.8	1.5	6.8
Pit111	小皿	145	9.2	1.2	7.8
Pit132	杯	146	16.3	3.5	11.7
RP05	杯	147	-	3.8	11.2
撹乱02	小皿	148	6.1	1.0	5.0
		149	-	1.2	6.2
撹乱10	小皿	150	7.7	1.4	6.4
撹乱16	小皿	151	9.6	1.4	7.5
撹乱32	小皿	152	9.8	1.4	7.5
撹乱53	小皿	153	9.0	1.0	7.4
撹乱58	杯	154	15.1	3.3	10.0

第16表　17区（２）出土土器計測表

遺構番号	土器器種	遺物番号	口径（cm）	器高（cm）	底径（cm）
SE02	小皿	1	9.8	1.1	6.9
SE04	小皿	2	9.0	1.4	7.9
SK07	丸底杯	3	16.0	4.2	-
SK16	小皿	4	9.3	1.7	6.0
	丸底杯	5	14.1	3.6	-
SE17	小皿	6	8.8	1.3	7.5
	杯	7	11.9	2.5	8.9
		8	13.0	2.5	9.9
SK20	小皿	9	9.1	1.3	7.3
SK22	杯	10	13.0	3.2	8.0
SK31	小皿	11	9.5	1.4	7.3
SK45	小皿	12	9.3	1.5	7.3
	杯	13	15.7	3.5	10.6
SK48	小皿	15	8.5	1.5	6.4
		14	8.8	1.5	7.1
		16	9.3	1.5	6.0
		17	9.3	1.6	7.0
	杯	18	15.7	3.1	11.0
SK51	小皿	19	8.9	1.1	7.5
		21	9.0	1.2	7.0
		20	9.2	1.5	7.6
		22	9.2	1.6	6.8
		24	9.2	2.0	6.6
		23	9.3	1.4	7.1
		26	9.3	1.4	7.3
		25	9.4	1.5	7.2
		27	9.6	1.3	7.0
	杯	28	15.3	3.6	12.0
		29	15.8	3.4	10.7
		30	16.0	3.3	10.4
		32	16.1	3.4	11.3
		31	16.2	3.5	11.5
SK52	小皿	33	7.2	1.4	5.4
	杯	34	11.8	2.6	7.5
		35	12.7	2.9	8.1
		36	13.1	2.7	8.1
SK55	杯	37	12.3	3.1	9.1
SK56	小皿	38	8.3	1.3	7.1
	杯	42	12.2	3.1	9.5
		39	12.8	2.9	8.7
		40	13.2	3.0	8.3
		41	13.3	3.2	8.7
SK58	小皿	44	9.4	1.6	7.3
	杯	43	11.4	2.2	9.5
		45	16.0	3.2	10.9
SK59	小皿	46	8.0	2.3	6.5
SE60	小皿	47	8.2	1.3	6.8
		64	8.3	1.9	6.4
		55	8.5	1.2	6.5
		53	8.7	1.3	6.7
		48	8.8	1.3	7.0

遺構番号	土器器種	遺物番号	口径（cm）	器高（cm）	底径（cm）
SE60	小皿	50	8.9	1.3	6.7
		51	8.9	1.5	7.1
		49	9.0	1.2	7.0
		52	9.0	1.7	7.0
		54	9.2	1.4	7.5
		65	9.5	1.5	8.3
	杯	66	12.4	2.1	7.9
		56	12.7	3.3	9.5
		57	12.9	2.8	9.0
		63	13.2	3.1	9.5
		58	14.7	3.0	10.4
		61	15.1	2.6	10.7
		60	15.2	3.0	11.0
		62	15.3	2.5	10.2
		59	15.3	3.0	10.5
SK61	小皿	67	8.5	1.6	5.8
SK63	小皿	68	7.7	1.5	5.5
		70	8.0	1.5	5.5
		69	8.1	1.4	6.0
		71	8.4	1.5	6.5
		73	8.6	1.2	6.9
		72	8.7	1.3	6.6
SD69	小皿	74	9.2	1.5	7.4
SK70	小皿	76	8.3	1.2	6.7
		86	8.5	1.2	7.3
		75	8.5	1.3	7.1
		78	8.6	1.3	6.9
		80	8.6	1.7	7.5
		85	8.7	1.4	6.9
		99	8.7	1.4	7.0
		79	8.7	1.5	6.1
		89	8.9	1.0	6.9
		81	8.9	1.0	7.5
		90	8.9	1.1	7.0
		106	8.9	1.2	7.0
		83	8.9	1.5	6.9
		117	8.9	1.5	7.2
		77	8.9	1.8	6.9
		109	9.0	1.1	7.1
		93	9.0	1.2	7.0
		107	9.0	1.2	7.1
		97	9.0	1.2	7.3
		108	9.0	1.3	7.1
		96	9.0	1.3	7.6
		92	9.0	1.4	7.0
		87	9.0	1.4	7.1
		147	9.0	1.4	7.5
		102	9.0	1.4	7.7
		148	9.0	1.4	7.7
		112	9.1	1.2	7.5
		101	9.1	1.2	7.7

第17表　18区（１）出土土器計測表

遺構番号	土器器種	遺物番号	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)
SK70	小皿	91	9.1	1.4	7.1
		144	9.2	1.1	7.7
		95	9.2	1.2	6.8
		113	9.2	1.2	7.3
		100	9.2	1.3	7.2
		98	9.2	1.3	7.5
		103	9.2	1.5	7.7
		146	9.2	1.6	7.2
		114	9.3	1.2	7.5
		82	9.3	1.3	6.8
		84	9.3	1.5	7.3
		111	9.3	1.7	7.1
		149	9.4	1.0	7.5
		88	9.4	1.4	7.0
		94	9.4	1.5	7.0
		105	9.4	1.5	7.2
		104	9.4	1.6	7.5
		122	9.5	1.4	7.6
		110	9.5	1.4	7.8
		115	9.5	1.5	7.5
		119	9.5	1.5	7.5
		145	9.5	1.5	7.5
		116	9.5	1.6	7.3
		118	9.6	1.5	8.0
		121	9.8	1.4	8.1
	杯	151	14.0	2.6	9.8
		156	14.2	2.9	9.5
		127	14.3	2.7	10.0
		140	14.5	2.8	9.8
		141	14.5	2.9	11.0
		130	14.6	2.8	9.3
		123	14.6	2.8	10.3
		136	14.7	3.0	10.4
		137	14.7	3.3	10.0
		150	14.7	3.4	9.2
		138	14.9	2.9	9.5
		124	14.9	2.9	11.0
		128	14.9	2.9	11.0
		153	14.9	2.9	11.2
		125	14.9	3.1	10.3
		129	15.0	2.7	11.0
		132	15.0	2.9	10.1
		126	15.0	3.1	9.5
		157	15.0	3.4	10.9
		155	15.0	3.5	10.2
		158	15.1	2.8	10.0
		142	15.2	2.8	11.9
		139	15.2	2.9	10.2
		159	15.3	3.1	10.0
		134	15.5	2.3	11.0
		152	15.5	3.3	11.2

遺構番号	土器器種	遺物番号	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)
SK70	杯	143	15.6	3.1	11.0
		131	15.6	3.6	9.6
		154	15.7	3.2	11.3
		135	-	2.5	-
		133	-	2.6	-
SK71	小皿	160	9.4	1.3	7.2
SK73	小皿	161	9.0	1.2	7.2
		162	9.3	1.4	7.5
		163	9.3	1.5	7.0
	杯	164	15.0	3.2	11.0
SK77	小皿	165	8.0	1.3	6.6
SK80	小皿	168	8.4	1.4	6.5
		167	8.5	1.4	6.8
		166	9.5	1.2	7.8
	杯	171	12.9	2.5	9.0
		172	12.9	2.8	8.7
		169	13.0	3.2	8.6
		170	13.1	3.0	9.4
SK81	杯	173	14.1	3.0	9.5
		174	14.3	3.3	9.0
SK82	小皿	175	9.2	1.3	7.2
		176	9.5	1.3	7.5
	杯	177	16.0	3.3	11.1
SK84	小皿	179	8.5	1.3	6.5
		178	8.7	1.2	7.0
	杯	182	12.7	2.6	9.5
		181	13.1	2.8	9.5
		180	13.2	3.1	10.1
SK85	杯	183	12.2	2.3	8.5
	丸底杯	184	15.5	3.7	-
SK86	小皿	185	9.0	1.3	7.0
		187	9.3	1.6	7.6
		189	9.5	1.5	7.8
		188	9.8	1.1	8.0
		190	10.0	1.4	8.1
	杯	186	15.1	3.1	11.5
SK95	小皿	191	7.7	1.6	6.0
SE97	小皿	192	7.6	1.3	6.1
		193	9.1	1.5	7.8
		194	9.2	1.6	6.5
SE98	小皿	195	8.8	1.4	7.1
SE100	小皿	196	9.0	1.4	6.9
SE101	杯	197	15.5	3.4	9.5
SE108	小皿	198	9.3	1.5	6.9
SE110	小皿	199	9.5	1.3	7.2
SE116	小皿	200	9.0	1.6	7.5
SE117	小皿	201	7.5	1.5	5.8
		202	7.7	1.7	5.6
		204	9.0	1.8	5.5
		205	9.1	1.6	6.9
	丸底杯	203	15.4	3.5	-

第18表　18区（２）出土土器計測表

遺構番号	土器器種	遺物番号	口径（cm）	器高（cm）	底径（cm）	遺構番号	土器器種	遺物番号	口径（cm）	器高（cm）	底径（cm）
SE119	小皿	206	8.0	1.6	6.2	Pit358	小皿	520	8.3	1.2	6.7
SE121	小皿	207	8.9	1.5	6.8	Pit366	小皿	521	9.3	1.4	7.0
		208	9.5	1.7	7.5	Pit386	杯	522	14.3	2.9	10.3
		209	9.7	1.3	7.5	Pit397	杯	523	13.8	3.0	9.5
SE124	小皿	210	9.5	1.3	7.6	Pit402	小皿	524	8.8	1.3	6.8
SK126	小皿	211	9.3	1.4	6.9		杯	526	12.3	2.8	8.0
	丸底杯	212	15.5	3.3	-			525	12.9	2.7	8.7
SE131	小皿	213	9.3	1.1	7.2	Pit412	杯	528	12.5	2.9	9
SK133	小皿	214	8.1	2.6	5.9			527	12.7	3.0	8.2
	杯	215	12.3	2.8	9.1			529	13.0	3.0	9.8
Pit86	小皿	501	8.8	2.4	6.4	Pit423	小皿	530	-	1.8	-
Pit177	杯	502	15.3	3.6	11.2	Pit435	小皿	531	9.5	1.7	7.0
Pit193	小皿	503	8.4	1.2	6.5	Pit447	小皿	532	8.6	1.5	6.6
		510	9.0	1.3	7.0	Pit449	杯	533	11.6	3.4	7.1
		511	9.0	1.4	7.1	Pit454	小皿	534	9.3	2.2	6.3
		504	9.3	1.2	7.2	Pit501	杯	535	15.9	3.2	11.2
		506	9.3	1.2	7.3	Pit533	小皿	536	8.3	1.1	6.3
		505	9.4	1.4	7.5	Pit692	小皿	537	9.0	1.6	6.5
		507	9.6	1.4	7.5	Pit693	杯	538	14.9	3.1	10.1
	杯	508	14.1	3.3	9.3	Pit741	小皿	540	9.2	1.7	7.2
		509	14.2	2.9	10.0			539	9.5	1.6	6.8
Pit195	小皿	512	8.1	1.0	6.1		丸底杯	541	13.5	3.3	-
Pit200	丸底杯	513	14.6	3.7	-	Pit791	小皿	542	8.9	1.5	6.3
Pit300	小皿	514	8.8	1.4	6.9	Pit828	小皿	543	8.9	1.7	6.2
Pit301	杯	515	15.4	3.5	10.8	攪乱16	小皿	544	9.0	1.3	7.0
		516	15.7	3.5	11.5	攪乱25	小皿	545	9.0	1.8	7.5
Pit326	小皿	517	8.8	1.1	6.7			546	9.5	1.5	8.0
		518	9.0	1.5	7.2	攪乱26	小皿	547	7.5	1.4	6.0
		519	9.4	1.4	8.2	攪乱41	杯	548	12.7	3.0	9.0

第19表　18区（３）出土土器計測表

（1）箱崎30次11区全景（南西から）

（2）SE08・06井戸（南から）

（3）SE06・72井戸（東から）

（4）SE22井戸（東から）

（5）SE34・22井戸（北から）

（6）SE29井戸（南西から）

図版 2

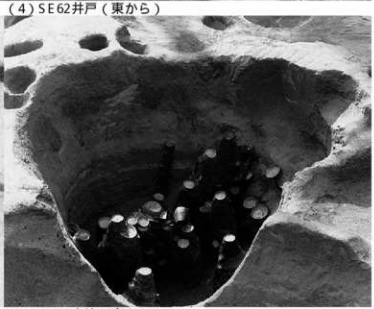
（1）SE34井戸（南から）

（2）SE34井戸（東から）

（3）SE44井戸（南西から）

（4）SE62井戸（東から）

（5）SK01土坑（北東から）



（6）SK01土坑（東から）

（1）SK03土坑（北から）

（2）SK07土坑（北西から）

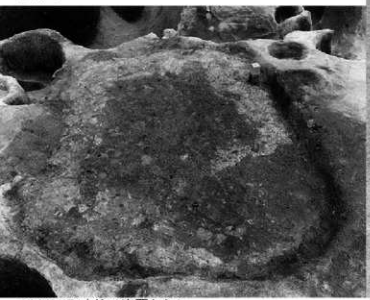
（3）SK21土坑（南西から）

（4）SK41土坑（南東から）

（5）SK55土坑（北東から）

（6）SK73土坑（北東から）

図版 4



（1）SK74土坑（南西から）

（2）SK79土坑（南東から）

（3）12区東側全景（南から）

（4）12区西側全景（北東から）

（5）12区西側全景（北から）

（6）SB70掘立柱建物（北東から）

（1）SD20溝（北東から）

（2）SD63溝（北東から）

（3）SE02井戸（北東から）

（4）SE03井戸（西から）

（5）SE04井戸（北西から）

（6）SE04井戸（西から）

図版 6

（1）SE05井戸（南から）

（2）SE07井戸（南東から）

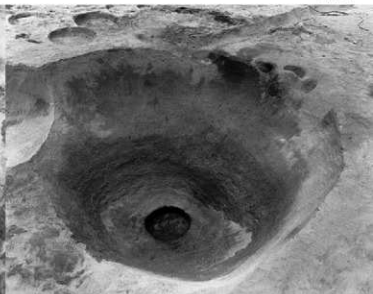
（3）SE08井戸（南西から）

（4）SE08井戸（南西から）

（5）SE24・09・29井戸（北東から）

（6）SE10井戸（東から）

（1）SE11井戸（南東から）



（2）SE17井戸（北から）

（3）SE18井戸（北から）

（4）SE23井戸（西から）

（5）SE35井戸（北東から）

（6）SE38井戸（北から）

図版 8

（1）SE49井戸（南から）

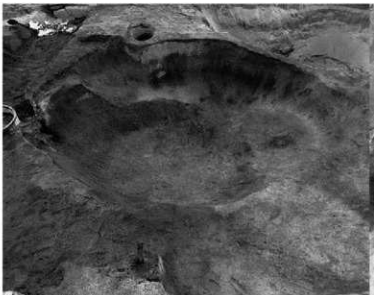
（2）SE54井戸（東から）

（3）SE54井戸（南から）

（4）SE54井戸（南東から）

（5）SE56・70井戸（南から）

（6）SK01土坑（北西から）



（1）SK10土坑（北東から）

（2）SK47土坑（南東から）

（3）SX71（北から）

（4）SX72（西から）

（5）Pit232（西から）

図版 10

(1) 13区空中写真

(2) 13区南上空から箱崎宮を望む

(3) 13区北上空から油山を望む

(4) 13区空中写真

(5) 13区南上空から博多湾を望む

(6) 13区空中写真 (北西から)

（1）SD05溝（南から）

（2）SD134溝（北東から）

（3）SD150溝（南から）

（5）SE10井戸（南西から）

（4）SE03井戸（南西から）

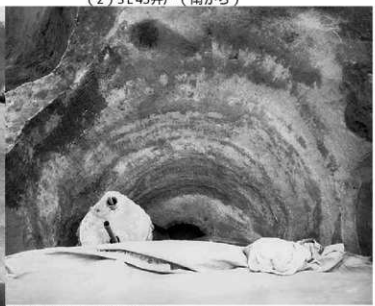
（6）SE36井戸（北西から）

図版 12

（1）SE36井戸（東から）

（2）SE43井戸（南から）

（3）SE45井戸（北から）



（4）SE59井戸（西から）

（5）SE82・81井戸（南西から）

（6）SE116井戸（北西から）

（1）SE117井戸（東から）

（2）SE140・117井戸（東から）

（3）SE125井戸（東から）

（4）SE140井戸（北から）

（5）SE140井戸（西から）

（6）SE145井戸（北から）

図版 14

（1）SK01土坑（南東から）

（2）SK02土坑（東から）

（3）SK04土坑（西から）

（4）SK16土坑（南東から）

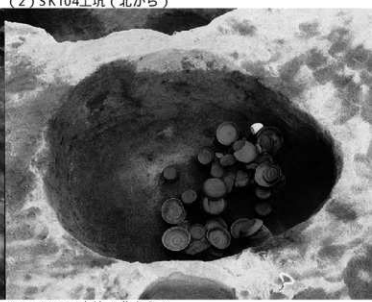
（5）SK35土坑（南東から）

（6）SK75土坑（西から）

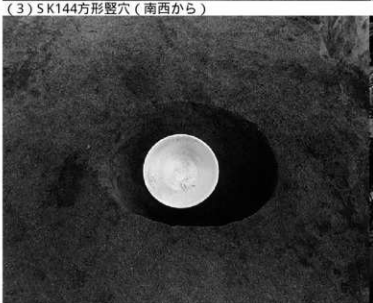
（1）SK106土坑（北から）

（2）SK104土坑（北から）

（3）SK144方形竪穴（南西から）



（4）SK124土坑（北から）



（5）Pit346（西から）

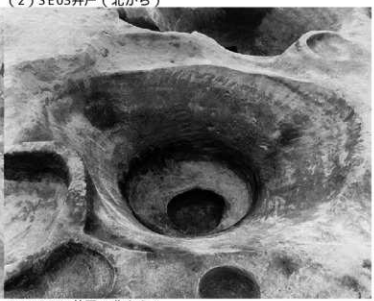
（6）14区全景（南西から）

図版 16

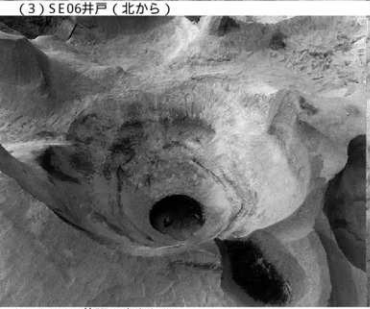
（1）SE02井戸（南西から）

（2）SE03井戸（北から）

（3）SE06井戸（北から）



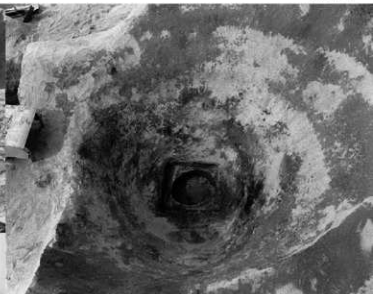
（4）SE14井戸（北から）



（5）SE14井戸（南から）

（6）SE19井戸（東から）

（1）SE20井戸（南東から）



（2）SE20井戸（北東から）

（3）SE38井戸（南から）

（4）井戸・ｶｸﾗﾝ10（東から）

（5）SK01土坑（南東から）

（6）SE15井戸（東から）

図版 18

（1）17区南側全景（北から）

（2）17区北側全景（南から）

（3）柱列（南東から）

（4）SE08井戸（南から）

（5）SE11井戸（南から）

（6）SE57井戸（南から）

（1）SE68井戸（北から）

（2）SE69井戸（南から）

（3）SE72井戸（南から）

（4）SE90井戸（東から）

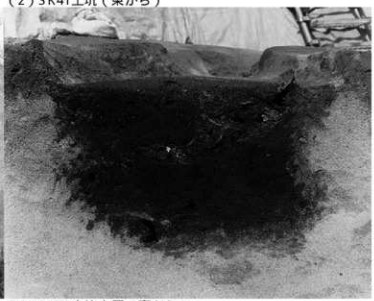
（5）SE127井戸（南から）

（6）SE128井戸（北から）

（1）SK13土坑（北から）

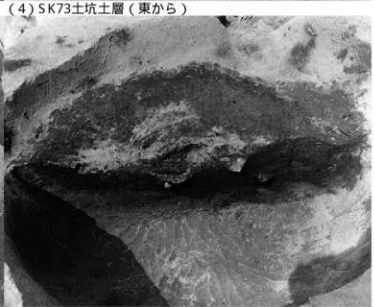
（2）SK41土坑（東から）

（3）SK51土坑（東から）

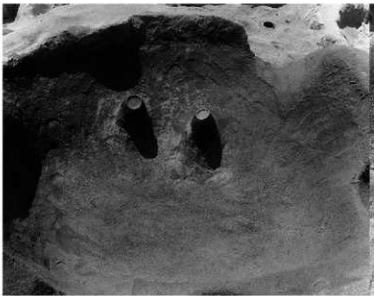


（4）SK73土坑土層（東から）

（5）SK83土坑（南西から）



（6）SK88土坑（東から）



（1）SK88土坑（東から）

（2）SK92土坑土層（東から）

（3）SK115土坑（南西から）

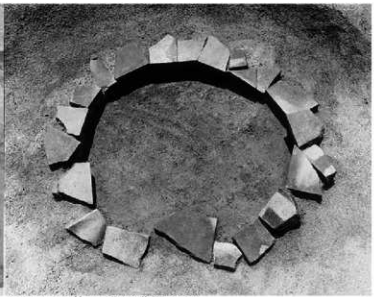
（4）SK116土坑（北東から）

（5）箱崎40次18-a区全景（西から）

（6）SE01井戸（南東から）

図版22

（1）SE01井戸（北西から）



（2）SE01井戸下部（北西から）

（3）SE01井戸下部（北西から）

（4）SE02井戸（南西から）

（5）SE03井戸（北から）

（6）SE03井戸（南西から）

(1) SE04井戸 (南から)

(2) SE02・14・04・15井戸 (南から)

(3) SE04・14・15井戸 (南から)

(4) SE15井戸 (西から)

(5) SK08土坑 (西から)

(6) SK07土坑 (東から)

図版24

（1）18-b区全景（南から）

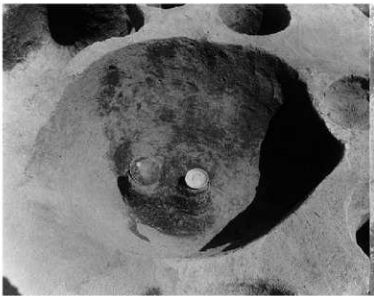
（2）18-b区北側（東から）

（3）SD41溝（南東から）

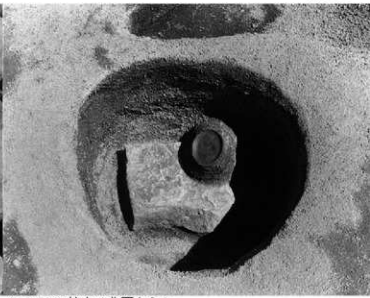
（4）SE17井戸（東から）

（5）SE18井戸（北西から）

（6）SE33井戸（南東から）



（1）SK16土坑（北西から）



（2）Pit86柱穴（北西から）

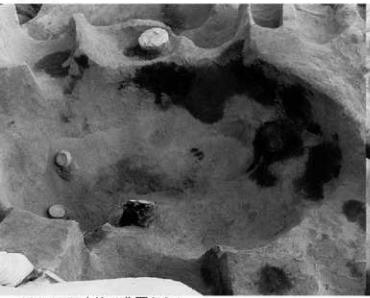
（3）18-c区全景（南から）

（4）SE33井戸（北から）

（5）SE60井戸（東から）

（6）SK56土坑（南西から）

図版 26



（1）SK70土坑（北西から）

（2）SK83土坑（南西から）

（3）Pit412（北から）

（4）18-d区全景（南から）

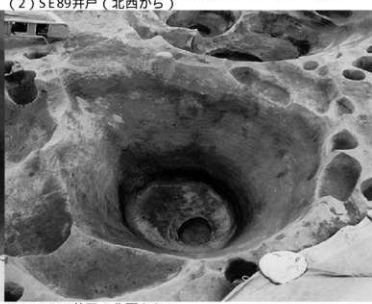
（5）SE78井戸（北東から）

（6）SE78井戸（北東から）

（1）SE78井戸（北東から）

（2）SE89井戸（北西から）

（3）SE94井戸（西から）

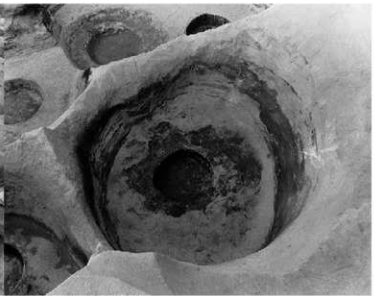


（4）SE94井戸（北西から）

（5）SE97井戸（北から）

（6）SE97・102・101・98・100井戸（南から）

（1）SE97・102・101・98・100井戸（南から）



（2）SE98井戸（東から）

（3）SE98井戸（北から）

（4）SE98・100井戸（北から）

（5）SE100井戸（東から）

（6）SE101井戸（北西から）

（1）SE101井戸（南から）

（2）SK96土坑（西から）

（3）18-e区全景（北東から）

（4）SE114井戸（北西から）

（5）SE115井戸（北から）

（6）SE124・116井戸（南東から）

（1）SE114・115（北から）

（2）SE116・123・124・122井戸（南から）

（3）SE117井戸（西から）

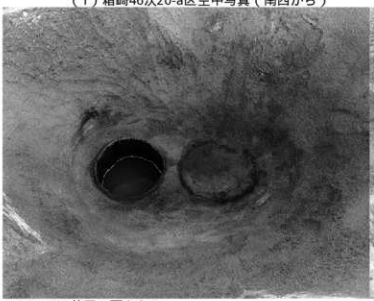
（4）SE131井戸（東から）

（5）SE121・122・137（北から）

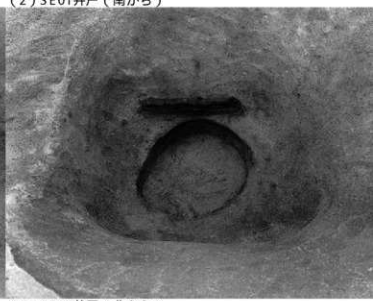
（6）SE118・136・119・137井戸（南東から）

（1）箱崎46次20-a区空中写真（南西から）

（2）SE01井戸（南から）



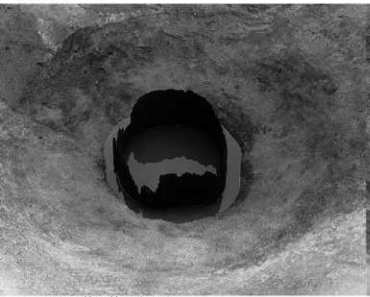
（3）SE02井戸（西から）



（4）SE07井戸（北から）

（5）SE09井戸（南西から）

（6）SE09井戸（東から）



（1）SE10井戸枠（東から）

（2）SE10井戸枠（北から）

（3）SE11井戸（東から）

（4）SE11井戸（北から）

（5）SE12井戸（北西から）

（6）SE13井戸（西から）

（1）SE14井戸（東から）

（2）SE15井戸（東から）

（3）SE16井戸（西から）

（4）SE17・18・19井戸（東から）

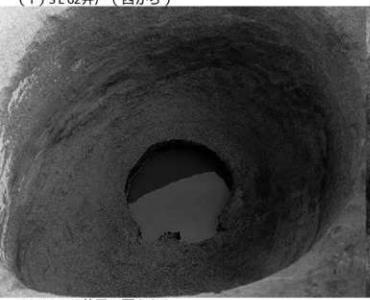
（5）SE20井戸（東から）

（6）SE54井戸（南東から）

図版 34

（1）SE62井戸（西から）

（2）SK63土坑（北から）



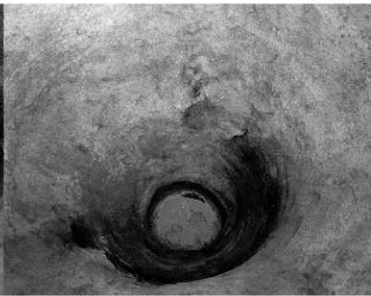
（3）SE64井戸（西から）

（4）SE65井戸（南から）

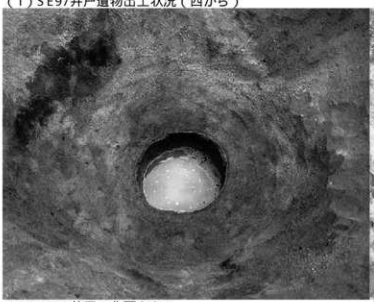
（5）SE66井戸（西から）

（6）SE67井戸（西から）

（1）SE97井戸遺物出土状況（西から）

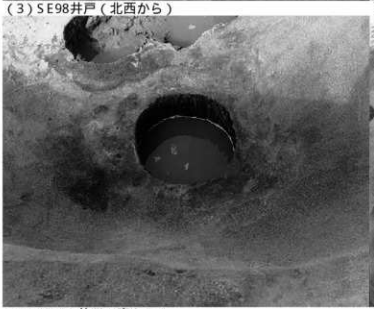


（2）SE97井戸（西から）



（3）SE98井戸（北西から）

（4）SE101井戸（西から）



（5）SE102井戸（東から）

（6）SK103土坑（西から）

図版 36

（1）SE104井戸（南西から）

（2）Pit368（東から）

（3）20-b区空中写真（北西から）

（4）20-b区空中写真（南から）

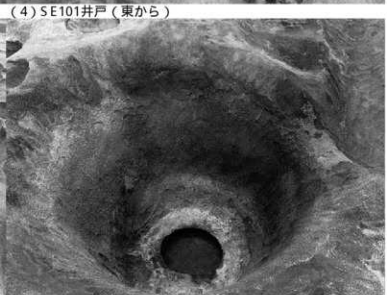
（1）SD110溝（南から）

（2）SD134・111溝（東から）

（3）SD212溝（南西から）

（4）SE101井戸（東から）

（5）SE102・103井戸（南東から）

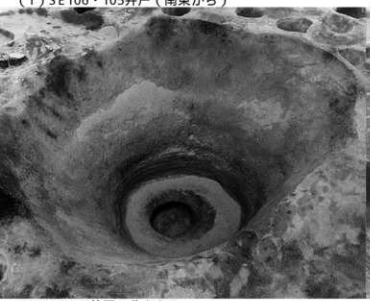


（6）SE104井戸（北東から）

図版38

（1）SE106・105井戸（南東から）

（2）SE107井戸（北東から）



（3）SE109井戸（北から）

（4）SE111井戸（南東から）

（5）SE123井戸（南西から）

（6）SE124井戸（南東から）

（1）SE127井戸（西から）

（2）SE130井戸（東から）

（3）SE130・287井戸（北東から）

（4）SE208井戸（東から）

（5）SE211井戸（南東から）

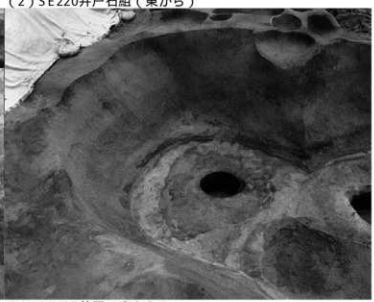
（6）SE218井戸（北から）

図版40

（1）SE219井戸（東から）

（2）SE220井戸石組（東から）

（3）SE230井戸（北西から）



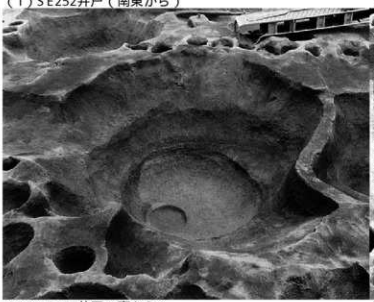
（4）SE235井戸（南から）

（5）SE238井戸（北から）

（6）SE239井戸（北東から）

（1）SE252井戸（南東から）

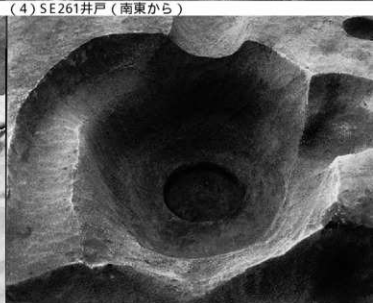
（2）SE252井戸（東から）



（3）SE257井戸（東から）

（4）SE261井戸（南東から）

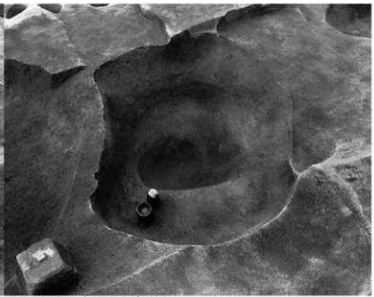
（5）SE287井戸（南東から）



（6）SE289井戸（南東から）

図版42

（1）SE301・302井戸（南から）



（2）SK303土坑（南東から）

（3）SE315井戸（北東から）

（4）SE316井戸（東から）

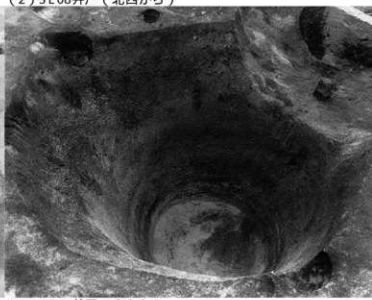
（5）SK140土坑（南から）

（6）SK204埋甕（東から）

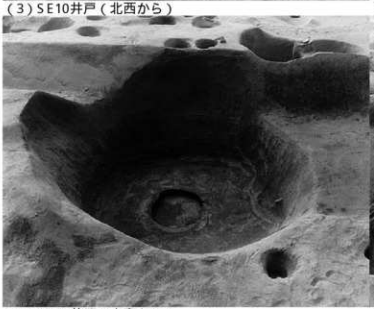
（1）20-c区全景（南西から）

（2）SE08井戸（北西から）

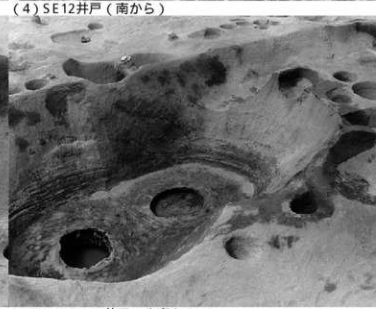
（3）SE10井戸（北西から）



（4）SE12井戸（南から）



（5）SE19井戸（南東から）



（6）SE19・72井戸（南東から）

（1）SE48井戸（南東から）

（2）SE58井戸（西から）

（3）SE66井戸（東から）

（4）SE73井戸（北から）

（5）SK01土坑（南から）

（6）SK14土坑（南西から）

（1）SX25木棺墓（北西から）

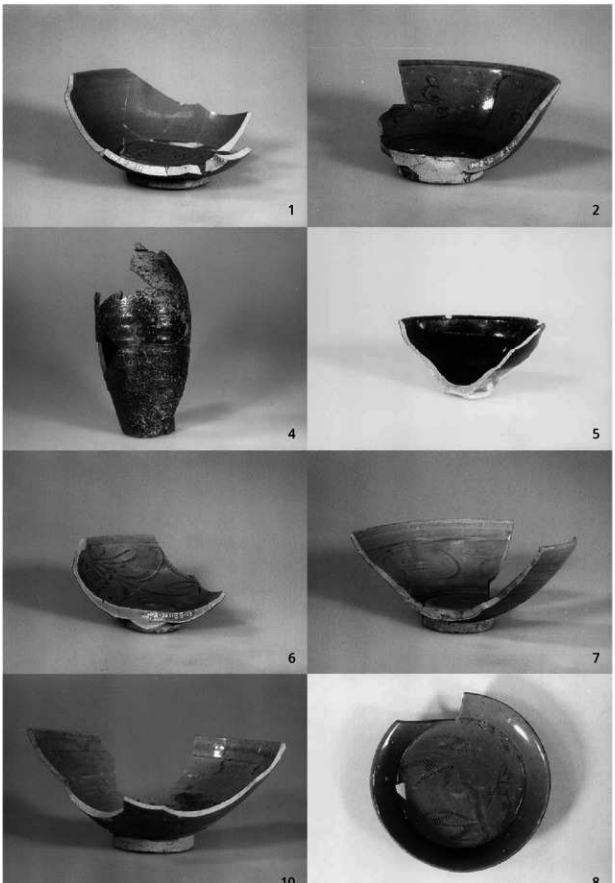
（2）SX25（南西から）

（3）SX25遺物出土状況（南西から）

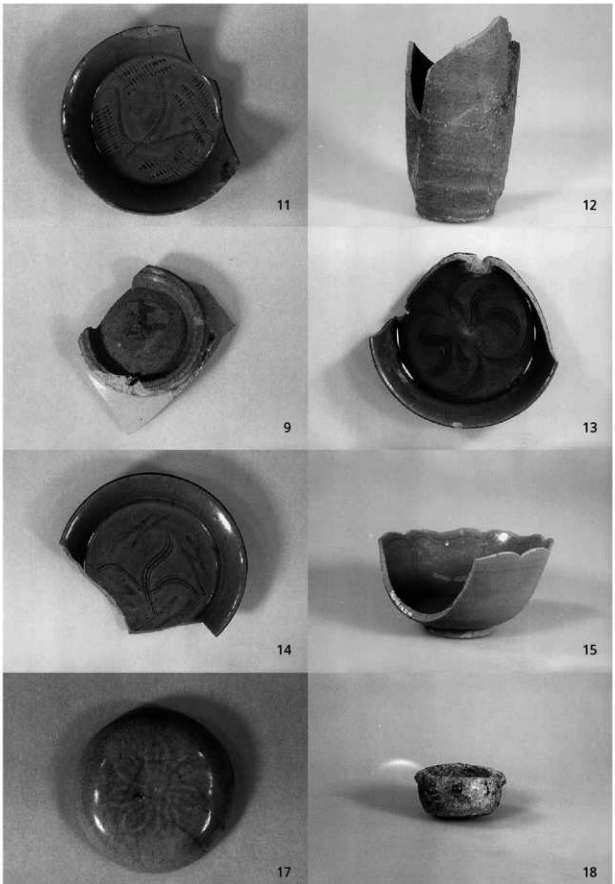
（4）SX25人骨（北西から）

（5）SX14木棺墓（南から）

（6）SK24土坑（南西から）

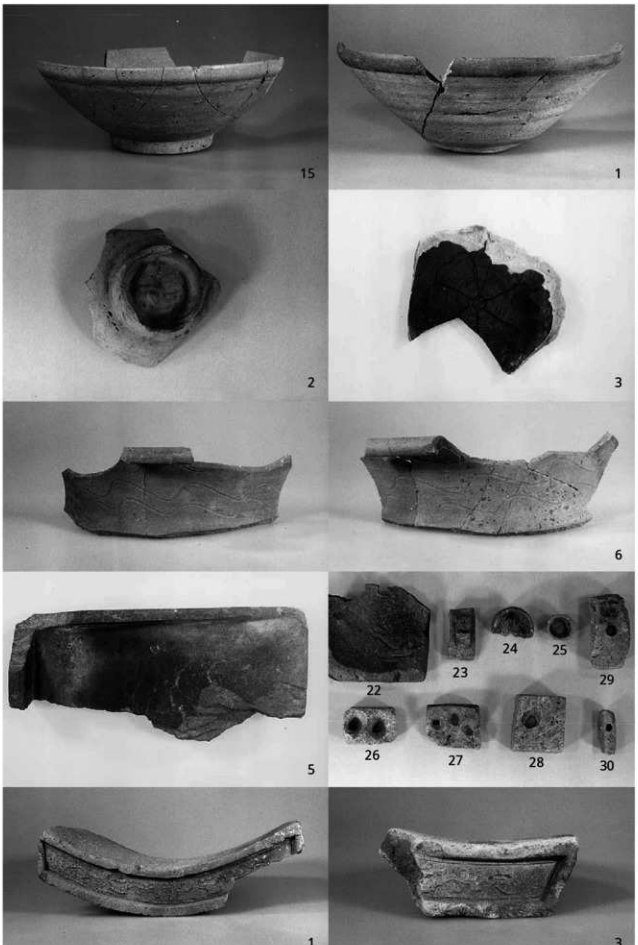


箱崎遺跡第30次調査11区出土遺物(1)



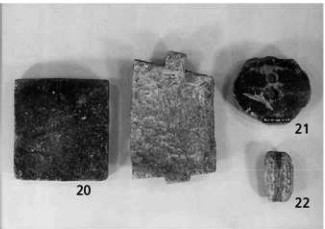
箱崎遺跡第30次調査11区出土遺物(2)

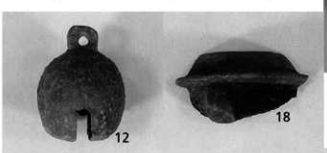
箱崎遺跡第30次調査11区出土遺物(３)・12区出土遺物(１)



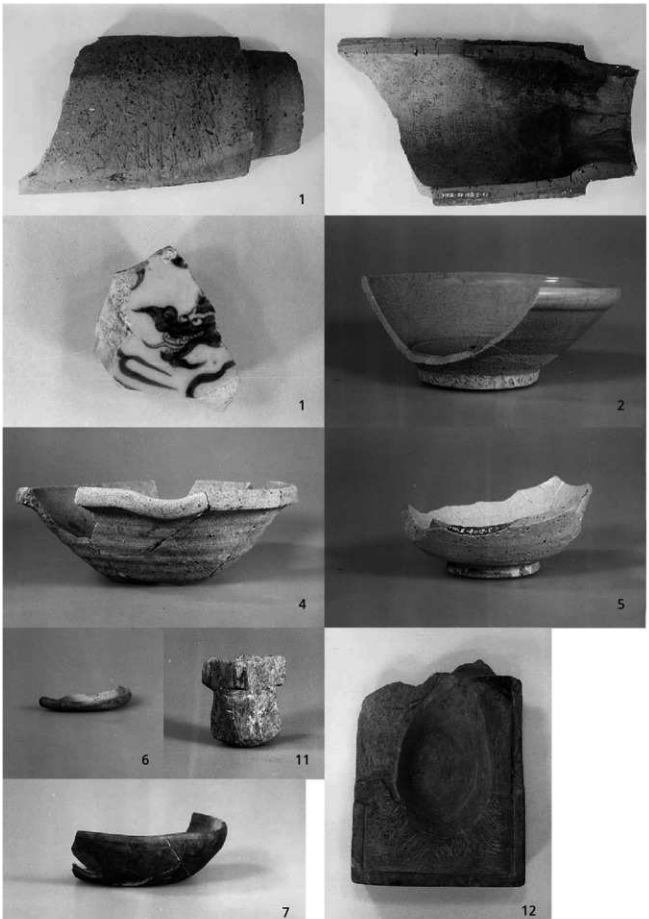
箱崎遺跡第30次調査12区出土遺物(2)・11区出土瓦(1)

箱崎遺跡第30次調査13区出土遺物(1)

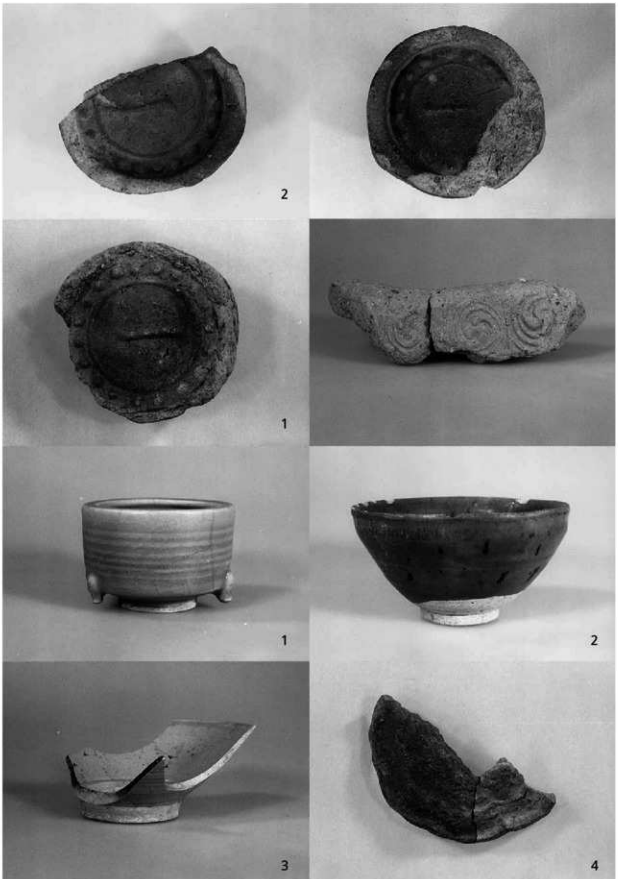




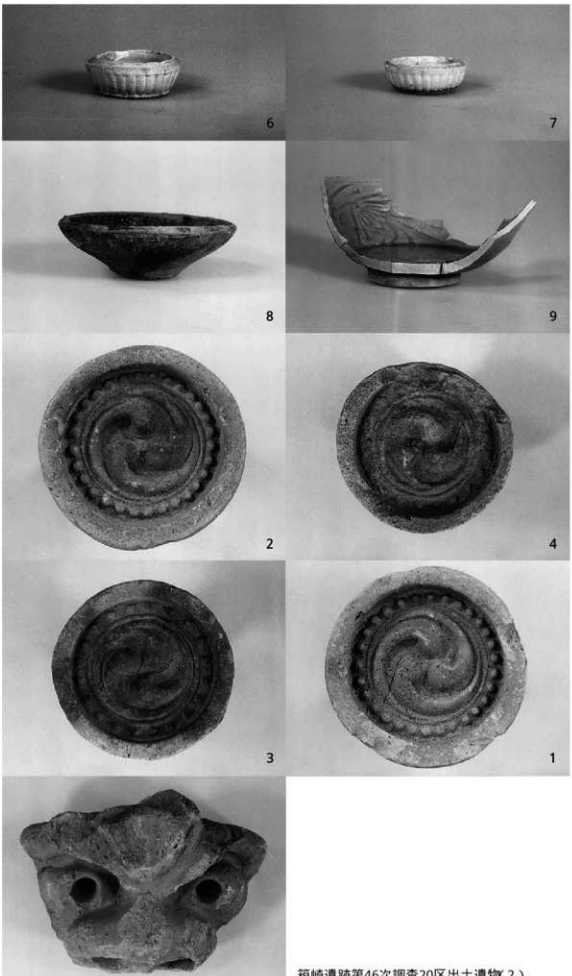
箱崎遺跡第30次調査13区出土遺物(2)



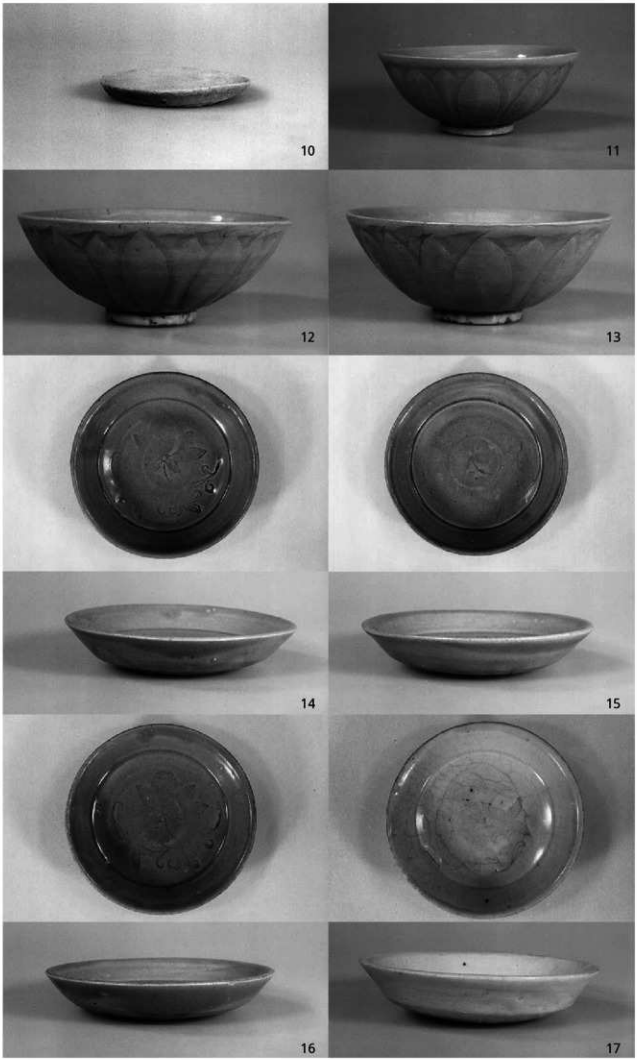
箱崎遺跡第30次調査14区出土瓦・第40次調査18区出土遺物



箱崎遺跡第40次調査18区出土瓦・第46次調査20区出土遺物(1)



箱崎遺跡第46次調査20区出土遺物(2)



箱崎遺跡第46次調査20区SX25出土遺物

箱崎遺跡第46次調査20区SK140出土遺物

報告書抄録

ふ り が な	はこざきにじゅうなな
書　　名	箱崎27
副　書　名	筥崎土地区画整理事業に伴う調査
巻　　次	Ⅶ
シリーズ名	福岡市埋蔵文化財調査報告書
シリーズ番号	第948集
編 集 者 名	佐藤一郎
編 集 機 関	福岡市教育委員会
所　在　地	〒810-8621　福岡市中央区天神１丁目８の１
発 行 年 月 日	2007（平成17）年3月30日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村	コード 遺跡番号	北緯	東緯	調査期間	調査面積	調査原因
箱崎遺跡（はこざき いせき）	福岡市東区（ふくおか しひがしく） 箱崎１丁目（はこざき ちょうめ）	130		33° 36′ 34″	130° 25′ 38″	20020401 ～ 20050331	10,055m²	区画整理

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
箱崎遺跡	墓地 都市	古墳 中世	土壙 井戸 土壙 溝 木棺墓 掘立柱建物 ピット・柱穴	土師器 壺・甕類 土師器 小皿・杯類 青磁 皿・碗類 白磁 皿・碗類 瓦 石鍋 銅銭	

箱　崎　27

箱崎遺跡第30(2)・40(1)・46次調査報告
福岡市埋蔵文化財調査報告書第948集

2007（平成19）年３月30日

発　行　福岡市教育委員会
福岡市中央区天神１丁目８－１
（092）711－4667

印　刷　(株)大里印刷センター
福岡市東区二又瀬新町12-29
（092）611－3118